
やってみよう！ 学校図書館リニューアル

～学校図書館をもっと身近で、使いやすく～

小学校編

目次

はじめに.....	1
学校図書館活用のねらい.....	2
学校図書館の診断をしよう.....	3
リニューアルの計画を立てよう.....	5
__除籍をしよう.....	7
__分類を理解しよう.....	12
__ラベルの貼り替えをしよう.....	17
__配架を見直そう.....	20
__配置替えをしよう ～事前準備～.....	21
__配置替えをしよう ～当日の作業～.....	25
__サインを作成しよう.....	26
オリエンテーションをしよう.....	28
授業をしよう.....	29
図書館を使い続けるために.....	33
参考文献.....	35

はじめに

学校図書館は、読書活動の拠点としての「読書センター」、授業に役立つ資料を備え学習支援を行う「学習センター」、児童生徒の情報活用能力を育む「情報センター」としての機能が期待されており、学校教育に欠かせない基礎的な設備です。3つの機能が十分に果たされているといえるためには、図書が系統立てて配列され、授業や学習で使いやすいように環境が整備されているだけでなく、学校図書館にある図書を実際に学習や教育課程で活用していることが求められます。

しかしながら、平成26年度の「全国学力学習状況調査」によると、学校図書館を活用した授業の頻度や学校司書等の配置率について、滋賀県は全国平均を下回っている現状が明らかになりました。そこで滋賀県教育委員会は、市町の小中学校の学校図書館の環境整備と授業での活用を普及するための取組として、平成27年度から平成29年度にかけて「学校図書館活用支援事業」を実施しました。

この事業は「学校図書館リニューアル」と「学校図書館を使った授業の支援」を柱として、学校図書館を活用するきっかけを作り出そうとするものでした。学校図書館リニューアルでは、蔵書を適切な分類方法に従って整理・配列し直し、授業を行うことができるスペースを確保することを中心として、環境整備を重点的に実施しました。これに加えて、学習の参考になる図書のセットや授業に必要な図書を貸し出し、学校で幅広い図書に触られるように支援を行いました。

関係機関の御協力もあって、14市町48校で事業を展開することができました。事業を実施した学校からは「リニューアル後に児童や生徒の来館や貸出しが増えた」「学校図書館を使った授業が増えた」など、学校図書館が活性化したことが伺えるお声をいただいております。一定の成功を収めることができたと考えています。

今回、事業の終了にあたって、これからも学校図書館の環境整備と授業での活用が普及するために、事業で培ったリニューアルや授業のノウハウをマニュアルとしてまとめました。このマニュアルが、これから自主的に学校図書館の環境整備を行おうとする学校や市町教育委員会の方々への一助となれば幸いです。

県内全ての学校図書館が使いやすく整備され、それぞれ工夫された読書活動や、学習活動の取組が展開されることを願います。

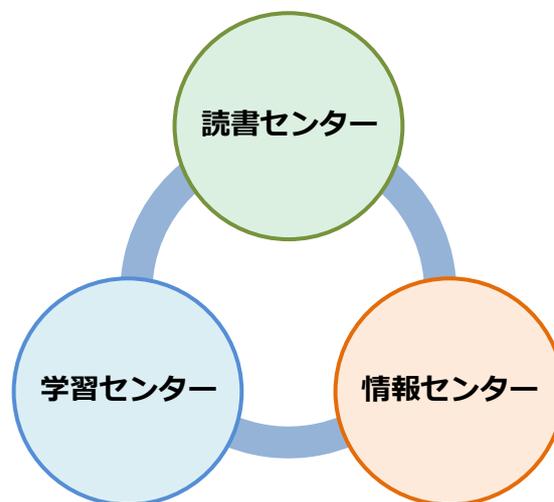
学校図書館活用のねらい

学校図書館の機能・役割

学校図書館には3つの基本的な機能があります。

これまでの学校図書館は「読書の場」として主に活用されてきていました。しかしながら現代は、多様なメディアや情報があふれる情報化社会、一生を通じて健やかに学び続ける生涯学習の時代となり、学校図書館は、児童生徒が「情報を活用して主体的に学習する場」として位置づけられるようになりました。

学習過程においては、児童生徒が自ら調べて、発見し、また、教員やクラスメイトとの共有や発表を通じて学びを深める授業が目指されています。いまの学校図書館は、主体的・対話的な授業を行い「生きる力」を育む場として期待されているのです。



《読書センター》

児童生徒の読書活動や児童生徒への読書指導の場。

《学習センター》

児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする機能。

《情報センター》

児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする機能。



「読書センター」としてだけでなく、情報を扱い、自ら学ぶ場として「学習センター」「情報センター」の機能が重要視されている！

学校図書館の診断をしよう

学校図書館が「学習センター」「情報センター」としての機能を発揮できるように、まずは学校図書館が抱える課題を把握しましょう。付録1の「学校図書館診断チェック表」を使い、質問事項に回答してください。

付録1「学校図書館診断チェック表」

1 学校図書館図書標準とは

義務教育課程の諸学校について、文部科学省は「学校図書館図書標準」を設定しています。これは、学校図書館が図書を整備していく上で、どのくらいの蔵書数を満たしていれば良いのかの目標となる数値です。診断のはじめに、チェック表の〔ア〕から目安を求めてみましょう。

学級数	蔵書冊数
1	2,400
2	3,000
3～6	3,000+520×(学級数-2)
7～12	5,080+480×(学級数-6)
13～18	7,960+400×(学級数-12)
19～30	10,360+200×(学級数-18)
31～	12,760+120×(学級数-30)

(例) 学級数が8のとき
 $5,080 + 480 \times (8 - 6) = 6,040$ 冊

自校の図書標準

冊

「学校図書館図書標準」の設定について
(平成5年3月29日付 文初小第209号 文部省初等中等教育局長通知から引用)

(1) 図書標準よりも蔵書数が少ない場合

① 書架には余裕があるのに蔵書が足りない

- ・教育課程や学校行事に必要な分野、学校図書館に不足している分野から買い足します。
- ・〈除籍〉→p.7 は過度に古い図書、児童の学習に誤解を生じるような図書に限って行い、最小限にとどめます。

② 児童数に対して学校図書館が狭く、図書を十分に配架できない

- ・複数冊所蔵している同一の図書(複本)や内容の似ている図書(類書)については、学級文庫や授業用のセットにするなど、配架以外の用途を検討します。
- ・理科室や美術室等の特別教室や廊下等の共有スペースに常置する際には、学校図書館の管理から外れてしまうため、あらかじめ〈除籍〉を行っておくことをお勧めします。

(2) 図書標準を満たしている場合

- ・〈除籍〉や〈ラベルの貼り替え〉→p.17 を行うと、図書標準を下回ったり、所蔵する分野の偏りが明らかになったりすることがあります。図書の追加や更新が必要ではないか、ほかの課題を解決した後でもう一度蔵書の構成を見直してみましょう。

2 診断結果から改善ポイントを探してみよう！

(1) 【イ】 図書について「いいえ」がある場合

- ・ 児童が手に取らない図書、情報が古い図書では利用価値がありません。書架を更新するために積極的な〈除籍〉を行いましょ。
- ・ 複本が多いときには除架してバックヤードに置くなど、限られた書架を有効活用しましょ。バックヤードに置いた図書は、授業で使う時や長期休暇前の展示に利用しましょ。

➡ p. 7 「除籍をしましょ」

(2) 【ウ】 分類について「いいえ」がある場合

- ・ 分類とラベルが一致しない、分類記号が1桁しかついていないというようなときには〈ラベルの貼り替え〉が必要です。書架にある図書を全て見直す必要があるため、あらかじめ〈除籍〉を行い、作業量を減らしましょ。
- ・ 短期間でラベルを貼り替えることは困難なので、利用の多いテーマや授業で使用するテーマから着手し、長い視野で作業を進めましょ。

➡ p. 12 「分類を理解しましょ」

➡ p. 17 「ラベルの貼り替えをしましょ」

(3) 【エ】 書架・配架について「いいえ」がある場合

- ・ 図書の並び方がばらばらだったり、基本的な書架の使い方に沿っていなかったりするときには〈配架の見直し〉が必要です。分類記号順に配架できるように検討しましょ。
- ・ 書架が壊れていたり、棚板が動かせないために図書の高さに合っていないときは、新しい書架を購入することも検討しなければいけません。

➡ p. 20 「配架を見直そう」

(4) 【オ】 設備について「いいえ」がある場合

- ・ 〈配架の見直し〉の結果、図書を大幅に移動させなければならないときや、設備や書架の移動が必要なきには〈配置替え〉を行いましょ。
- ・ 事前準備として、分類ごとの蔵書量と書架の収容量を計測して、それを基にレイアウト案を作成しましょ。
- ・ 〈配置替え〉は1日で完了することが望ましいため、人手を確保することが必要になります。

➡ p. 21 「配置替えをしましょ」

(5) 【カ】 サインについて「いいえ」がある場合

- ・ 児童が目的の図書を発見できるように、案内図、見出しなど〈サインの作成〉を行いましょ。
- ・ 〈配置替え〉はもちろん、〈除籍〉や〈ラベルの貼り替え〉によって図書の配置が変わることがあるので、原則として最後に行いましょ。

➡ p. 26 「サインを作成しましょ」



リニューアルの計画を立てよう

学校図書館のリニューアル計画は、基本的に次のような流れで行います。このマニュアルも以下の流れに沿って構成されています。



しかし、学校図書館によって抱える課題も、動員できる人員や時間も異なります。時には複数の年度をまたいで作業を行い、無理のないように長期的な視点で計画を立てることが大事です。また、学校司書や図書館主任の教職員が変更になるときに備えて、引継書を必ず作成しましょう。

リニューアルの計画を立てるときは、年度初めに計画の趣旨と目標をオリエンテーションで教職員と児童に伝えましょう。改造後には、変更になった点や新しくなった点を説明しましょう。

(例1) 専任の職員やボランティアなど人手がある場合

課題：長らく除籍をしておらず、表紙が薄れた図書や内容の古い図書が見られる。
背ラベルは1桁しか分類記号を書いていないため、カラーシールを付けて色ごとにまとめている。書架ごとに同じ分類記号がまとまっているが、順番には並んでいない。
書架がカウンターからの死角をつくっており、机といすの向きもばらばらである。

計画：まずは除籍をしっかり行い、作業量を減らす。ボランティア等の協力を得て、着手しやすい分類からラベルの貼り替えを始める。全てのラベルの貼り替えが完了したら分類記号ごとの蔵書量を確定して、レイアウト案の了承を得る。
レイアウト案が完成したら、作業日を設定して人手を集め、配置替えを行う。その後、委員会活動でサインを作成する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専任職員	オリエンテーション	除籍				ラベル変更の指示 レイアウト案作成				配置替え	オリエンテーション	
ボランティア		9類のラベルの 貼り替え				0~8類のラベルの貼り替え				配置替え		
教職員				除籍 検討						配置替え		
委員会 ・授業		9類のラベルの 貼り替え				0~8類のラベルの貼り替え				配置替え	サイン 作成	

(例2) 人手が少ない場合 その1

課題：長らく除籍をしておらず、表紙が薄れた図書や内容の古い図書が見られる。
背ラベルは1桁しか分類記号を書いていないが、分類記号順に配架されている。
書架は固定式で動かすことができない。

計画：まずは除籍をしっかり行い、作業量を減らす。分類記号は1桁だが順番に図書が並んでおり、書架も移動できないことから、配置替えは行わないことにする。

【0類】からラベルの貼り替えに着手して、完了した分類から分類記号順に配架する。
児童には、一斉に指示しやすい【9類】などの貼り替えを手伝ってもらう。
ラベルの貼り替えが完了し、分類記号の順番に図書が配架できたらサインを作成する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専任職員	オリエンテーション	除籍				ラベル変更の指示 0類からラベルの貼り替え					オリエンテーション	
教職員				除籍検討								
委員会・授業						9類のラベル貼り替え					サイン作成	

(例3) 人手が少ない場合 その2

課題：長らく除籍をしていないが、蔵書冊数は図書標準を下回っており、書架に余裕がある。
背にはテーマごとにカラーシールが貼ってあり、分類記号は書いていない。
学校図書館に専任の職員がおらず、作業に時間を割けない。

計画：除籍を必要最小限にとどめて行う。【0類】からラベルの貼り替えに着手し、児童には一斉に指示しやすい【9類】などの貼り替えを手伝ってもらう。また、作業日を設定して、教職員にも参加してもらう時間をつくる。作業が年度をまたいでしまうときは、必ず引継ぎを行い、レイアウト案の意向なども次の担当者に伝える。

全てのラベルの貼り替えが完了したら分類記号ごとの蔵書量を確定して、レイアウト案の了承を得る。レイアウト案が完成したら、作業日を設定して人手を集め、配置替えを行う。その後、委員会活動でサインを作成する。

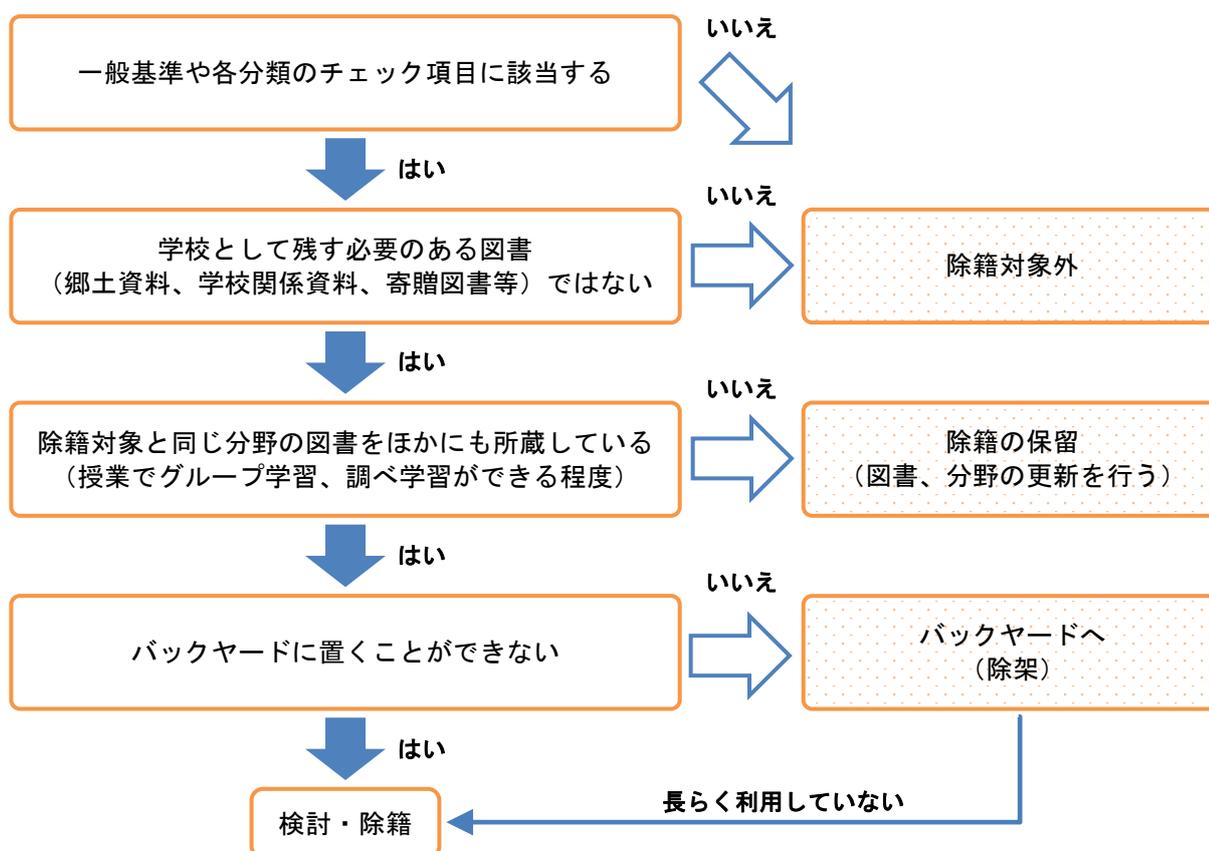
1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
兼任職員	オリエンテーション	除籍	0類のラベル貼り替え			ラベルの貼り替えの指示 3~4類のラベルの貼り替え					引継ぎ	
教職員		除籍検討		貼り替え作業日				貼り替え作業日		貼り替え作業日		
委員会・授業		9類のラベル貼り替え				1~2類のラベルの貼り替え						

2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
兼任職員	オリエンテーション	ラベルの貼り替えの指示 5類のラベルの貼り替え				レイアウト案の作成		配置替え	オリエンテーション			
教職員				貼り替え作業日				配置替え				
委員会・授業		6~8類のラベルの貼り替え						配置替え	サイン作成			

除籍をしよう

一度受け入れた図書を目録から登録抹消することを「除籍」といいます。新刊を受け入れても、除籍をしなければあっという間に書架は満杯になってしまいます。また、除籍をしなければ、図書標準を満たしていても、図書が古かったりぼろぼろだったりして使い物にならないということも起こりえます。除籍した図書、除籍する予定の図書は書架から移動させて、書架を有効活用しましょう。

1 除籍の流れ



図書を書架から取り除くことを「除架」といいます。不必要な図書や書架を圧迫している図書をほかの場所へ移すことで、書架の有効活用をすることができます。

《今後の利用の見込みがある図書》

- ・ 長期休暇の読書や学習に利用される図書。学校行事で展示や紹介に使用する図書。
- ・ 一度の授業で何冊も必要になる辞書や参考図書。
- ・ 最新の年鑑が書架に出ているとき、その前の版の図書。雑誌のバックナンバー。

《除架から除籍へ》

- ・ 除架したものの長らく利用のない図書。
- ・ 資料的価値がありそうな図書でも、学校として利用の見込みがなければ除籍する。

2 一般基準

次の各項のいずれかに該当する図書は、除籍の対象となります。

- (1) 汚破損や変色、変形が著しく、利用に適さない図書。
 - (2) 記載内容、表記等が古くなり、利用価値の失われた図書。
 - (3) 新しい学説や理論が採用されておらず、史的図書としても利用価値のない図書。
 - (4) カラー図版図書の変色が著しいため、明らかに誤った情報を与えてしまう図書。
 - (5) 複数冊所蔵している図書のうち、利用頻度が著しく少ない図書。
- (※課題図書や授業用などで同じ図書を何冊も購入したときは数冊だけ開架する)

古い表記、記述、写真などはありますか？



たとえば…

ビルマ
看護婦
痴呆症
ブラウン管テレビ

ソビエト連邦
保母
成人病
第9惑星・冥王星

ユーゴスラビア
スチュワーデス
ワープロ

新しい表記、記述、写真などはありますか？

たとえば…
大仙陵古墳
南スーダン
裁判員制度
羽毛恐竜

絵踏
セルビア共和国
準惑星
東日本大震災

東ティモール
ウルル
iPS細胞



古い記述があるからといって、その図書を除籍しなければならないというわけではありません。古い記述以外の部分で学習に役立つ図書もありますので、実際に除籍するときは、図書の内容や同じ分類の図書の数、更新の可能性も考えましょう。

コラム

新しい図書を購入した分だけ、古くなった図書を除籍しましょう。除籍に迷ったときは、数年以内に利用することがあるかどうかを考えてみましょう。

学校図書館にとって、その時代を生きる児童の目線が何よりも重要です。児童が手に取らない古い図書でいっぱいの書架よりも、新しく興味を引く図書が少しでも並んでいる方が児童にとって魅力的です。古い図書を除籍すると図書標準を下回ってしまう学校もあるかもしれませんが、まずは思い切って除籍を行い、どの分野の更新が必要なのかを見極めましょう。

3 分類ごとのチェック

分類によって、古くても利用価値のある図書、5年ほどで価値が薄れてしまう図書など様々です。一般基準に加えて、次の各項目に該当するときは除籍の対象となります。

【0類】

(1) 百科事典・専門事典

- ・新しく登場した分野、進歩の著しい分野を調べるのに十分か？
- ・新しい地名や主要人物の記載があるか？
- ・年表、統計、図表が更新されており、調べ学習に活用できるか？
- ・時流に合わない写真を掲載していないか？
- ・内容や表現が専門的すぎず、情報を調べてまとめるために困難がないか？

(2) ハンドブック・便覧

- ・新版や改訂版が刊行されていないか？

(3) 情報科学・コンピュータ

- ・操作方法や画面の写真などは、実際に扱う画面と大きく異なるか？

【1類】

(1) 心理学・こころ・道徳

- ・児童の悩みを扱う図書や道徳の図書の内容は現状に合っているか？

【2類】

(1) 歴史

- ・教科書と異なる表記、学説を取り入れているか？

(2) 地図

- ・新しい地名の記載があるか？
- ・首都、国旗、通貨、表記など国のデータは最新か？

(3) 地誌・旅行案内書

- ・特に修学旅行の参考に使用する図書の情報は現状に合っているか？

【3類】

(1) 政治、法律、経済

- ・政治制度や主要な法律の改正に対応し、現状を理解するために利用できるか？
- ・経済のデータは現状を理解するために利用できるか？

(2) 人権

- ・記述内容に明らかな人権問題を含んでいないか？

(3) 教育

- ・時事問題関係や学習参考書は現状にあっているか？
- ・学習指導要領の改訂により学習事項や取り扱いが変わっていないか？
- ・就職や受験の案内書は、企業情報や学校情報が最新のものか？

【4類】

- (1) 自然科学
 - ・ 技術や実験についての説明は新しいか？
 - ・ 新しい学説や発見について記載があるか？
- (2) 医学
 - ・ 医療方法や学説について明らかな誤りを含んでいないか？

【5類】

- (1) 工学・技術
 - ・ 工業技術の説明は新しいか？
 - ・ 統計、図表が更新されており、調べ学習に活用できるか？
 - ・ 記述内容に安全上の問題を含んでいないか？
 - ・ 公害対策や環境問題など、最近の研究成果が取り入れられているか？
- (2) 家庭
 - ・ 料理や服飾について、新しい素材、技術、流行等が取り入れられているか？

【6類】

- (1) 産業・商業
 - ・ 統計、図表が更新されており、調べ学習に利用できるか？
- (2) 通信
 - ・ 通信技術の現状に合っている内容か？

【7類】

- (1) 美術
 - ・ 写真図版の変色が激しいために、絵画や写真の鑑賞に誤解を与えないか？
- (2) スポーツ
 - ・ 新しい種目、ルール、技術、用具等が取り入れられているか？
 - ・ 運動や応急処置に関する内容に安全上の問題を含んでいないか？

【8類】

- (1) 辞典
 - ・ 語義、語源、用例等の記述に大きな誤りが無いか？

【9類】

- (1) 文学
 - ・ ルビ、漢字の使用、用語などが高度すぎず、児童の読書に活用できるか？
- (2) 翻訳書、翻案書、抄訳書
 - ・ 児童の感覚にあった翻訳や翻案、より完全な抄訳が出版されていないか？

繰り返しになりますが、一般基準や分類ごとの除籍対象に該当しても、すぐに除籍しなければならないというわけではありません。特定の分類をまとめて除籍してしまうと、児童の学習の機会が失われてしまいます。その分類を更新できないか、いつ頃更新できるかを検討しましょう。

4 除籍対象の図書の選出～廃棄までの流れ

以下は学校図書館図書を廃棄するまでの一例です。実際に除籍や廃棄を行うときは、それぞれの学校および教育委員会で定める手続きに従ってください。

(1) 除籍対象の図書を選ぶ

- ① p.7「除籍の流れ」を参考にして、除架したものの長らく利用されていない図書、学習や読書活動において利用価値の下がった図書を選び出します。
- ② 学校司書や司書教諭、図書主任、教科主任、管理職等で委員会を構成し、除籍対象の図書に検討を加えます。委員会の構成が難しくても、除籍の検討は複数人で行いましょう。
- ③ 除籍候補が決まったら、蔵書目録を参照して、「備品扱い」「消耗品扱い」「寄贈等により未登録」と区分を分けてリストを作成します。

「もしかしたら使うかも」と思うとなかなか除籍できないので、「必要になったら近くの公共図書館から借りられる」ことを念頭に！



(2) 学校長の決裁を得る

- ① 除籍候補のリストを提出して学校長から決裁を得ます。
- ② 「消耗品扱い」「寄贈等により未登録」の図書は教育委員会に申請する必要がないことがあります。申請の必要がなければ「(4) 除籍事務」へと進んでください。

(3) 教育委員会の決裁を得る

- ① 各自治体が定める申請方法、申請書類に従って、除籍の決裁を得ます。

(4) 除籍事務

- ① 図書原簿（受入年月日、登録番号、書誌の情報、財源、値段等を記した管理簿）があるときは、除籍図書に二重取り消し線を引き抹消します。
- ② 図書除籍簿（除籍月日、除籍番号、書誌の情報、登録番号、除籍理由等を記した管理簿）があるときは、除籍図書の情報を記載します。
- ③ カード目録や冊子目録、電子データから除籍図書のデータを削除します。
- ④ 図書の登録印の近くに除籍印を押し、ラベルやバーコードを取り外したり、油性ペンで線を引いたりします。ブックカード、ブックポケット等の装備類もできるだけ除去します。
- ⑤ 自治体のルールに従って図書を廃棄処分します。
学級文庫や学校図書館外の読書スペースに置いて活用しましょう。

参 考 文 献

全国学校図書館協議会「学校図書館図書廃棄基準」1993年1月15日制定
(<http://www.j-sla.or.jp/material/kijun/post-36.html>)

文字・活字文化推進機構、全国学校図書館協議会、学校図書館整備推進会議
『蔵書「更新」の手引き』2015年4月発行
(<http://www.gakuto-seibi.jp/publish/index.html>)

分類を理解しよう

分類記号を統一することによって、同じ分類の図書を1か所に集めて配架でき、目的の図書を探しやすくなります。学習における図書活用が容易になるだけでなく、校外の図書館とも共通した配架にすることで、一生使える図書館活用能力を育みます。

1 分類記号とは

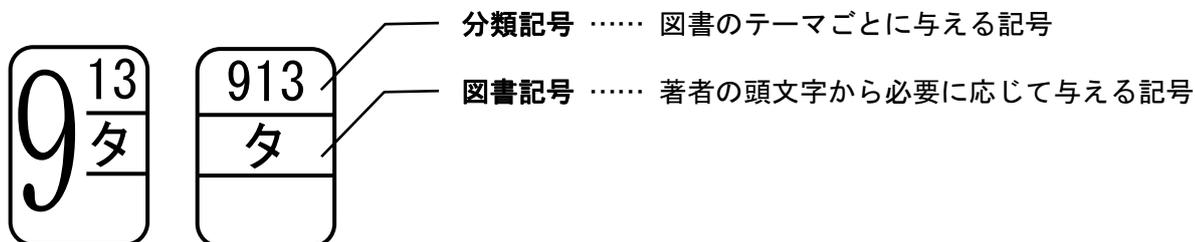
図書はそれぞれテーマをもって書かれています。そのテーマが日本十進分類法のどの区分に位置するかを示したものが「分類記号」です。

日本十進分類法では、大きなテーマから細かいテーマへ枝分かれする形で第1次区分から第3次区分まで「類」「綱」「目」が設定されています。そして、それぞれに0～9の記号が与えられています。

第1次区分（類）	第2次区分（綱）	第3次区分（目）
0 総記	40 自然科学	480 動物学
1 哲学	41 数学	481 一般動物学
2 歴史	42 物理学	482 動物地理
3 社会科学	43 化学	483 無脊椎動物
4 自然科学	44 天文学	484 軟体動物
5 技術	45 地球科学	485 節足動物
6 産業	46 生物科学	486 昆虫類
7 芸術	47 植物学	487 脊椎動物
8 言語	48 動物学	488 鳥類
9 文学	49 医学	489 哺乳類

例えば「カブトムシの育て方」について書かれた図書の分類記号は【486】になります。

2 背ラベルとの関係



図書館では、分類記号をもとに背ラベル（以下、単に「ラベル」といいます。）を作成します。ラベルに書かれた分類記号を基に図書が配架されるため、分類記号を決めることは書架の在り方を決めることにつながります。

➡ p. 17「ラベルの貼り替えをしよう」

3 分類記号のつけ方に関する基本方針

学校図書館の環境や考え方によって、分類記号と配架の決め方はそれぞれ異なります。担当者が変わっても分類の方法が統一できるように、あらかじめ基本方針を立てましょう。

(1) 日本十進分類法の小学校適用例

- 『日本十進分類法』新訂10版（日本図書館協会）を基本に作成しています。

➡ 付録2「日本十進分類法の中学校適用例」

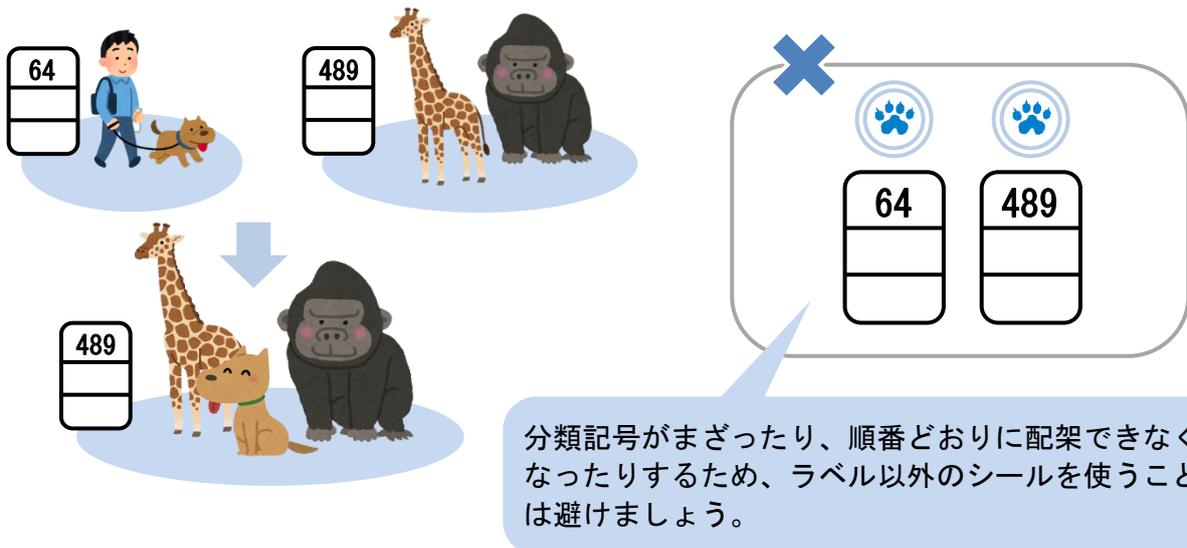
(2) 分類記号は2桁？ 3桁？

- 小学校の蔵書規模では2桁以上の分類記号が理想的です。分類記号が2桁あれば、同じ分類でまとめ、配架しやすく、受入れや分類の作業も簡単になります。一方、全ての図書に3桁の分類記号をつけてしまうと、分類が細かくなりすぎて児童の利用が困難になることも。
- ただし、特に所蔵の多いテーマは3桁（第3次区分）の分類記号をつけましょう。「仕事」「動物」「環境」「日本文学」などに関する図書は、児童の関心が高かったり、授業で頻繁に扱ったりします。利用頻度や蔵書数の多いテーマを細かく分けてまとめて配架すると調べ学習や並行読書に役立つ書架づくりができます。
- 納品の時点で分類記号3桁のラベルが貼ってあるときは、書架の見出しや箱型差し込みサインは2桁を表示して、必要に応じて3桁表示の板状差し込みサインを作る方法がお勧めです。

(3) 方針の決め方

- 学校図書館としてはまとめて配架したいテーマでも、日本十進分類法では別々の分類記号を与えていることがあります。特に、ラベルが貼ってある状態で図書が納品される場合は、学校図書館の方針とラベルの分類記号が異なることは多々あります。
- まとめて配架したいテーマがあるときは、必ずラベルの分類記号を書き換えます。ラベル以外のシールを用いると配架に混乱が生じ、分類記号順に並ばなくなってしまいます。

(例) 猫や犬のペットは日本十進分類法では【64】〈畜産〉の下に収めますが、ほかの哺乳類とまとめて配架しても構いません。このとき、ペットの図書はラベルを【489】に書き換えます。



日本十進分類法と異なる方針を立てたら、学校図書館独自の分類表を作成しましょう。

(4) 特に方針を決めておきたいテーマ

① 個人の伝記について

- ・個人の伝記は【28】〈伝記〉に収めます。
- ・ただし、音楽家やスポーツ選手などの伝記については、学校ごとに方針を決めましょう。現代の歌手やスポーツ選手と歴史上の人物を同じように配架すると違和感があるためです。また、日本十進分類法でも、哲学者、宗教家、芸術家、文学者は主題ごとに収めています。

(方針 A) 個人伝記は全て【28】にする。

(方針 B) 個人伝記のうち【1 類】(哲学者・宗教家)、【7 類】(芸術家・音楽家・スポーツ選手)、【9 類】(文学者)について、それぞれ【28】にするか主題ごとにするか決めておく。

織田信長	⇒ 【28】
キリスト	⇒ 【28】 または 【19】 〈宗教〉
ベートーベン	⇒ 【28】 または 【76】 〈音楽〉
EXILE	⇒ 【28】 または 【76】 〈音楽〉
大谷翔平	⇒ 【28】 または 【78】 〈スポーツ〉
芥川龍之介	⇒ 【28】 または 【913-ア】 〈日本文学〉



※昔の音楽家は【28】、最近の歌手は【76】などのように年代で分類記号を別々にすると、年代の境目に活動した人物や、児童にとっては昔に感じられる人物がうまく分類できなくなりますので、必ずテーマによって分類記号を決めましょう。

※個人伝記の分類記号を主題ごとにつけるときは、図書館オリエンテーションで、どのテーマの伝記がどこにあるか、児童に説明を必ず行います。

② 社会福祉に関する図書について

- ・国語や社会で学習する機会の多い社会福祉に関する図書は【369】〈社会福祉〉に収めます。
- ・社会福祉に関する読み物については、学校ごとに方針を決めましょう。

(方針 A) ドキュメンタリー、ノンフィクションなども【369】に分類する。

(方針 B) ドキュメンタリー、ノンフィクションなどは【916】に分類する。

学習スペースと読書スペースを分けるという考え方から、読み物としての性格が大きい図書は【916】に分類することをお勧めします。

③ 漫画形式の図書について

- ・漫画は、児童が学習内容に興味を持ちやすい反面、漫画ばかり読むようになってしまい読書の間口が広がらなくなるおそれもあります。どのように漫画を分類・配架するか、学校図書館の方針を決めましょう。

(方針 A) 特定のテーマを漫画で描くものは各分類に、創作漫画は全て【72】〈絵画〉に分類する。

『まんが日本史』	⇒ 【21】 〈日本史〉
『くもんのまんが古典文学館：枕草子』	⇒ 【910】 〈日本文学・古典文学〉
『ブラック・ジャック』（手塚治虫著）	⇒ 【72】 〈美術〉

(方針 B) 創作漫画を【9 類】に分類する。

『ブラック・ジャック』（手塚治虫著）	⇒ 【913-テ】
『まんが家になろう！』	⇒ 【72】 〈絵画〉（漫画の描き方、歴史等を収める）

(5) 分類記号を変更したい事例

教科学習や調べもので利用しやすいように、分類記号を変更することがあります。次に挙げる事例を参考にして、分類記号の基本方針に検討を加えましょう。

① 図鑑、全集、シリーズものの図書について

- ・ 百科事典のように系統的な全集は揃えます。
- ・ シリーズものでも各冊がそれぞれ独立した内容であれば、テーマに従って分類します。

(例) 『ポプラディア』 ⇒【03】〈百科事典〉
『ビジュアル博物館』 ⇒テーマごとに分類
(「第1巻 鳥類」⇒【488】〈鳥類〉、「第2巻 岩石と鉱物」⇒【45】〈地球・気象〉…)

② 【37】〈教育〉に分類されている図書について

- ・ 日本十進分類法では、教科学習を【37】に収めることになっていますが、学習活動や教科の一部をテーマとした図書は、ほかの分類に収められないか見直します。
- ・ 【37】にはクラブ活動や委員会活動、学習法、社会研究、学校、勉強法などを収めます。

(例) 新聞づくりに関する図書 ⇒【07】〈新聞〉
性教育に関する図書 ⇒【49】〈医学〉
自由工作に関する図書 ⇒【75】〈工芸〉
英語教育に関する図書 ⇒【83】〈英語〉



③ 動物記について

- ・ 創作と科学読み物を区別するため、読み物としての性格が大きい動物記は【9類】に、生物の生態や行動について書かれた作品は【48】の下に収めます。

(例) 『片耳の大鹿』(椋鳩十著) ⇒【913-ム】
『シートン動物記』 ⇒【93-シ】
『ファーブル昆虫記』 ⇒【486】〈昆虫〉(昆虫の生態・習性について記述が多いため)

④ 古典文学について

- ・ 【9類】は文学の形態ごとに分類記号がつけられているため、学習でまとめて使用する古典文学がばらばらに配架されてしまいます。
- ・ 古典文学は【910】または【918】につけ替えてまとめて配架するのがお勧めです。

(例) 『源氏物語』(本来は【913-ム】) ⇒【910-ム】または【918-ム】
『枕草子』(本来は【914-セ】) ⇒【910-セ】または【918-セ】
『百人一首』については、学校の方針によって【911】か【910】【918】にまとめましょう。

⑤ 絵本について

- ・ 絵本は対象学年や用途が一般文芸書と異なるため、【9類】とまとめて配架するのは好ましくありません。絵本の分類記号は【E】などを用いて【9類】とは異なる分類記号とラベルにして低書架や書架の低い位置に配架しましょう。
- ・ 形態としては絵本でも学習用として使いたいときには、テーマに基づいて分類記号をつけても構いません。

(例) 『はらぺこあおむし』(エリック・カール著) ⇒【E-カ】
『うまれたよ! トンボ』(よみきかせいきものしゃしんえほん) ⇒【486】〈昆虫〉

4 蔵書の標準配分比率

分類記号を整備すると、どのテーマに更新の必要があるのか、どのテーマの分量が少ないのか、学校図書館の抱える問題点が明らかになります。
 自館の所蔵している分類記号ごとの冊数を基に、標準配分比率との差を比べてみましょう。

	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	合計
小学校	6	2	18	9	15	6	5	9	4	26	100%
自館の冊数											
自館の割合											

「蔵書の標準配分比率」

(2000年3月21日制定 全国学校図書館協議会「学校図書館メディア基準」から引用・作成)

標準配分比率は、各学校の教育課程や学校方針、地域の実情などを考慮して使用します。
 絵本や漫画はテーマごとに分類して冊数を計ります。創作ものは【9類】に分類してください。

更新が必要なテーマは…

冊数が足りないテーマは…

その他気づいた問題点

〈配置替え〉→ p.21 を行う際は、図書の更新や追加を見越してレイアウト案を作成します。
 標準配分比率を大幅に上回ってしまうテーマがあれば内容によって〈除籍〉→ p.7 を行います。

コラム

右の3つの動物を分類してみましょう。低学年の子は「海にいる動物」「陸にいる動物」に分けるかもしれませんが、しかし、クジラもカバも哺乳類なので、日本十進分類法では【489】に分類されます。

不便に思うかもしれませんが、「学び」とは細分化して深まっていくものだと考えると、「海の動物」「陸の動物」と個別のカテゴリーを作るよりも、同じ

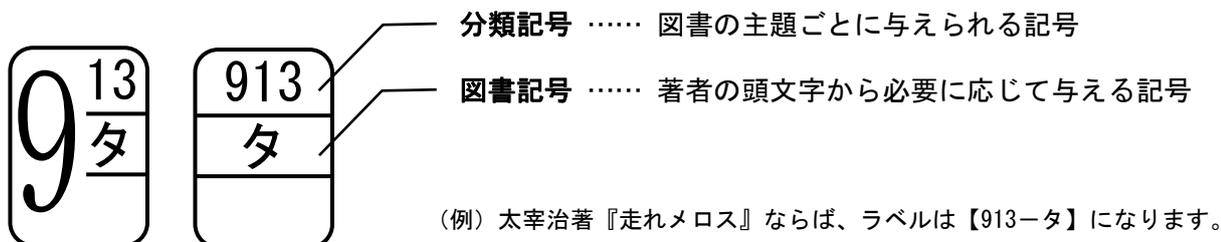
【48】〈動物〉の中に【487】〈魚類〉と【489】〈哺乳類〉の違いがあると分かる分類の方が児童の学習を助けます。「クジラとカバの違いと共通点」から始まる発見がそこにはあるのです。



ラベルの貼り替えをしよう

分類ができれば、分類記号を基にラベルを作成して図書の背に貼ります。
分類記号とラベルと配架場所が一致するように整理しましょう。

1 ラベルの見方



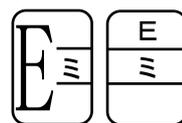
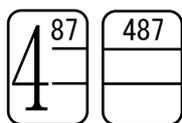
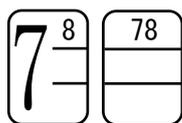
原則として、分類記号順に配架した後で、図書記号がある分類においては図書記号の五十音順に配架します。

2 ラベルの基本方針

(1) 分類記号について

- ① 原則として、2桁以上の数字（第2次区分以上）の分類記号をラベル1段目に記入します。
- ② ただし、特に所蔵の多いテーマは3桁（第3次区分）までの分類記号を記入しましょう。
 - ・「仕事」「動物」「環境」「日本文学」などのテーマの図書は、児童の関心が高かったり、授業で頻繁に扱ったりします。利用頻度や蔵書数の多いテーマを細かく分けてまとめて配架すると、調べ学習や並行読書に役立つ書架づくりができます。
- ③ 絵本は【9類】と異なった分類記号をつけ、ラベルは別のものを用います。
 - ・絵本は対象年齢や用途が文芸書と異なるため、まとめて配架すると利用しやすくなります。

- (例) 『サッカー大百科』 ⇒ 【78】〈スポーツ〉
『サメ大図鑑』 ⇒ 【487】〈魚類〉
『わたしと小鳥とすずと』（金子みすゞ著） ⇒ 【911-カ】〈日本文学-詩〉
『おまえうまそうだな』（宮西達也作絵） ⇒ 【E-ミ】



図書の背の下から3~5mmあけて貼ります

(2) 図書記号について

- ① 【9 類】〈文学〉、【E】〈絵本〉のラベル 2 段目には図書記号をつけます。
- ・ 文学や絵本の図書記号は、著者の姓（ファミリーネーム）の頭文字をとります。
 - ・ 絵本では絵の制作者ではなく文の執筆者の頭文字をとることで、並行読書に役立っています。
- ② 図書記号はカタカナ 1 文字、清音に変換してつけます。
- ・ 著者が日本人でも図書記号にひらがなは使いません。また、濁音や半濁音も使いません。
 - ・ 学校図書館の蔵書規模ではひらがなとカタカナ、清音と濁音等を分ける必要がなく、図書記号を複雑にするとかえって配架が難しくなるためです。

- (例) 『羅生門』（芥川龍之介著） ⇒ 【913-ア】（×【913-あ】）
『走れメロス』（太宰治著） ⇒ 【913-タ】（×【913-た】【913-ダ】）
『そして誰もいなくなった』（アガサ・クリスティ著） ⇒ 【93-ク】（×【93-ア】）
『ふたりはともだち』（アーノルド・ロベール著） ⇒ 【E-ロ】（×【E-ア】）



- ③ 2 名以上の著者がいるときは最初に表示されている著者の姓の頭文字を図書記号にとります。
- (例) 『恋のキュービッド大作戦!』（石崎洋司、令文ヒロ子著） ⇒ 【913-イ】

(3) 個人伝記の図書記号について

- ① 【28】〈伝記〉に図書記号をつける事例を紹介します。方針に応じて参考にしてください。
- ・ 伝記の図書記号は、伝記に描かれている人物の頭文字をとります。
 - ・ 伝記に描かれている人物が 2 名のときは、最初に描かれている人物の頭文字をとります。

- (例) 『織田信長』（吉本直志郎著） ⇒ 【28-オ】（×【28-ヨ】）
『エジソン』（ルカ・ノヴェッリ著） ⇒ 【28-エ】（×【28-ノ】）
『武田信玄と上杉謙信』 ⇒ 【28-タ】



- ② 【28】〈伝記〉において、3 名以上の列伝のときは特に図書記号をつけません。
- ・ ただし、一族の家史や系譜については、被伝者の共通する姓の頭文字を図書記号にとると、同じ一族をまとめることができます。
 - ・ 列伝や人物史の図書記号をつけないことで、不特定多数の伝記をまとめることができます。
 - ・ 図書記号がない図書は、五十音順の最初に配架します。

- (例) 『日本人物史』 ⇒ 【28】
『徳川 15 人の将軍たち』 ⇒ 【28-ト】
『奥州藤原氏四代』 ⇒ 【28-フ】

- ③ 分類記号が【28】でも、国旗や苗字、家紋などに関する図書には図書記号をつけません。
- ・ 列伝とともに、【28】の分類記号の中で五十音順の最初に配架します。

- (例) 『ジュニア世界の国旗図鑑』 ⇒ 【28】
『人名・地名おもしろ事典』 ⇒ 【28】



(4) 別置について

- ・分類記号が記入されたラベルとは別に、別置シールを使用する学校が少なくありません。戦争に関する図書、修学旅行の参考になる図書など、学校行事や展示のために図書を一定のテーマでまとめたときに使われます。
- ・別置シールは単純なカラーシールを避けて、何のテーマによる別置なのか分かりやすいシールを用いましょう。

別置シールはテーマを明示します



(例1) 必要な時にそれぞれの分類からシールを手掛かりに集める場合

- ・別置シールを貼っていても、普段は分類記号順に配架します。展示や授業に用いた後は元の分類記号順に返却し、特定の書架のスペースを使用しません。
- ・どのような図書に別置シールを貼るか方針を決めておきましょう。

(例2) 普段から1か所に集めて配架する場合

- ・書架には、別置するテーマについて表示を行います。
- ・児童には図書館オリエンテーションで別置場所を説明するほか、担当者が変わっても別置が維持できるように方針を決めておきましょう。
- ・分類記号順に並ぶという原則を外れたコーナーは最小限にとどめましょう。

別置をするときの注意点

- ・国語や理科などの科目ごとのテーマ、「環境」「社会福祉」など分類記号と差異がないテーマによる別置はやめましょう。科目横断的な学習を妨げるだけでなく、児童が図書を返却する際に分類記号と別置のどちらを優先するのか混乱するおそれがあります。
- ・例えば沖縄について【21】〈歴史〉【29】〈地理〉【91】〈文学〉をまとめるなど、分類記号の意味を損ねるような別置はやめましょう。

コラム

ひとつの手紙に宛先を2つ書くと、どちらの住所に届くのでしょうか。おそらくどこにも届かずに差出人のもとに戻ってくるでしょう。

図書のラベルも手紙の宛先と同じように考えることができます。ラベルに書かれた分類記号を見て、書架の見出しを確認し、正しい位置に図書は返却されます。複数の分類記号がついていたり、ラベルとは別の表示が貼られていたりすると、図書を正しく返すことができません。

分類の意味を損なわない範囲で、図書の分類記号を変更することは問題ありません。ただし引越しをしたら住所登録を変更するように、図書の分類記号を変更したらラベルを書き換えることを忘れないようにしましょう。

学校図書館では、管理運営を担う教職員や学校司書が変わることを見越して「例外は少なく」「誰にでも分かりやすい」方針を立てましょう。そうすることで配達員（児童たち）も迷わずに正しい住所にたどり着けるようになるのです。



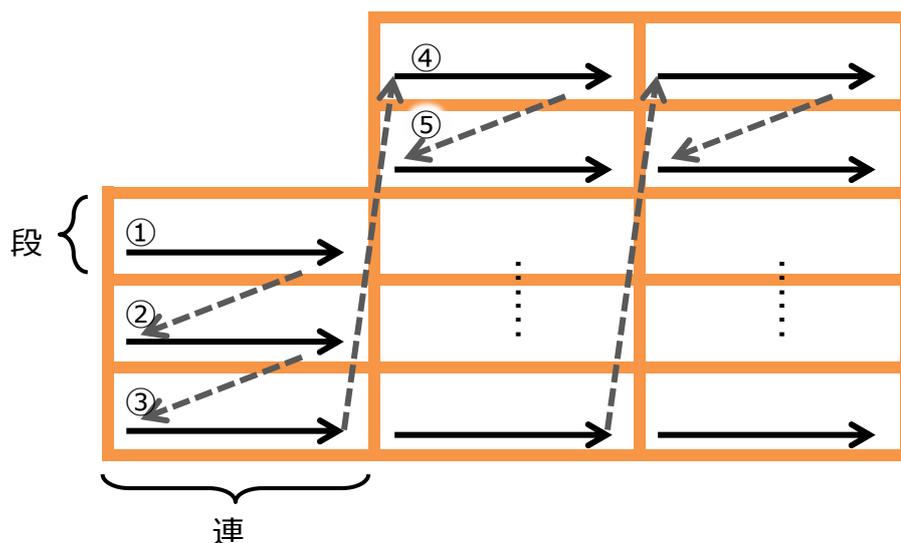
配架を見直そう

書架に図書を並べることを「配架（排架）」といいます。

書架1つ分の単位を「連」と呼び、棚板で区切られた単位を「段」と呼びます。

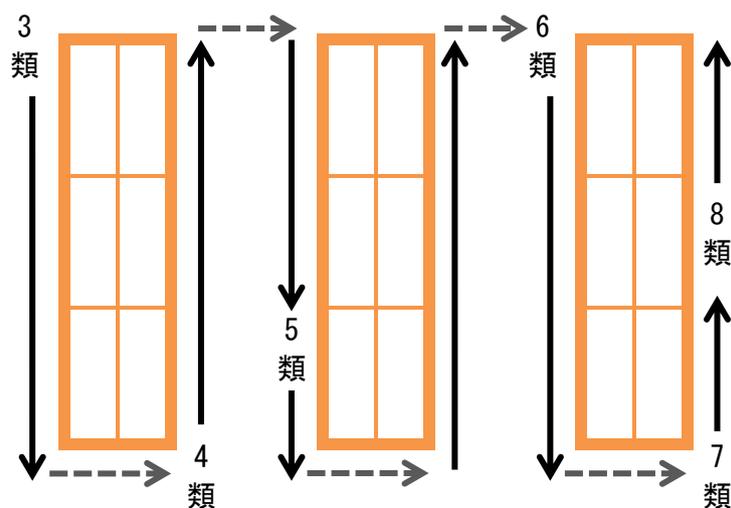
図書は、原則として段ごとに左から右へ、上から下へと配架し、1連が埋まったら右隣の書架に同様に配架していきます。

(例) 3段の書架1連と、5段の書架2連の場合



したがって、図書は左から右へ、右回りに並んでいきます。くし型に書架が並んでいるときも、書架と向かい合ったときに一番左上にくる段から同様に配架します。

(例) くし型書架配置（俯瞰図）



- ・ 小学校では、書架の下から5段目以上の高い位置に図書を置かないようにしましょう。
- ・ 大きめの学習用図書には1段の高さに30cm以上が必要です。
- ・ 書架を新規購入する際は1連の幅が80cm以上、棚板が動かせるタイプがお勧めです。

配置替えをしよう ～事前準備～

配架を見直すと、図書が分類ごとにまとまっていなかったり、書架の配置変更が必要になったりすることがあります。また、死角が多い、机やいすがあちこちにあるなど、グループ学習や授業を行いにくい環境であることも。図書館の環境を整えるために配置替えをしましょう。

不要な図書の〈除籍〉→p.7 をしておく、図書を移動させる作業が少なくなります。
また、〈ラベルの貼り替え〉→p.17 を行っておくと、各分類に図書の分量がどのくらいあるか測りやすくなるため、最終的な配置のビジョンを明確にすることができます。

1 各分類の図書の幅と、書架の内寸を測る



(1) 図書の幅の計測

- ・【00】～【99】まで、各分類の図書の幅（cm）を計測します。
- ・新刊を配架するときは、更新を見越して図書の幅に含めます。

➡ 付録3「分類別蔵書量の記録用紙（小学校版）」

(2) サインの幅の計測

- ・書架に厚みのある差し込みサインを挿入するときは、サインの幅の合計（cm）を図書の幅に追加します。

➡ p.26「サインを作成しよう」

(3) 書架の幅の計測

- ・それぞれの書架の「内寸（cm）×段数」を計算して、使用する書架（cm）を求めます。
- ・児童の目線を考えて、書架の下から5段目以上には図書を配架しないようにしましょう。

⇒「図書の幅＋サインの幅」が「書架の幅」よりも大きくなったら？

- ① 除籍を保留していた図書のうち、複本や似た内容で利用価値の低い図書を除籍する。
- ② 授業でしか使用しない辞書は数冊開架して残りはバックヤードに別置する。
- ③ 書架やカラーボックスを新調する。書架についてはp.20「配架を見直そう」を参照。

3 レイアウト案を作成する

(1) 現在のレイアウトの作成

- ・Excel や方眼紙を用いて、正確な縮尺で現在の学校図書館のレイアウトを作成します。部屋の広さ、書架のサイズを必ず正確に測りましょう。

(2) 現時点の分類の把握

- ・現時点でどの書架にどの分類が、どの程度の分量で収まっているかを記入します。

(3) その他の考慮すること

- ・コンセントや電気スイッチの位置、コンピュータ機器の配線、図書の日焼けを防ぐために窓との位置関係やカーテンの有無などにも注意します。

(4) 書架の配置と分類の割り振り

- ・先に計測した部屋の広さと書架のサイズ、分類ごとの蔵書の分量から、使いやすい設備の配置を考えます。
- ・書架の底面が床と固定されていることもあるため、実際に書架が動かせるかどうかを確認しておきましょう。

《設備の配置のポイント》

- ・1学級分の机といすがまとまって配置されている。
- ・カウンターからの死角、教員の立ち位置からの死角が少ない。
- ・机と書架、書架と書架の間は往来ができるように1m以上の幅をあける。
- ・カウンター前や展示のためのスペースが狭くならないようにする。

《配架のポイント》

- ・高い位置に図書を置かない。絵本は低書架または書架の低い位置に収める。
- ・分類記号順にまとまるように配架して、別置を少なくする。
- ・可能な限り、分類記号の区切りが書架や段で途切れないようにする。
- ・高さのある図書がきちんと入るか。また、文庫のような小さい図書ばかりで余分なスペースができていないか。
- ・読書機能のスペース【9類】と学習・情報機能のスペース【0～8類】を分ける。

(5) リニューアル後のレイアウト案の作成

- ・どの書架をどこに移動させるのか、どの分類をどこに収めるのかを書き込んで、最終的なレイアウト案を作成します。
- ・図書館担当者だけでなく、他の教職員の意見も参考にして、授業に使いやすい学校図書館をつくりましょう。

➡ 付録4「レイアウト案の作成事例」

レイアウト案を作成する時には、新刊書や更新・追加したい分類など分量が増えそうな場所に余裕を持たせることが大事です！

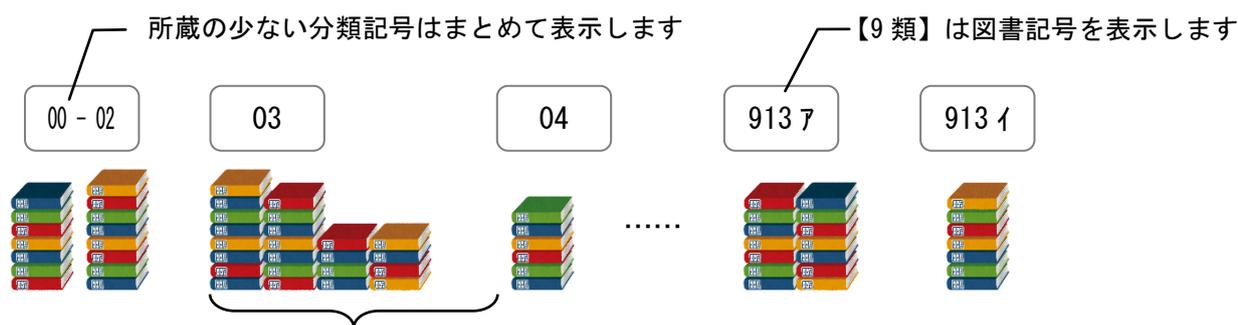


4 リニューアルに向けて

- ① リニューアルを行う日時を決めます。
 - ・リニューアルは学校図書館の利用の停止を伴うため、できるだけ1日で行います。
 - ・児童、教職員らが一丸となって作業に当たれる日を選びましょう。
- ② リニューアルを行う人員を把握します。
 - ・学校図書館に入れる人数は多くても1学級程度です。複数の学級が携わる時は時間を配分しましょう。
 - ・図書の出し入れに教職員やボランティアなど大人の手が4名程度必要です。携わる教職員等とはあらかじめ打合せを行いましょう。

5 リニューアル前日の準備

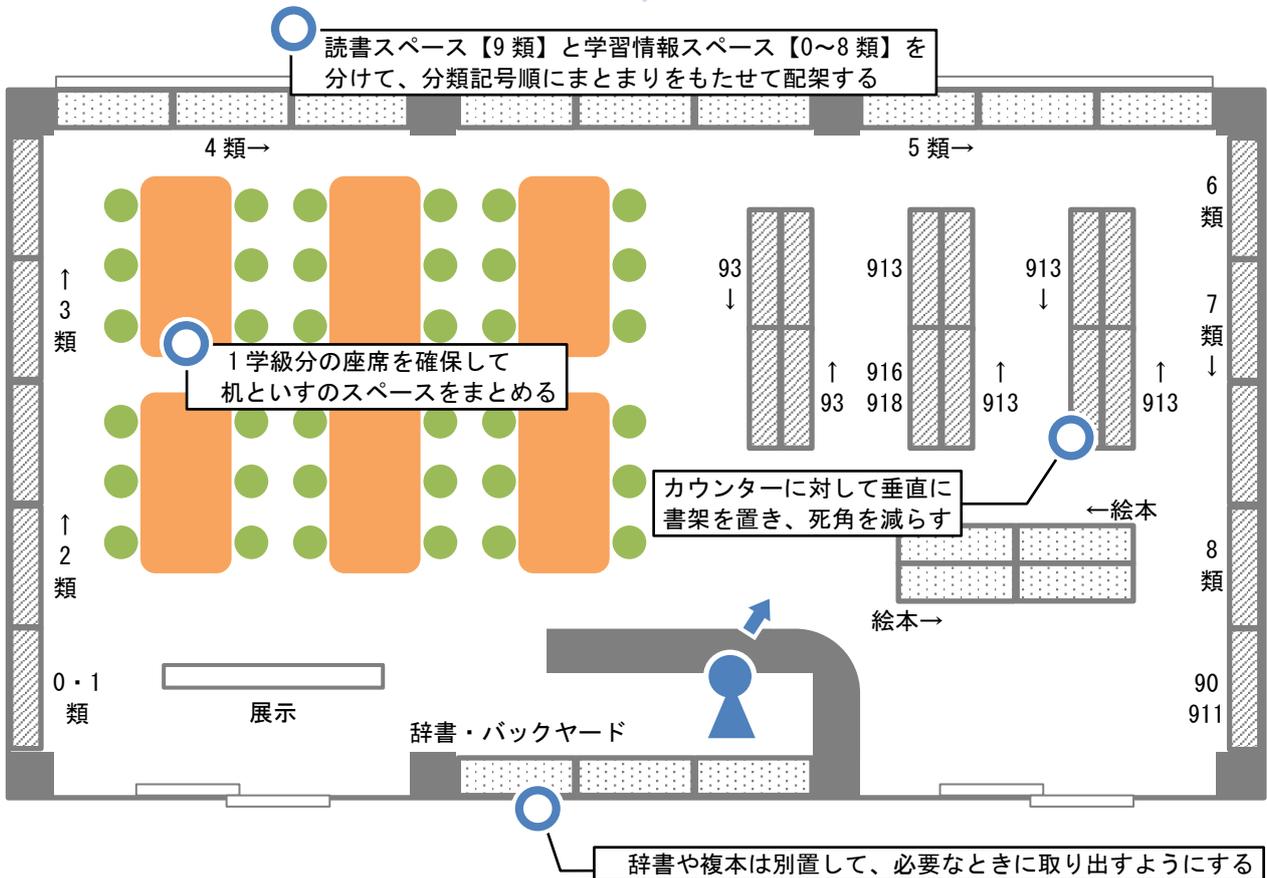
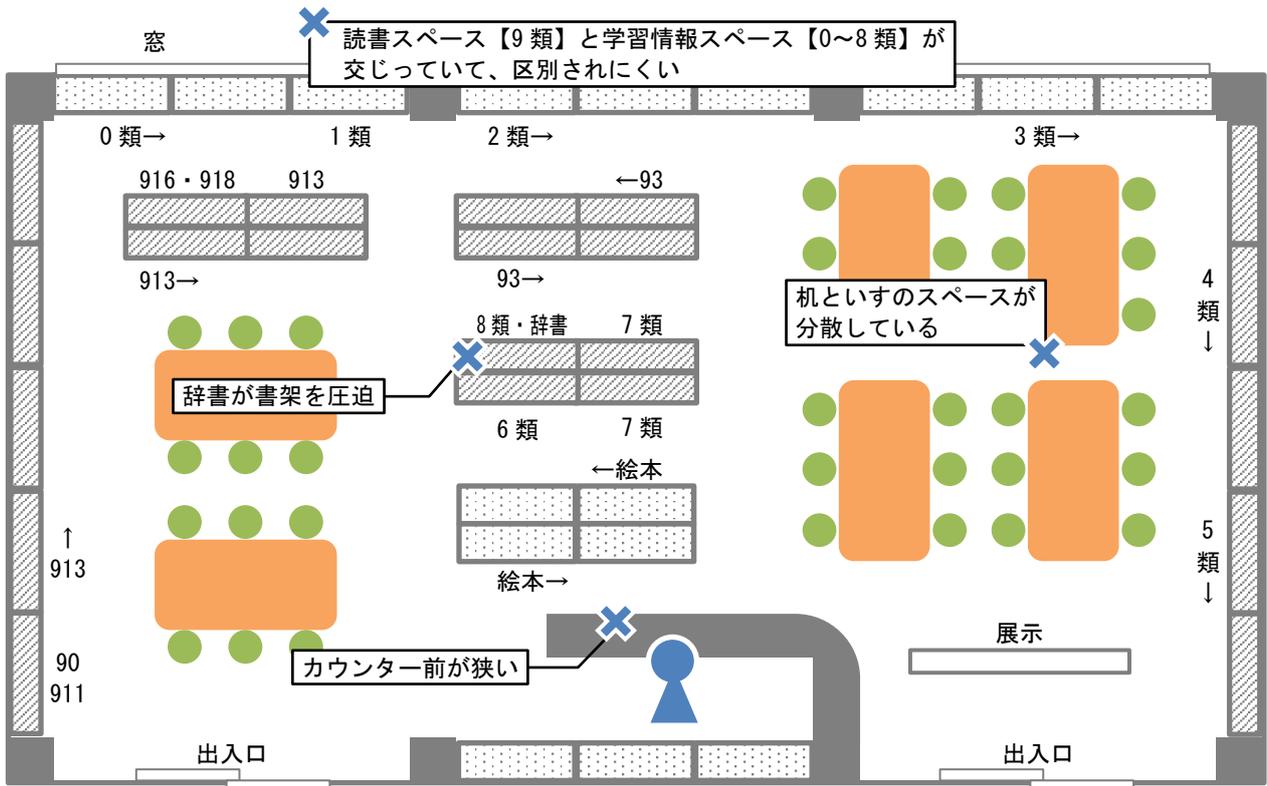
- ① 机、いすなどを一時的に他の場所へ移動させます。
- ② 空き教室や廊下など、本を平積みする場所を確保します。
 - ・運び出しを行う際に人がぶつからないように、動線を考えておきます。
 - ・作業時間が短いときには、動線を複数つくることもあります。動線が交差したり、運び出した図書が図書記号順に並ばなかったりしないように注意します。
- ③ 平積みする場所を示す分類記号の見出しを作ります。
 - ・運び出す範囲の分類記号を紙に書きます。【9類】や絵本は図書記号を表示します。
 - ・自校の所蔵に合わせて、分量の少ない分類については表示を省いたり、分類記号をまとめて表示したり、工夫を行いましょう。
 - ・分類記号表示の枚数が多いため、裏紙を使用することをお勧めします。
- ④ 運び出す場所に ③ で作成した表示紙を貼ります。
 - ・前もって計測しておいた各分類の量から貼る間隔を調整します。
- ⑤ 床や廊下に平積みするときは、床掃除をする、新聞紙を敷くなどの本が汚れないような対策をとりましょう。



ビフォーアフターの例

低書架 (2段)

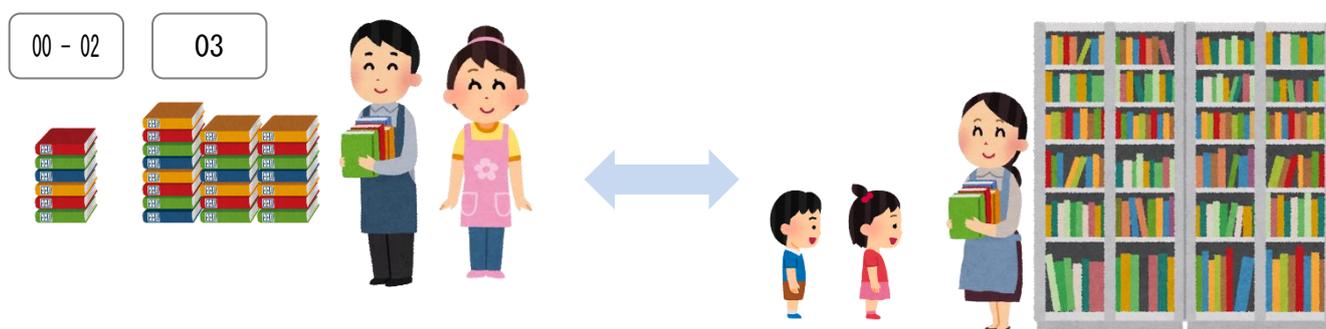
高書架 (4段)



配置替えをしよう ～当日の作業～

1 蔵書を学校図書館の外に運び出す

- ・ 分類の【00】から順番に図書を外に運び出します。
- ・ 図書館側で図書を渡す職員1名と廊下側で受け取る職員2名を置いて、その間を児童、職員、ボランティアらが往復またはバケツリレー方式で図書を運びます。
- ・ 受け取り手の職員は、分類記号順に図書を平積みします。分類記号がまじらないように、児童には図書の順番を入れ替えたり、先に図書を受け取った人を追い越したりしないように注意しておきましょう。
- ・ 出入口が狭かったり、動線が複雑になったりするときはバケツリレー方式がお勧めです。



2 設備を移動させる

- ・ 作成したレイアウト案をもとに書架やカウンターを移動させます。
- ・ 書架の棚板や背板が外れているようだったら、この時点で修理します。
- ・ 設備を移動し終わったら、棚板を拭いたり、床を拭いたりしてきれいにします。

3 各分類の起点に差し込みサインを置く

- ・ 差し込みサインがあるときは、レイアウト案をもとに、各分類の起点となる予定の位置にサインを置きます。差し込みサインはできるだけ書架の段の一番左端にくるように置きましょう。
- ・ 新刊が追加されることを念頭に置いて、段の右側に余裕をもたせます。

4 蔵書を書架に戻す

- ・ 運び出しとは反対に、廊下側で図書を渡す職員1名と図書館側で受け取る2名を置いて、その間を往復またはバケツリレー方式で図書を運びます。
- ・ 全てを運び入れたら、図書の背の位置がそろるように書架整理を行いましょう。

⇒書架に部分的な空きスペースができたなら？

- ① サインを設置する。
- ② 分類と関係のある飾りを図書委員やボランティアに作ってもらい飾る。
- ③ 表紙見せやPOPなどの展示に活用する。

サインを作成しよう

1 書架用のサインをつくる

どの書架にどのテーマの図書が配架されているのか児童に伝えるために、書架用のサインを設置しましょう。サインは、遠くから見ても分かりやすい字体、大きさ、色を使って、統一感のあるものを作成します。

(1) 書架の見出しと側板見出し

- ・書架の上部に置いたり、側板に掲示したりして、書架にどの分類記号の図書が収まっているかを表します。
- ・分類記号の第1次区分（類）の見出しは必ず作成しましょう。掲示する場所や紙面に余裕があるときは、第2次区分（綱）以上の分類記号を表示すると児童の図書館理解に役立ちます。

(2) 差し込みサイン

- ・書架や図書と図書の間に挟み、サインよりも右側の図書がどの分類記号なのかを表します。
- ・第2次区分（綱）全ての差し込みサインを作成するのは困難です。蔵書の量やテーマによってサインの一部を省略したり、利用の多いところから作成したり、工夫をしましょう。

① 箱型の差し込みサイン

- ・箱の両側面と正面に分類記号を表示するため、図書の位置や蔵書の過不足が一目瞭然になり、お勧めです。板状の差し込みサインよりも厚みが必要となるので、学校図書館の広さや蔵書の密度を考慮して使用しましょう。
- ・厚みのある板（不要になった代本板など）や箱を使って作成します。紙製の箱を使うときは壊れにくいように詰め物をしましょう。

② 板状の差し込みサイン

- ・プラスチック板や厚さ2mm程度の厚紙など、耐久性のあるもので作成します。
- ・第3次区分（目）レベルの分類や【9類】〈文学〉における著者の頭文字など、細かな表示をしたいときに便利です。



書架の見出しと箱型の差し込みサインの例
(写真は市販のキットを使用しています)

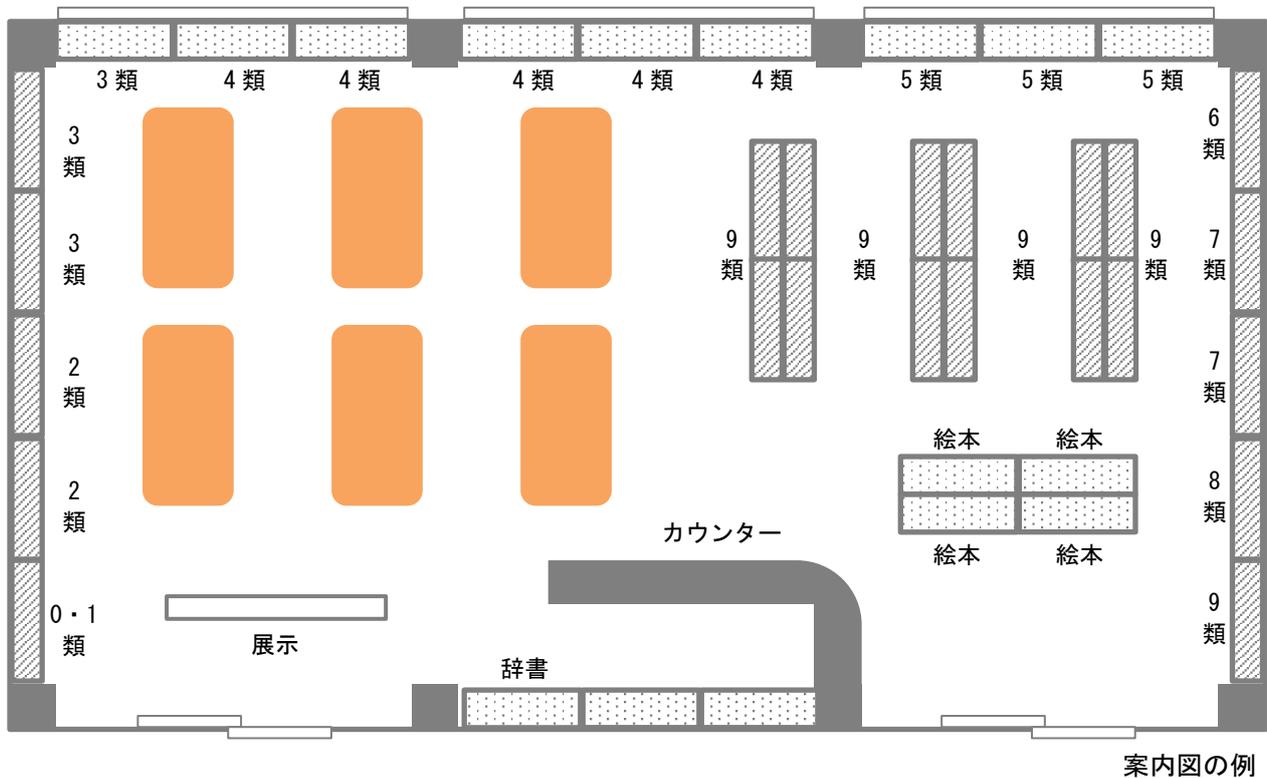


側板見出しの例

2 学校図書館の案内図を掲示する

配置替えをしたら、作成したレイアウト案に実際の修正を加えて案内図を作成します。レイアウト案がないときには、Excel や方眼紙を用いて正確な縮尺の案内図を作成します。
A ゼロ判くらいの大きなサイズで作成しましょう。

特定のテーマの図書を集中的に更新したり買い足したりすると、図書の増減によってサインが移動することがあります。案内図には詳細な分類記号を表示しない方が良いでしょう。



3 利用の案内を掲示する

学校図書館の案内図と合わせて、A ゼロ判程度の大きなサイズで作成しましょう。案内図の近くにまとめて掲示して、図書館利用の役に立てましょう。

① 図書館の利用の仕方

- ・ 図書の借り方や返し方、一度に借りられる冊数、そのほか学校図書館を利用する上で守るルールについて児童に伝えます。

② 日本十進分類法

- ・ 分類の第2次区分（綱）レベル、必要に応じて第3次区分（目）を表示した日本十進分類法を掲示します。ポスターとして市販されているものもあります。
- ・ 学校図書館オリエンテーションや授業において、図書の分類や配架のルールを教える時に役に立ちます。

③ ラベルの見方

- ・ 分類記号と図書記号、分類記号と日本十進分類法の関係、ラベルと配架の関係など、ラベルの見方も掲示しましょう。
- ・ ラベルに書かれている分類記号の順番に図書が並んでいることを教えると、調べ学習で目的の図書に到達しやすくなるだけでなく、返却のルールが分かりやすくなり、児童自らが図書館を維持しようとする意識が芽生えます。

オリエンテーションをしよう

児童や教員が学校図書館に興味を持つように、図書館の使い方や調べ学習の方法についてオリエンテーションを行いましょ。特にラベルを変更したり配置を換えたりしたときは、変わった部分だけでなく、どういう意図でリニューアルをしたのかきちんと伝えましょ。

1 教職員を対象としたオリエンテーション

年に1度、少なくとも新任の教員に対しては必ずオリエンテーションをましょ。オリエンテーションは学校司書や図書主任、司書教諭らと連携して行いましょ。

教職員対象のオリエンテーションの内容例

- ・ 学校図書館の基本的な機能と役割について
- ・ 図書の分類や配架について
- ・ 学校独自の分類や配架、書架の配置、貸出や返却の方法、図書館システムの操作方法など
- ・ 授業で使いたい図書の選定方法について
- ・ 学校司書と協力した授業づくりについて
- ・ 学校図書館を活用した授業の実践と意見交換
- ・ 地域の公共図書館との連携や、公共図書館を利用する時のルール



学校図書館になかなか足を運べない教職員もいるはず。オリエンテーションでは図書を眺め、手に取ってもらえる時間をとりましょ！

付録5「教職員を対象としたオリエンテーション例」

2 児童を対象としたオリエンテーション

学年ごとに内容を変えて、授業や特別活動を通じて年度初めに実施できるのが理想です。クイズ形式にしたり、POPを作ったり、自ら興味のあることを調べてみたりと、児童が楽しんで書架の間を歩き回り、図書に触れることができる内容にしてみましょ。

児童対象のオリエンテーションの内容例

- ・ 図書館を利用する時のマナー
- ・ 図書の借り方や返し方、貸出できる冊数や期間などの利用案内について
- ・ 分類の仕組みと図書の並び方
- ・ 学年に応じた学習の方法（目次や索引から調べる、百科事典を使う、引用のルールなど）

付録6「児童を対象としたオリエンテーション例」

授業をしよう

学校図書館の環境が整い、オリエンテーションで図書館活用の下地ができれば、実際に学校図書館で授業をしてみましょう。図書や学校図書館を活用した授業について、ここでは調べ学習を例に取り上げます。

1 学校図書館を活用した授業の流れ

(1) 指導計画を立てて使用したい図書を設定する

- ・単元の狙いや評価目標から、どのようなテーマの図書をどのように使用するか決めます。
- ・グループ学習か個人学習かによって必要となる図書の冊数が異なるので注意しましょう。

(2) 授業に使う図書を集める

- ・学校図書館に足を運び、授業に使いそうな図書を確認します。使いたい図書が古かったり数が少なかったりするときは、買い直しや追加購入ができないかを検討します。
- ・学校司書が配置されている学校では、学校司書が強力な助っ人となります。授業の狙いや内容を具体的に伝えて、あらかじめ図書を選んでもらいましょう。
- ・授業のテーマがぼやけてしまい集める図書が多岐にわたったり、狙いが狭すぎて図書が集まらなかったりすることがあります。その場合はテーマの範囲を調整して、適度な数の図書が集まるようにします。
- ・図書の数が足りないときは、地域の公共図書館に相談することもできます。公共図書館からどのような支援が受けられるかは自治体によって異なります。図書の数を確保するために時間がかかりますので、授業を行う学期初めには相談してみましょう。



社会福祉について調べ学習をしたいと考えています。グループ学習で授業を進めたいので、10冊ほど図書を選んでいただけませんか？

10冊では読み比べができないので、もう少し多く用意しておきますね。
社会福祉というのは、国の政策についてですか？
補助犬や点字、手話などの本も必要ですか？



政策ではなくて、障害のある人を助ける取組について調べさせる予定です。
補助犬や点字と……身近なバリアフリー設備の本をお願いします。

学校司書や司書教諭の協力を得る際には授業計画を見せて、具体的にテーマを伝えましょう。

(3) いざ、授業へ

- ・児童が自発的に調べものをする授業では、学校司書や司書教諭とチーム・ティーチングを行うことが理想的です。図書が探せない、探している内容が見つからないなど、図書選びに困っている児童をサポートできる環境をつくりましょう。
- ・児童に細かな支援ができないときは、授業に使用する図書を1か所に配置しておくことで、児童が悩まずに図書を選べます。図書をまとめて配置する方法は、児童が学校図書館の分類や配架に慣れていないようなときにも有効です。

《調べ方のポイント》

- ・低学年では、案内図やサインを見て、探している図書までたどり着く。
- ・図鑑を使って目次や索引から調べたいことにたどり着く。
- ・百科事典の仕組みを知り、見出し語の表記の決まりや関連項目の引き方を学ぶ。

《記録のポイント》

- ・低学年では調べものに使った図書名や作者名を記録する。
- ・高学年では奥付を使い、出版者、出版年、ページ、ラベルの分類記号も記録する。
- ・情報カードに調べたことをファイリングしたり、クラスメイトと共有したりする。

《図書活用のポイント》

- ・辞書、百科事典、図鑑などを組み合わせて、調べたことをまとめる。
 - ・「引用」と「参照」のルールと使い分けを学び、そこから自分の意見を述べられる。
 - ・著作権の概念を理解して、図書にとどまらない情報リテラシーを身に着ける。
 - ・図書の分類を理解して、1つのテーマに様々な角度からアプローチできる。
- (例) 「湖について」⇒【29】〈地理〉【45】〈地球学〉【48】〈動物〉【51】〈環境〉など

➡ 付録7「情報カードの例」

(4) 授業のフィードバックを行う

- ・授業をサポートした教職員とともに、授業の振り返りを行います。児童が図書を利用する様子について課題をまとめ、授業の改善点を話し合います。
- ・次年度で同じ単元をする時、あるいは他の教員が授業をする時の参考になるので、授業で使用した図書のリストを必ず作成しましょう。
- ・リストには「この本が大変役に立った」「この本は3年生には難しかった」など、児童の反応や教員自身が使ってみた感想などを書き添えます。特に学校司書や公共図書館の協力を得たときは、感想をフィードバックすることで次回の選書をもっと細やかなものにできます。
- ・公共図書館から借りた図書のうち、繰り返し使いたい図書や学校図書館に置きたい図書があれば、選書の参考にしましょう。



2 全体計画の中に位置づける

学校図書館を活用した授業を一時的なものにしないために、学校全体の計画の中に図書館を活用した授業や研修を組み込みましょう。教職員や学校司書との間で、授業での経験、利用した図書のリスト、学習評価などを共有し、実践事例を積み上げていくことで、円滑な授業準備、深みのある授業展開が望めます。

(1) 年間指導計画に組み込む

- ・各学年、各教科の年間指導計画を作成する時に、どのような図書が活用できるか、どのような支援ができるかを検討します。
- ・学校司書や司書教諭の協力をあおいで、児童・生徒の学習について「課題・調べる・まとめる・発表する」のサイクルを設定し、計画を立てましょう。実践事例や使用した図書のリストを蓄積しておくことで計画を立てる時に重宝します。
- ・図書の種類や数を決めておくため、グループ学習や調べ学習など授業の形態を計画に組み込んでおきます。必要な図書が足りない際には公共図書館の図書を借りて授業を行います。

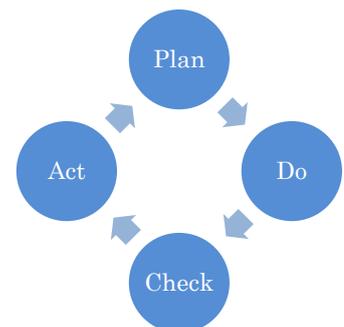
月	教科・単元	指導内容	図書
4	国語「新聞を読もう」	○新聞の編集のしかたや記事の書き方を、実際の新聞を見て確かめる。	●各社新聞
5	理科「植物の発芽と成長」	○インゲンマメの栽培と並行して、植物の育て方を比較しながらまとめる。	●『インゲンマメの絵本』 (農山漁村文化協会) ●『育てよう!食べよう!野菜づくりの本 2』 (ポプラ社) ○植物の育て方に関する図書を学級人数分
	社会「国土の地形の特色」	○グループに分かれて高地や低地の生活をそれぞれ調べ、発表する。	●『調べよう!日本の自然と人びとの暮らし』全6巻 (岩崎書店) ●『日本の国土と暮らし』全8巻 (ポプラ社) ○不足分は公共図書館に借りる

小学校第5学年の学校図書館を活用した年間指導計画例

付録8「学校図書館を活用した年間指導計画」

(2) 計画のフィードバックを行う

- ・授業の点検と修正を行ったように、年度末には年間指導計画についてもフィードバックを実施します。
- ・年間指導計画の評価は全教職員で行いましょう。学校司書、司書教諭、教科主任、図書主任など、異なる視点の評価や意見を話し合い共有します。良かった点、改善点を明らかにして学校図書館の発展に結び付けましょう。



(3) 図書の情報や地域の蔵書を共有する

- ・授業に使用した図書、学校図書館の活用状況は校内で共有し、蓄積しましょう。
- ・学校司書を通じて地域の各学校の蔵書を共有する実践事例もあります。教科単元の実施時期を調整することで、少ない蔵書規模の学校でも図書を集めることができます。

3 授業以外にも…

おはなし会、ブックトーク、ビブリオバトル……。こうしたイベントにとどまらない、学校図書館を活用するための小さな一歩を紹介します。

(1) 図書を活用する

- ① 授業の最中や終わりに単元に関する図書を紹介して、児童の読書意欲を喚起する。
- ② 教科学習に関する発展的な疑問を提示して、児童の自主的な調べ学習を促す。
- ③ 児童が読んでいる図書を教職員も読んでみる。コミュニケーションツールとしての図書。
- ④ 図書館の蔵書を教職員が読み、直接または図書館だよりなどを通じて児童にも勧めてみる。また、教職員間で蔵書の評価を共有する。



(2) 場を活用する

- ① 蔵書を使わなくても、グループ学習を行う場として活用する。その際、授業の終わりには図書を借りられる時間を設けると良い。
- ② 教職員も空き時間に足を運んでみる。コミュニケーションの場としての図書館。
- ③ 教職員の教材研究や研修を行う場として活用する。学校の情報センターとしての図書館。

コラム

抽象的な物事を考えたり創造性のある作業をしたりする時には天井の高い場所の方が有効で、反対に集中して作業を詰めたい時には天井の低い場所の方が効果を得られるそうです。これを「カテドラル効果」といいます。



物語を読む時、興味のあることを調べる時に、児童は想像力を発揮します。学校図書館を考えると、教室よりも空間に余裕があり、それでいて広すぎずに他の友達とコミュニケーションができるような「場」であると思います。主体的に考えたり調べたりする作業を行わなくても、グループで話し合いの時間を設けたい、教室と環境を変えたいという時に「場」としての図書館をぜひ活用してみてください。

参考文献

東京学芸大学学校図書館運営専門委員会「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」
(http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/index.php?page_id=0)

植松雅美編著『学校図書館活用の新しい授業－思考力・判断力・表現力が育つ』学事出版 2010年

藤田利江編著『図書館へ行こう!楽しい調べ学習』国土社 2013年

全国学校図書館協議会編『学校図書館学びかた指導のワークシート』全国学校図書館協議会 2007年

図書館を使い続けるために

学校図書館の活用し、維持していくためには、実践の積み重ねが重要です。最後に、学校図書館をこれからも使い続けるために大切な事柄を紹介します。



1 蔵書を更新する

学校図書館の活用を続けるためには、蔵書の内容が常に新鮮に保たれていなければなりません。児童が正しい情報、新しい知識に触れることができるように、蔵書を定期的に廃棄し、更新することに努めましょう。

(1) 選定委員会を構成する

- ・購入する本は、個人の関心や視点によらない、学校としての選定が必要です。図書館担当者や学校司書だけでなく、教務主任や各学年の代表を加えた選定委員会を実施しましょう。
- ・選定委員会は最低でも各学期に1回開催します。必要に応じて複数年計画にするなど、計画的に実施しましょう。

(2) 選書ツールを活用する

選書をするための方法として、代表的なものを紹介します。これらの選書ツールに加えて、公共図書館と情報交換を行うことでさらに幅広い選書を行うことができます。

① 各種カタログ

- ・流通業者が作成、発布している基本的な選書ツールです。
- ・対象学年、内容、表紙の写真などが掲載されており、現物に近い印象で資料を選ぶことができるため、学校図書館向けに作成されたカタログを用いるのがお勧めです。

② 選択書誌

- ・学校図書館向けに選び抜かれた資料をまとめた目録です。
- ・雑誌では『学校図書館速報版』（全国学校図書館協議会、月2回）や『小学生・中学生のための読書ブックガイド』（日本児童図書出版協会、年刊）が選書の助けとなります。
- ・内容を検索してCSVでダウンロードできる、公益財団法人図書館振興財団の「学校図書館用選書事業」（<https://www.toshokan.or.jp/sensho/>）などのウェブサイトも有効です。

③ ブックフェア・展示会

- ・取次や出版流通会社などが実施する見本市で、現物を手に取って選ぶことができます。

④ 見計らい

- ・購入候補の図書を書店が用意して、見本を学校に持ってくる場合があります。選書委員会ではない教職員であっても、現物を手にとって欲しい本を選ぶことができます。
- ・学校単独で見計らいを行うだけでなく、自治体の研修や集会など学校関係者が集まる場所を利用して、見計らいを依頼することができます。

⑤ その他

- ・『子どもと読書』『子どもの本棚』などの児童書に関する雑誌や、各種ブックガイド、ウェブサイトから最新の情報を得ることができます。ただし、一般向けのウェブサイトでは学校図書館向けに流通している図書が扱われていないことがあるため注意が必要です。

(3) 選定基準をつくる

学校図書館では、読書活動と学習活動の両輪を支える蔵書を構築する必要があります。学習用の図書以外にも、文学や漫画以外にも過度に偏らない、バランスの取れた選書が必要です。選定基準は委員会や教職員の間で共有し、可能であれば明文化して引き継いでいきましょう。

《選定基準のポイント》

- ・ 学校のカリキュラムに適しているか。
- ・ 挿絵や図版は色彩や意味が分かりやすく、誤解を与えるようなものではないか。
- ・ 正しい知識や研究結果が反映されているか。
- ・ 差別的な表現や、いたずらに刺激的な表現がないか。
- ・ 内容に偏りがいないか。意見が分かれている学説については双方の意見を載せているか。
- ・ 一時的な利用であったり、利用が見込めなかったりする図書については、公共図書館から借りることで代替できないか。
- ・ 生徒の発達段階や学習段階に適しているか。生徒の読書意欲を喚起させるか。

(参考) 全国学校図書館協議会図書選定基準

2 学校図書館の活動を支える委員会を組織する

- ・ 委員会は、学校長、司書教諭、教務主任、研究主任、学校司書、各学年や各教科の担当教諭等の教職員で構成します。学校の運営組織の中に組み込むことで、図書館活動を制度的に支えることが狙いです。
- ・ 学校図書館の利用状況、学校図書館を活用した授業の振り返りなどについて意見の交換や情報共有を行います。少なくとも各学期1回は開催して、学校図書館の活動を推進しましょう。
- ・ 基本方針として「学校図書館活用全体計画」を作成し、それに基づいて年間指導計画→p.34などを策定すると理想的です。全体計画には学校教育目標に沿って、各学年や各教科でどのような図書館教育を目指していくのかを定めましょう。

3 図書委員やボランティアと協働する

- ・ 書架の整頓や図書の返却など日常の維持管理、新刊案内や館内掲示の作成などに図書委員の手が加わると、図書館がさらに魅力的になります。積極的に携わってもらいましょう。
- ・ 図書館運営ボランティアを募集している学校も珍しくなくなりました。図書館の飾りつけや行事の支援、図書の整理や修理など、学校司書や司書教諭と連携して図書館活動を支えます。
- ・ 運営ボランティアを依頼するときは、学校の基本方針を定めてなければなりません。ボランティアの意見も取り入れながら、学校の責任において図書館を運営することが大切です。

参 考 文 献

高橋知尚著『学校図書館メディアの選びかた』全国学校図書館協議会 2012年

対崎奈美子著『学校図書館ボランティア』全国学校図書館協議会 2004年

全国学校図書館協議会『今日から図書委員 小学校版・中学校版』全国学校図書館協議会 2004年

参考文献

ここに紹介する文献は、当事業を進める上で参考にしたものの一部です。
各章で紹介した文献は省略しています。

図書

■学校図書館全般・ハンドブック ー最初の1冊にー

学校図書館研修資料編集委員会編『学校図書館ABC ー運営から指導まで 改訂3版』全国学校図書館協議会 2004年

学校図書館スタートガイド編集委員会編著『学校司書・司書教諭・図書館担当者のための学校図書館スタートガイド ーサンカクさんと問題解決!』少年写真新聞社 2015年

熊谷一之『一歩前へ!学校図書館ー知ろう、つかもう、やってみよう』全国学校図書館協議会 2016年

全国学校図書館協議会監修『司書教諭・学校司書のための学校図書館必携ー理論と実践 改訂版』悠光堂 2017年

全国学校図書館協議会 「はじめよう学校図書館」シリーズ

- 1 中村伸子『学校図書館、まずはこれから』2012年
- 2 高橋知尚『学校図書館メディアの選びかた』2012年
- 3 竹村和子『その蔵書、使えますか?ー図書の更新のすすめ』2012年
- 4 大平睦美『学校図書館をデザインする ーメディアの分類と配置』2012年
- 5 福田孝子『初めての読書指導 小学校編ーアイデア25』2012年
- 6 藤田利江『授業にいかず情報ファイル』2011年
- 7 杉本直美『読書生活をひらく「読書ノート」』2013年
- 8 森田盛行『気になる著作権Q&A ー学校図書館の活性化を図る』2013年
- 9 高見京子『読書イベントアイデア集 中・高校生編』2014年
- 10 塩谷京子『探究的な学習を支える情報活用スキルーつかむ・さがす・えらぶ・まとめる』2014年
- 11 小日向輝代『心をつかむオリエンテーション』2014年
- 12 對崎奈美子・山田万紀恵『学校図書館ボランティアへの期待』2016年

■学校図書館の運営

赤木かん子『赤木かん子の読書力アップ!学校図書館のつかい方』光村図書出版 2012年

赤木かん子『赤木かん子の読書力アップ!学校図書館の本のえらび方』光村図書出版 2013年

学校図書館問題研究会編『学校司書って、こんな仕事ー学びと出会いをひろげる学校図書館』かもがわ出版 2014年

渡辺暢恵『子どもが生き生きする学校図書館づくり 改訂版』黎明書房 2008年

■学校図書館の活用

荒川区編『学校図書館活用あらかわモデルプランー資料ダイジェスト版』国土社 2013年

井上一郎編著『学校図書館改造プロジェクトー思考力・読解力アップの新空間!』明治図書出版 2013年

小川三和子『教科学習に活用する学校図書館 ー小学校・探究型学習をめざす実践事例』
(新しい教育をつくる司書教諭のしごと 第2期2) 全国学校図書館協議会 2010年

片岡則夫『「なんでも学べる学校図書館」をつくるーブックカタログ&データ集』少年写真新聞社 2013年

鎌田和宏『小学生の情報リテラシー ー教室・学校図書館で育てる』少年写真新聞社 2007年

桑田てるみ『思考を深める探究学習ーアクティブ・ラーニングの視点で活用する学校図書館』
全国学校図書館協議会 2016年

塩見昇編著『教育を変える学校図書館』風間書房 2006年

全国学校図書館協議会編『学校図書館の活用名人になるー探究型学習にとりくもう』国土社 2010年

福岡淳子『司書と先生がつくる学校図書館』玉川大学出版部 2015年

山形県鶴岡市立朝陽第一小学校編『図書館へ行こう！図書館クイズ [1]ー知識と情報の宝庫＝図書館活用術』国土社 2007年

山形県鶴岡市立朝陽第一小学校編『図書館へ行こう！図書館クイズ 2ー魅力的な図書委員会の活動・図書館行事のアイデア集』国土社 2011年

渡辺暢恵『授業につなげる学校図書館の展示・掲示&指導案 12カ月』黎明書房 2015年

■児童・生徒用

赤木かん子『お父さんが教える図書館の使い方』自由国民社 2014年

造事務所編集『本のさがし方がわかる事典 図書館の達人！調べるのがおもしろくなる』
PHP 研究所 2007年

中村昌子監修『アクティブ・ラーニングで身につく発表・調べ学習 1～4』河出書房新社 2016年

『学ぶ力をそだてる (新) 図書館シリーズ 1～6』ポプラ社 2001年

D V D

全国学校図書館協議会監修『図書館を生かす 学校は変わる：山形・鶴岡市立朝陽第一小学校』（スクール・ライブラリーシリーズ）紀伊国屋書店 2010年

全国学校図書館協議会・高橋元夫・堀川照代監修『豊かな学校づくりのために：司書教諭の活動をとおして』（ライブラリービデオシリーズ）紀伊国屋書店 2004年

W E B

文部科学省初等中等教育局「学校図書館の整備充実について（通知）」2016年

(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1380597.htm) 2017年9月15日アクセス

※（別添1）「学校図書館ガイドライン」

（別添2）「学校司書のモデルカリキュラム」 [PDF]

（別添参考資料）「これからの学校図書館の整備充実について（報告）」 [PDF]

全国学校図書館協議会「図書館に役立つ資料」 (<http://www.j-sla.or.jp/material/index.html>)

2017年9月15日アクセス

東京学藝大学学校図書館運営専門委員会「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」

(http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/index.php?page_id=0>) 2017年9月15日アクセス

付 録

付 録

付録 1	学校図書館診断チェック表	1
付録 2	日本十進分類法の小学校適用例	3
付録 3	分類別蔵書量の記録用紙	13
付録 4	レイアウト案の作成事例	18
付録 5	教職員を対象としたオリエンテーション例	21
付録 6	児童を対象としたオリエンテーション例	29
	とよかんクイズ(ていがくねん)	36
	図書館クイズ(高学年)	37
付録 7	情報カードの例①～③	38
付録 8	学校図書館を活用した年間指導計画	41
参考資料	「学校図書館活用支援事業」検証授業一覧	51

学校図書館診断チェック表

図書標準を求めよう		
現在の学級数	()学級	ア
現在の所蔵図書冊数	()冊	
図書について		イ
汚破損の著しい図書については除籍 ^{注1} や買い直しをしている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
過度に古い読み物や内容が古くなった学習用図書を除籍している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
図書が書架にきちんと収まっており、書架の上にあふれていない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
書架に同じ図書が3冊以上並んでいない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	ウ
分類について		
日本十進分類法 ^{注2} に基づいた分類を行っている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
分類に基づいた背ラベル ^{注3} を図書に貼っている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
分類記号 ^{注4} は2桁(第2次区分 ^{注5})以上の数をつけている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
「仕事」「動物」「日本文学」など蔵書の多いテーマには3桁以上の分類記号をつけている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
【9類】〈文学〉や絵本には図書記号 ^{注6} をつけている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	エ
【9類】〈文学〉と区別して、絵本には個別の背ラベルを使っている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
書架・配架について		
書架が壊れていたり、不安定になっていたりしない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
棚板の位置を変えることができる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
段の高さが十分にあり、倒して収められている本がない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
書架1連 ^{注7} ごとに左から右、上から下に図書が並んでいる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	オ
各分類がまとまって、分類記号の順に並んでいる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
書架の高い位置に図書を置いていない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
設備について		
机といすのスペースが書架などで分断されていない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
机、いすの向きがそろい、グループ学習に適している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
授業を念頭に、移動式黒板や教員の立ち位置が想定できる	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	カ
死角が少ない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
カウンター、バックヤード(別置スペース・準備室等)がある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
サインについて		
分類記号2桁の差し込みサイン ^{注8} を設置している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
書架の上部や側面に見出し ^{注9} や案内表示を掲示している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
学校図書館全体の配架の案内図、分類表を掲示している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	

注釈

注1：除籍

所蔵している図書を目録から登録抹消すること。

 p. 7「除籍をしよう」

注2：日本十進分類法

0 から 9 までの数字を使って、主題ごとに図書を分類する方法。

 p. 12「分類を理解しよう」

注3：背ラベル

図書の背の下部に貼ってあるラベルのこと。単に「ラベル」ともいう。

 p. 17「ラベルの貼り替えをしよう」

注4：分類記号

図書のテーマに基づいて与えられる記号。多くの公共図書館や学校図書館では、日本十進分類法を原則としながら、独自のカスタマイズを加えて分類記号をつけている。

 p. 17「ラベルの貼り替えをしよう」

注5：第2次区分

日本十進分類法に基づいて与えられた分類記号のうち、2桁の数字で表されるもの。綱。

 p. 12「分類を理解しよう」

注6：図書記号

著者の苗字やファミリーネームの頭文字から必要に応じて与えられる記号。

 p. 17「ラベルの貼り替えをしよう」

注7：連

側板によって区切られた書架1つ分の単位。

 p. 20「配架を見直そう」

注8：差し込みサイン

書架や図書と図書の上に挟み、分類記号を示すサイン。厚みのある箱型と薄い板状のものが主に使用される。

 p. 26「サインを作成しよう」

注9：書架の見出し

書架にどの分類記号の図書が収まっているかを示すサイン。書架の上部に置くものと書架の側板に貼るものが主に使用される。

 p. 26「サインを作成しよう」

日本十進分類法の小学校適用例

凡例

- ・日本十進分類法新訂 10 版を基にして、原則として第 2 次区分（綱）までの分類記号を挙げています。差し込みサインの参考にしてください。
- ・テーマに該当する図書が多い分類や細分化した方が利用しやすくなる分類については、第 3 次区分（目）までの分類記号を挙げています。学校で決めた方針に応じて分類記号 3 桁のラベルに変更して、差し込みサインを追加しましょう。
- ・かっこ書きになっている分類記号は、テーマに該当する図書が少ないと考えられる分類です。実際の所蔵図書の分量を確認して、図書が少ないときはサインを省略することができます。ただし、差し込みサインを省略しても、分類記号順に並べて配架しましょう。
- ・アスタリスク付きの分類記号は見出しの別法です。蔵書の少ない分類記号については、まとめてサインに表示することをお勧めします。
- ・キーワードの一部にはチェック項目を挙げてあります。自校でどのような分類記号をつけるか方針を決める時の参考にしてください。

分類記号	項目	主な内容	キーワード
00	総記・情報	002 学問全般を扱うもの	学問・『学問のすすめ』
		007 情報科学	人工知能・情報社会・情報セキュリティ コンピュータ・インターネット・プログラミング
01	図書館	010 図書館	図書館の機能と使い方・図書館建築
		017 学校図書館	学校図書館の機能と使い方
		019 読書・読書法	読書案内・読書ガイド
02	図書	021 著作、編集	著作権・本の編集（新聞の編集→【07】）
		022 写本、刊本、造本	図書の歴史・図書の形態（印刷技術→【74】）
		023 出版、図書の販売	出版社・電子出版・書店・古本・古書店・愛書家
03	百科事典	030 百科事典	百科事典・ギネスブック ※特定主題をもつ事典、図鑑などは主題ごとに収める
04	雑学	049 雑著	雑学・話のタネ（会話術→【80】）
05	雑誌・年鑑	050 逐次刊行物	雑誌・情報誌
		059 一般年鑑	総合年鑑（統計年鑑→【35】） ※特定主題をもつ年鑑は主題ごとに収める （理科年鑑→【40】、ニュース年鑑→【30】など）
(06)	団体・博物館	060 学術団体/069 博物館	学術団体・研究機関・博物館の機能・博物館の展示
07	新聞	070 新聞	ジャーナリズム・総合的なマスコミ・報道の自由 新聞社・新聞の作り方
(08)	全集	080 全集・選集	※主題が多岐にわたる全集や著作集を収める

09	郷土資料	090 郷土資料	※県や地域の郷土関係図書を取める □ 地元の作家の文学はここに取める □ 地元の作家の文学は【9類】に取める
10	哲学	100 哲学	全体的な哲学史・哲学理論
(11)	哲学各論	110 哲学各論/116 論理学	人生観(人生論→【15】)・死生観・論理学
(12)	東洋思想	120 東洋思想	日本思想・中国思想・論語・インド哲学
(13)	西洋哲学	130 西洋哲学	ギリシア哲学・スコラ哲学・近代ヨーロッパ哲学
*10~13	哲学		【10】～【13】の図書をまとめて1つの見出しの下に収めても良い
14	心理学	140 心理学	知能・記憶(勉強法→【37】)・思考・感情・気持ち 恋愛・悩み・行動・個性・性格 ※いじめ、不安、不登校などの悩みにこたえる図書はここに取める
		147 超心理学・心霊研究	オカルト・心霊現象・怪奇現象・予知・念力 超能力・未確認生物(UMA)・未確認飛行物体(UFO) 幽霊(伝説上や民話の妖怪→【388】)
		148 占い	星座占い・血液型占い・夢占い・トランプ占い
15	道徳	150 倫理学	守るべきルール・『武士道』
		159 人生訓	名言・格言・教訓・伝えたい言葉
16	宗教・神話	160 宗教	宗教学・宗教史・イスラム教・ヒンズー教 日本神話(文学作品としての古事記→【910】) ギリシア神話・ローマ神話(星座の神話→【44】)
(17)	神道	170 神道	神社・神主・祈祷・祭祀(お祭り→【38】)
(18)	仏教	180 仏教	経典・法話・寺院・僧・仏教各宗派
(19)	キリスト教	190 キリスト教	教義・聖書・教会・礼拝・各教派・ユダヤ教
*16~19	宗教・神話		【16】～【19】の図書をまとめて1つの見出しの下に収めても良い
20	歴史	200 歴史	歴史学・考古学・先史時代・石器時代
21	日本史	210 日本史	日本の通史・時代史・都道府県ごとの地域史 第二次世界大戦(戦争文学→【9類】)
(22)	東洋史	220 アジア史	中国史・朝鮮史・インド史・アジア各国史
(23)	西洋史	230 ヨーロッパ史	古代ギリシア・古代ローマ・ヨーロッパ各国史
(24)	アフリカ史	240 アフリカ史	古代エジプト・アフリカ各国史
(25)	北アメリカ史	250 北アメリカ史	マヤ文明・アステカ文明・北アメリカ各国史
(26)	南アメリカ史	260 南アメリカ史	インカ帝国・南アメリカ各国史
(27)	オセアニア史	270 オセアニア史	オセアニア各国史・北極や南極の歴史

*22～27	世界史		【22】～【27】の図書をまとめて1つの見出しの下に収めても良い
28	伝記	280 伝記	列伝・複数名の伝記
		288 系譜・皇室	家系・姓氏・貴族・家紋・紋章・国旗・天皇
		289 個人伝記	個人の伝記 ※テーマをもった人物の伝記は方針を定める 哲学者や宗教家は <input type="checkbox"/> 【28】 <input type="checkbox"/> 【1類】 芸術家は <input type="checkbox"/> 【28】 <input type="checkbox"/> 【7類】 音楽家は <input type="checkbox"/> 【28】 <input type="checkbox"/> 【76】 スポーツ選手は <input type="checkbox"/> 【28】 <input type="checkbox"/> 【78】 文学者は <input type="checkbox"/> 【28】 <input type="checkbox"/> 【9類】
29	地理	290 地理・地誌・紀行	地名・地図（地形図・地図学→【44】）・地図記号 探検記・漂流記・旅行ガイド（紀行文→【9類】） 各国の地理や生活の紹介
30	社会科学	300 社会科学	※社会科事典など社会科学の総合的な図書を収める ※各国の社会事情は【29】に収める
31	政治	310 政治	政治学・政治思想・政治史・政治体制
		314 議会	国会・衆議院・参議院・選挙・政党
		316 国家と個人	基本的人権・社会権・自由権・平等権・民族問題
		317 行政	内閣・省庁・警察・防犯（防災→【36】）・消防 地方自治・地方行政・外交・国際問題・平和問題
32	法律	320 法律	法学・憲法・民法・民事法・商法・刑法・刑事法 司法・裁判・訴訟法・国際法・国際連合
33	経済	330 経済	経済学・経済思想・経済政策・国際経済・人口論 企業・経営学・貨幣・物価・景気変動・金融・銀行 貯金・投資・保険
(34)	財政	340 財政	財政学・財政政策・予算・税金
*33～34	経済・財政		【33】～【34】の図書をまとめて1つの見出しの下に収めても良い
35	統計	350 統計	人口統計・国勢調査 ※特定主題をもつ統計は主題ごとに収める （農業統計→【61】など）
36	社会問題	361 社会学	社会学・社会心理学・群集心理・社会集団・地域社会
		365 生活・消費者問題	地域社会・社会保障・生活問題・余暇
		367 家族問題	家族関係・ジェンダー（性教育→【49】） 青少年問題（心の悩み→【14】）・老人問題
		368 社会病理	貧困・自殺・非行・犯罪
366	労働・職業	366 労働経済・労働問題	労働・就職・職業体験・仕事ガイド
369	社会福祉	369 社会福祉	福祉政策・手話・盲導犬・点字・老人福祉・災害

			災害救助・防災・児童福祉・虐待・難民救済 □ 障害者のノンフィクションはここに収める □ 障害者のノンフィクションは【9類】に収める
37	教育	370 教育	学校・勉強・学級会・クラブ活動・委員会活動 生活科・社会科自由研究 ※教科学習の手引きなどは主題ごとに収める
38	風習	380 習俗	昔の衣食住・昔の生活用品・昔の遊び・通過儀礼 七五三・結婚式・葬式
		386 年中行事・祭礼	お祭り・郷土芸能・正月・節句・七夕・クリスマス
388	民話	388 伝説・民話	民話・昔話・言い伝え（ことわざ→【81】）・鬼 河童・妖怪（怪奇現象→【14】、妖怪物語→【9 類】） ※昔話の絵本は【E】ではなくここに収める
(39)	国防	390 国防・軍事	軍事施設・陸軍・海軍・空軍・兵法（兵器→【55】）
40	自然科学	400 自然科学	科学史・科学全般をまとめた本・理科の自由研究
41	算数	410 数学	計算・そろばん・図形・立体・確率
42	物理	420 物理学	物理の実験
		423 力学/424 音響学	力・引力・流れ・摩擦・振り子・振動・音波
		425 光学/426 熱学	光・反射・赤外線・紫外線・熱・熱による状態変化
		427 電磁気学	電気・電池（発電→【54】）・モーター・電磁石
43	化学	430 化学	塩・石鹼、空気などの性質を用いた化学的な実験 原子・分子・ものの性質・酸・塩基・状態変化
		435-439 元素・有機化学	元素・元素の性質・周期表・イオン・化合物
44	天文・宇宙	443-448 各種の天体	星・星座・星座の神話（神話→【16】）・太陽・月 天文学的な地球（地球科学→【45】）
		449 暦学	暦・太陽暦・太陰暦
45	地球・気象	451 気象学	天気（雨・雪・雷など）・気温・オーロラ・風・台風
		452 海洋学	海・海流・湖・河川・地下水・氷河
		453 地震学/454 地形学	地震・火山・地形・地層・山岳・谷・地質
		457 古生物学	化石・恐竜・古代生物
		458 岩石学	岩石・鉱物・宝石
46	生物学	460 生物科学	博物学（博物館→【06】）・分類学・細胞・生物の発 生
		465 微生物学	細菌・微生物・カビ・ウイルス（病気→【49】）
		467 遺伝学	遺伝子（DNA）・進化論

46	生物学	468 生態学	動植物全般の生態・里山・食物連鎖・プランクトン
		469 人類学	人類の起源（人類史→【20】）・化石人類
47	植物	470 植物学	草花（農作物→【61】、園芸→【62】、樹木→【65】） 植物標本・植物の仕組み・海藻・キノコ・コケ・シダ <input type="checkbox"/> 植物の栽培はここに収める <input type="checkbox"/> 植物の栽培は【62】に収める
		480 動物学	動物の保護・動物園・動物図鑑 ※特定主題をもつ図鑑は主題ごとに収める （魚図鑑→【487】、カブトムシ図鑑→【486】など）
483～484	軟体動物など	483 無脊椎動物	サンゴ・イソギンチャク・クラゲ・ミミズ
		484 軟体動物	貝類・ヒトデ・ウニ・ナマコ
485	節足動物	485 節足動物	エビ・カニ・ザリガニ・ヤドカリ・クモ・サソリ ムカデ・ダンゴムシ
486	昆虫	486 昆虫類	昆虫・『ファーブル昆虫記』
487	魚類・両生類・は虫類	487 脊椎動物	魚類（漁業→【66】、釣り→【78】）・両生類・爬虫類
488	鳥類	488 鳥類	鳥類（ニワトリなどの家禽→【64】） <input type="checkbox"/> 鳥の飼育はここに収める <input type="checkbox"/> 鳥の飼育は【64】に収める
		489 哺乳類	哺乳類（家畜→【64】） <input type="checkbox"/> ペットはここに収める <input type="checkbox"/> ペットは【64】に収める
49	医学	490 医学	けが・病気・薬・薬物の危険性・人体の仕組み性（ジェンダー→【36】）・人の誕生・睡眠・健康 健康食品・ダイエット・栄養（食育→【59】）
50	工学一般	501 工業基礎	工業・発明・発見・エネルギー（発電燃料→【54】）
51	土木	510 土木工学/518 都市工学	土木工事・測量・道路工事・橋・線路・運河・堤防 ダム・水道・都市計画 <input type="checkbox"/> 都市の清掃、ごみ問題はここに収める <input type="checkbox"/> 都市の清掃、ごみ問題は【519】に収める
		519 環境工学	リサイクル・環境問題・公害・大気汚染・水質汚染 土壌汚染・騒音・産業廃棄物・自然保護
52	建築	520 建築学	日本家屋・お城・住宅・洋館・建物の構造や機能 トイレ・風呂・ビルディング
53	機械	531 機械力学	ねじ・ばね・歯車・エンジン・タービン・水車 ポンプ・送風機
		535 精密機器	時計・望遠鏡・顕微鏡の仕組み（微生物→【46】） カメラ・レンズ・眼鏡

53	機械	536 運輸工学	機関車・電車・自転車・バイク・自動車・エンジン ※車両の構造、製造過程など工学的な内容のものを 収める（運輸、車両の紹介→【68】）
		538 航空工学・宇宙工学	飛行機・プロペラ機・ロケット・宇宙ステーション ※機体の構造、製造過程など工学的な内容のものを 収める（航空運輸、旅客機→【68】）
54	電気工学	540 電気工学	電気回路・発電機・各種の発電方法・原発問題
		547 通信工学	電灯・照明・ロボット・オーディオ機器・電波 通信機器の構造（通信事業やテレビ局→【69】、 インターネット→【00】）・アマチュア無線
(55)	船	550 海洋工学	潜水艦・ヨット・軍艦（旅客船や海運→【68】）・航 法 海洋開発（海底資源→【50】、海洋発電→【54】）
		559 兵器・軍事工学	銃火器・爆弾・化学兵器・ミサイル・核兵器
56	地下資源	560 金属工学	鉱業・金属の加工・鉄鋼業・合金
		569 非金属鉱物	石炭・石油・天然ガス・その他鉱物の採掘 （エネルギー→【50】、火力発電→【54】）
57	化学工業	572 電気化学工業	電池の製造（電池の実験→【42】）・蓄電池
		573 窯業	セラミック・工業的な陶器の製造（陶芸→【75】） タイル・ガラス・セメント・
		575 燃料	化学薬品の製造・燃料（ガス、石油など）・火薬 マッチ・花火・爆竹・ダイナマイト
		576 油脂類 / 577 染料	油脂・香水・化粧品・塗料・顔料・インク・染料 （繊維業→【58】、工芸織物→【75】）
		578 高分子化学工業	ゴム・樹脂・プラスチック・化学繊維
		579 その他の化学工業	接着剤・バイオテクノロジー
58	製造工業	581 金属製品	鋳物・ブリキ缶などの板金・なべ、やかん、刃物など の各種金属製品
		582 家庭機器	ミシン・レジスター・洗濯機・掃除機・アイロン
		583 木工業	家具・机・いす・かんな、錐などの木工道具
		584 皮革工業	かばん、革靴、皮手袋などの皮革製品
		585 製紙 / 586 繊維業	紙・ダンボール・和紙・繊維・紡績・羊毛工業 染色加工（染料→【57】、工芸織物→【75】）
		588 食品工業	製糖・パン、菓子、飲料、冷凍食品などの食品工場 （家庭で作るパンや菓子→【590】）
		589 雑工業	アパレル・既製服の製造（裁縫→【593】）・文房具 傘、杖など身の回り品の製造・玩具（遊び→【79】）
590	家庭	590 家政学	家庭科・生活の知恵・家計簿
		597 住居	家庭住居・家具・収納・掃除

593～595	手芸・美容	593 衣服・裁縫/594 手芸	着こなし・裁縫（既製服→【58】）・刺しゅう・編物 手芸・造花・押し花・パッチワーク・キルト
		595 理容・美容	髪型・ヘアカット・化粧（化粧品品の製造→【57】、 化粧品による健康被害→【49】）
596	食品・料理	596 食品・料理	家庭料理（食品工場→【58】）・郷土料理 食育（栄養→【49】）・食事のマナー
60	産業一般	600 産業	※農林水産業の全般的なものを収める
61	農業	610 農業	稲、麦、雑穀、豆類、芋などの作物の栽培・肥料 農機具・ビニールハウス等の農法・遺伝子組換え
62	園芸	625 果樹 / 626 そ菜園芸	果樹・果物・野菜の栽培・グリーンカーテン
		627 花き園芸	花壇・庭の手入れ <input type="checkbox"/> 植物の栽培はここに収める <input type="checkbox"/> 植物の栽培は【47】に収める
(63)	養蚕	630 蚕糸業	蚕・まゆ・桑の栽培・絹糸
64	畜産	645 家畜	畜産業・酪農・馬、牛、豚、羊などの家畜 <input type="checkbox"/> ペットや家庭での飼育はここに収める <input type="checkbox"/> ペットや家庭での飼育は【4類】に収める
		646 家禽	鶏・アイガモ・養蜂
		648 畜産製造	畜産物（牛乳・乳製品・肉製品・卵など）・獣医学
*63～64	養蚕・畜産		【63】～【64】の図書をまとめて1つの見出しの下に 収めても良い
65	林業	650 林業	樹木（草花→【47】、果樹→【62】）・森林の保護 伐採・木材・木炭・コルク・どんぐり・山菜・狩猟
66	水産業	660 水産業	漁業・漁法・漁船・漁具・魚の養殖
		667 水産製造	かまぼこ、ちくわ、乾燥昆布などの水産加工品
		669 塩業	製塩業（塩の性質や塩を使った実験→【43】）
67	商業	673 商店	サービス業（観光業→【68】）・デパート・コンビニ エンスストア・スーパーマーケット・市場・広告
		678 貿易	貿易・輸出入の統計
68	交通	681 交通政策	交通安全・道路の発達・自動車・はたらく車 （自動車の製造や構造→【53】）
		683 海運 / 685 陸運	海運・港（船の製造や構造→【55】）・タクシー バス・トラック・宅配便
		686 鉄道 / 687 航空運輸	電車（車両の構造→【53】）・駅・モノレール 飛行機（機体の構造→【53】）・旅客機・空港
		689 観光事業	観光サービス・ホテル・レジャーガイド

69	通信・放送	693 郵便	郵便局・切手・はがき
		694 電気通信事業	電話会社（電信機→【53】）・携帯電話・スマートフォン・ソーシャルネットワーク（情報科学→【00】）
		699 放送事業	テレビ局・ラジオ局・テレビ番組・アナウンサー
70	芸術	700 芸術	全般的な美術全集・美術の歴史・鑑賞法
		709 芸術政策・文化財	国宝・重要文化財・世界遺産
(71)	彫刻	710 彫刻	木彫り・石彫り・金属彫り・鋳造・仏像 塑像（粘土工作→【75】）
72	絵画・書道	721 日本画 / 722 東洋画	水墨画・浮世絵・中国絵画
		723 洋画	西洋絵画・芸術運動（印象派、キュビズム等）
		724 絵画技法	絵の描き方・スケッチ・読書感想画
		726 漫画・イラスト	※特定のテーマを扱った漫画は主題ごとに収める ※絵本は【E】に収める <input type="checkbox"/> 創作漫画はここに収める <input type="checkbox"/> 創作漫画は【9類】に収める
		728 書道	書道・習字・筆や墨などの書道具・レタリング
(73)	版画	730 版画	木版画・石版画・銅版画・消しゴムはんこ・篆刻
(74)	写真・印刷	740 写真/749 印刷	カメラ・撮影法・写真集・印刷技術（図書→【02】）
*70~74	美術		【70】～【74】の図書をまとめて1つの見出しの下に収めても良い
75	工芸・工作	751 陶芸工芸	焼物・粘土・ガラス工芸
		752 漆工芸/753 染織工芸	漆器・織物（家庭の裁縫→【59】）
		754 木竹工芸	木工・藤などのつる細工・竹工・竹とんぼ 紙細工・切り絵・折り紙・紙飛行機
		755-759 その他工芸	宝石細工（宝石→【45】）・金細工・革細工 装飾デザイン・人形・おもちゃ・工作
76	音楽	763-764 器楽	楽器・演奏法・管弦楽・合奏曲・吹奏楽・楽譜
		766-767 声楽	オペラ・合唱・民謡・流行歌
		768 邦楽/769 舞踊	三味線・琴・尺八・太鼓・雅楽・日本舞踊・バレエ （ダンス→【79】）
77	演劇	771-777 演劇	劇場・舞台装置・能楽・狂言・歌舞伎 ミュージカル・学校劇・人形劇
		778 映画	映画・撮影技術・アニメーション
		779 大衆演芸	落語・サーカス・手品・テレビタレント・お笑い
78	体育・スポーツ	780 スポーツ	体育・体力測定・オリンピック・パラリンピック
		781 体操/782 陸上競技	器械体操・マスゲーム・綱引き・縄跳び・競走 跳躍競技・投擲競技・スカイダイビング

78	体育・スポーツ	783 球技	ボールを使ったスポーツ（ビリヤード→【79】）
		784 冬季競技	スキー・スケート・アイスホッケー・カーリング そり競技
		785 水上競技	水泳・飛び込み・シンクロナイズドスイミング 水球・ボート・ヨット
		786 戸外レクリエーション	登山・キャンプ・遠足・サイクリング
		787 釣り・遊猟	釣り・鷹狩り
		788 相撲など/789 武術	相撲・レスリング・ボクシング・柔道・空手・剣道 フェンシング・弓道・馬術・射撃・忍術・忍者
79	レクリエーション	791-793 諸芸	茶道・香道・華道
		794-798 室内娯楽	ビリヤード・囲碁・将棋・花札・トランプ・かるた すごろく・あやとり・ヨーヨー・なぞなぞ・迷路 パズル・クイズ（雑学→【04】）・テレビゲーム
		799 ダンス	フォークダンス・社交ダンス（舞踊→【76】）
80	語学	800 言語学	言語学・文字・記号・絵文字（点字→【366】） 会話術・演説・スピーチ・朗読・暗号
81	日本語	810 日本語	日本語・学習漢字（漢字の歴史→【82】）・語源・方言 ことわざ・言葉遊び・外来語・ローマ字・国語辞典 漢和辞典・作文、感想文、手紙などの書き方
（82）	中国語	820 中国語/829 東洋諸語	中国語・漢字の歴史（学習漢字→【81】）・東洋諸語
（83）	英語	830 英語	英語・アルファベット・英和辞典・和英辞典
（84）	ドイツ語	840-849 ゲルマン諸語	ドイツ語・オランダ語・北欧語
（85）	フランス語	850 フランス語	フランス語
（86）	スペイン語	860 スペイン語	スペイン語・ポルトガル語
（87）	イタリア語	870 イタリア語	イタリア語
（88）	ロシア語	880 ロシア語	ロシア語
（89）	その他の言語	889 その他の諸語	ギリシア語・ラテン語・アフリカの言語 原住民の言語・エスペラント
*82～89	外国語		【82】～【89】の図書をまとめて1つの見出しの下に 収めても良い
90	文学	908 全集	文学論（読書ガイド→【01】） ※複数の国の作品が収録されている世界文学全集などをここに収める
910	日本文学	910 日本文学	※様々な文学形式が混在している日本文学全集をここに収める <input type="checkbox"/> 古典文学はここに収める <input type="checkbox"/> 古典文学は【918】に収める

911	詩・短歌・俳句	911 詩歌	詩集・短歌・俳句・季語・歳時記・川柳 <input type="checkbox"/> 百人一首はここに収める <input type="checkbox"/> 百人一首は古典文学と同じ分類に収める
913	小説	913 小説・物語	近現代の小説・童話（昔話→【388】、絵本→【E】） <input type="checkbox"/> 地元の作家の文学はここに収める <input type="checkbox"/> 地元の作家の文学は【09】に収める
(914)	エッセイ	914 評論・エッセイ	近現代のエッセイ
(915)	日記・紀行	915 日記・書簡・紀行	近現代の日記・紀行文（旅行ガイド→【29】）
(916)	ノンフィクション	916 記録・手記	近現代のノンフィクション・ルポルタージュ
*914～916	エッセイなど		【914】～【916】の図書をまとめて1つの見出しの下に収めても良い
(918)	文学全集		※複数人の作品が収録された全集をここに収め、個人文学全集は【913】に収めると良い
*918	文学全集・古典文学		<input type="checkbox"/> 古典文学はここに収める <input type="checkbox"/> 古典文学は【910】に収める
92	アジア文学	920 中国文学 929 東洋文学	中国文学・漢詩 朝鮮、東南アジア、トルコなどの文学
93	英米文学	930 英米文学	英語圏（アメリカ、イギリスなど）の文学
(94)	ドイツ文学	940 ドイツ文学	ドイツ、オランダ、北欧などの文学
(95)	フランス文学	950 フランス文学	フランス、ベルギーなどの文学
(96)	スペイン文学	960 スペイン文学	スペイン、ポルトガルなどの文学
(97)	イタリア文学	970 イタリア文学	イタリア、ルーマニアなどの文学
(98)	ロシア文学	980 ロシア文学	ロシア、ポーランド、チェコスロバキアその他スラヴ文学
(99)	諸国文学	990 その他の諸文学	ギリシア、アフリカ諸国、エスペラントなどの文学 『イソップ童話』・ギリシア叙事詩
*94～99	諸国文学		【94】～【99】の図書をまとめて1つの見出しの下に収めても良い
E	絵本		※昔話の絵本は【388】に収める ※学習用に使える絵本は主題ごとに収める

分類別蔵書量の記録用紙（小学校版）

分類記号	図書記号	cm	必要な段数
00			
01			
02			
03			
04			
05			
06			
07			
08			
09			
(サイン)			
合計			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
(サイン)			
合計			

分類記号	図書記号	cm	必要な段数
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
(サイン)			
合計			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
366			
369			
37			
38			
388			
39			
(サイン)			
合計			

分類記号	図書記号	cm	必要な段数
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
480			
484			
485			
486			
487			
488			
489			
49			
(サイン)			
合計			

分類記号	図書記号	cm	必要な段数
50			
51			
519			
52			
53			
54			
55			
56			
57			
58			
590			
593-594			
596			
(サイン)			
合計			
60			
61			
62			
63			
64			
65			
66			
67			
68			
69			
(サイン)			
合計			

分類記号	図書記号	cm	必要な段数
70			
71			
72			
73			
74			
75			
76			
77			
78			
79			
(サイン)			
合計			
80			
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
(サイン)			
合計			

分類記号	図書記号	cm	必要な段数
90			
910			
911			
914			
915			
916			
918			
92			
93	アーオ		
93	カーコ		
93	サーソ		
93	タート		
93	ナーノ		
93	ハーホ		
93	マーモ		
93	ヤーン		
94			
95			
96			
97			
98			
99			
(サイン)			
合計			

分類記号	図書記号	cm	必要な段数
913	ア		
913	イ		
913	ウ		
913	エ		
913	オ		
913	カ		
913	キ		
913	ク		
913	ケ		
913	コ		
913	サ		
913	シ		
913	ス		
913	セ		
913	ソ		
913	タ		
913	チ		
913	ツ		
913	テ		
913	ト		
913	ナ		
913	ニ		
913	ヌ		
913	ネ		
913	ノ		

分類記号	図書記号	cm	必要な段数
913	ハ		
913	ヒ		
913	フ		
913	ヘ		
913	ホ		
913	マ		
913	ミ		
913	ム		
913	メ		
913	モ		
913	ヤ		
913	ユ		
913	ヨ		
913	ラーロ		
913	ワーン		
(サイン)			
合計			

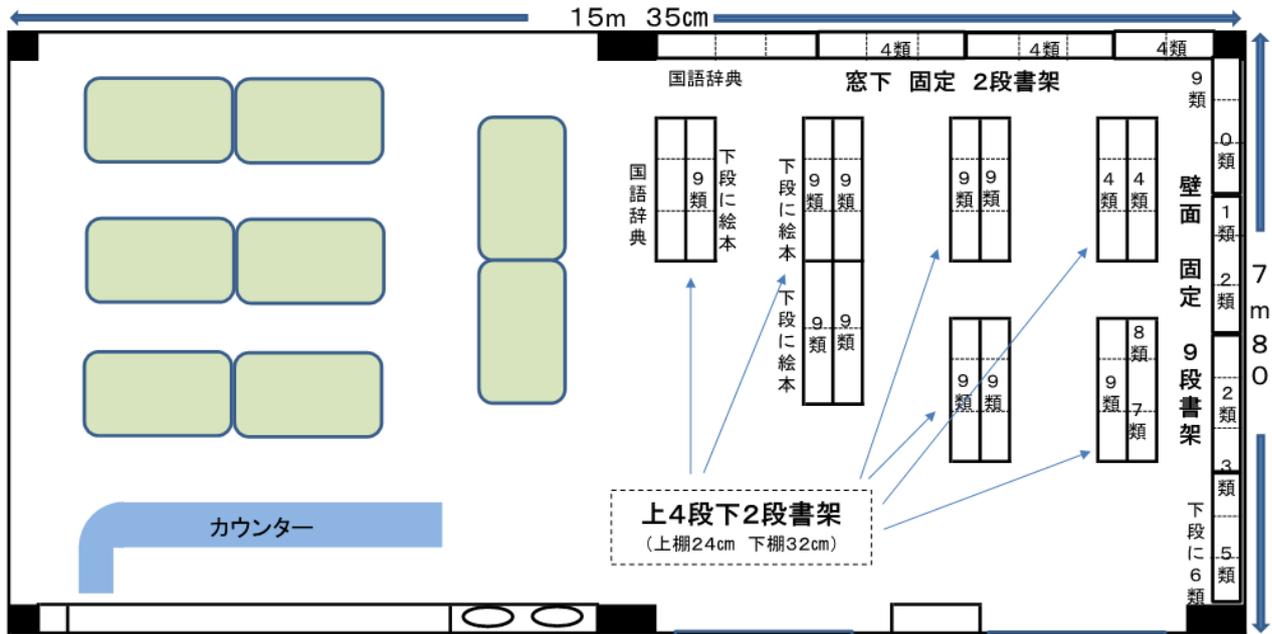
分類記号	図書記号	cm	必要な段数
E	ア		
E	イ		
E	ウ		
E	エ		
E	オ		
E	カ		
E	キ		
E	ク		
E	ケ		
E	コ		
E	サ		
E	シ		
E	ス		
E	セ		
E	ソ		
E	タ		
E	チ		
E	ツ		
E	テ		
E	ト		
E	ナ		
E	ニ		
E	ヌ		
E	ネ		
E	ノ		

分類記号	図書記号	cm	必要な段数
E	ハ		
E	ヒ		
E	フ		
E	ヘ		
E	ホ		
E	マ		
E	ミ		
E	ム		
E	メ		
E	モ		
E	ヤ		
E	ユ		
E	ヨ		
E	ラーロ		
E	ワーン		
(サイン)			
合計			

レイアウト案の作成事例

書架の配置を大きく変えてみると！

現状(リニューアル前)

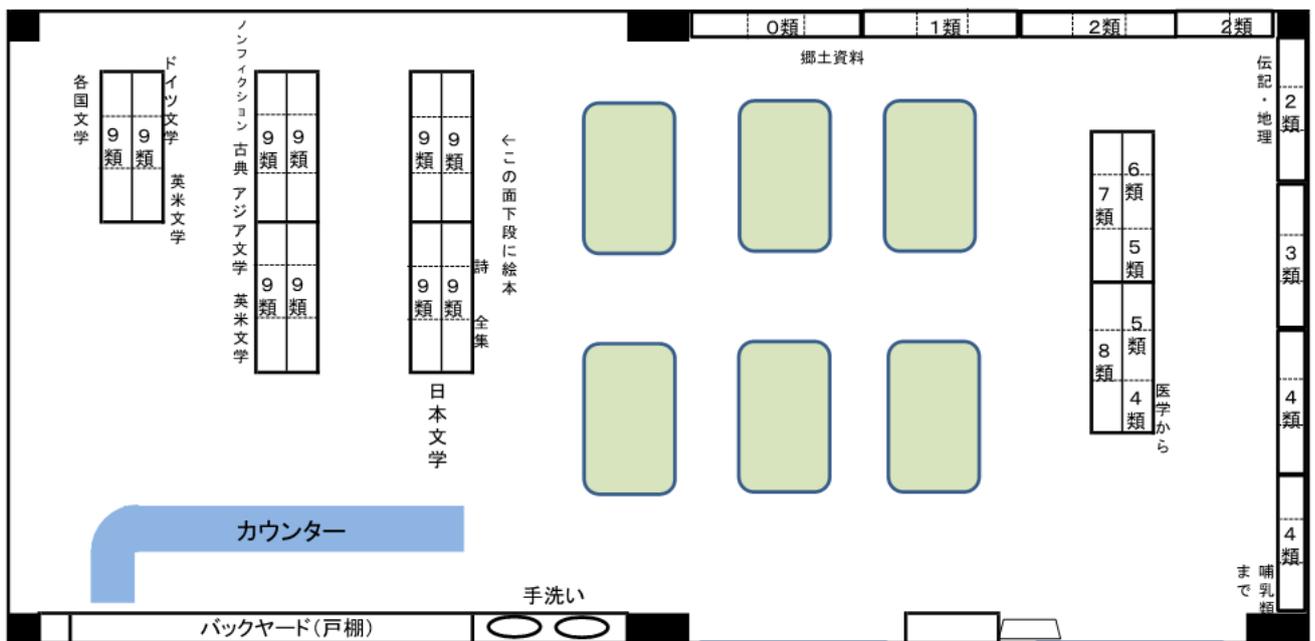


図書館の課題

- 図書が分類順に配架されていないので、探しにくいところがある。
- 文学は分野の異なる作品が混配されている。
- 壁側の高書架の上段の図書は児童・生徒には取れない。
- 必要以上の国語辞典(複本)が開架されている。
- 文学や絵本などの読み物と調べ学習の図書のスペースが分けられていない。
- カウンター前のスペースが狭く、混雑する。

書架の配置を大きく変えて入口からの見通しを良くして、図書館を広く感じさせるつくり。

図書館内図(リニューアル後)

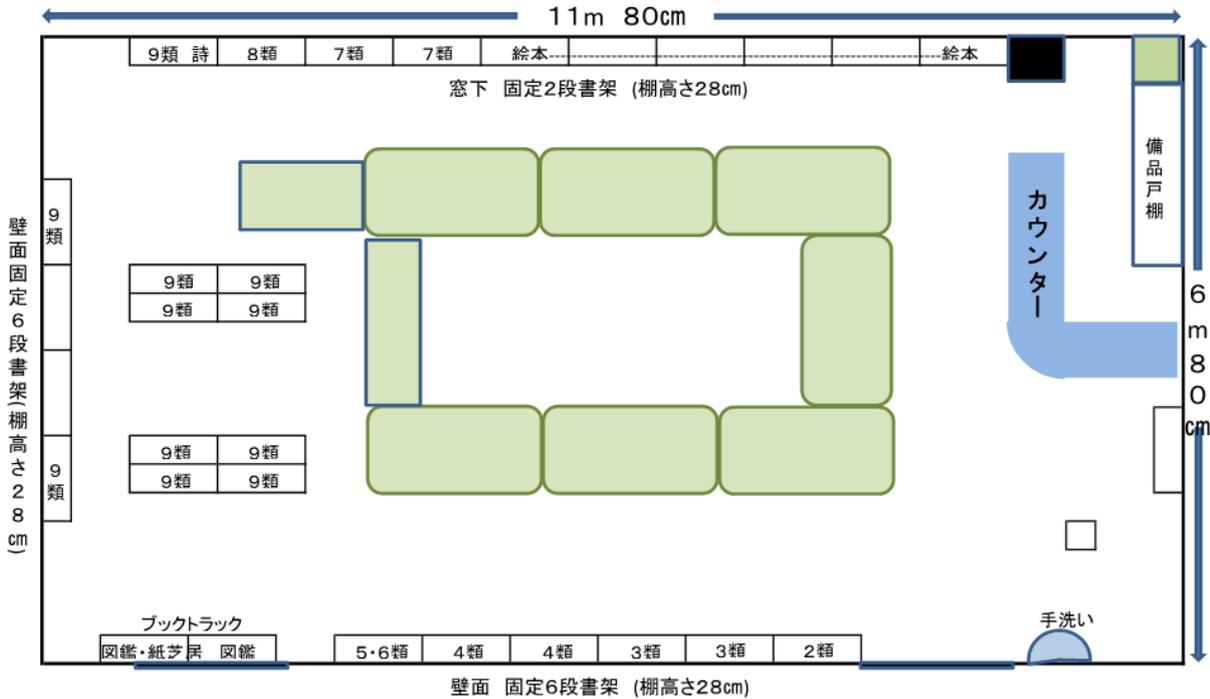


改善されたこと

- 図書が分類順に配架され、必要な本を探しやすくなった。
- 文学の中を分野(小説・エッセイ・記録文学等)にまとめて混配をなくした。
- 壁側の高書架は、棚の高さを変えて32cmの大型本を入れ、誰もが取れる高さまでの配架とした。
- 複本はバックヤードに収納し、授業等必要に応じて取り出し、使用できるようにした。

書架の不備・不足は、カラーボックスの活用で乗り切ろう！

現状(リニューアル前)



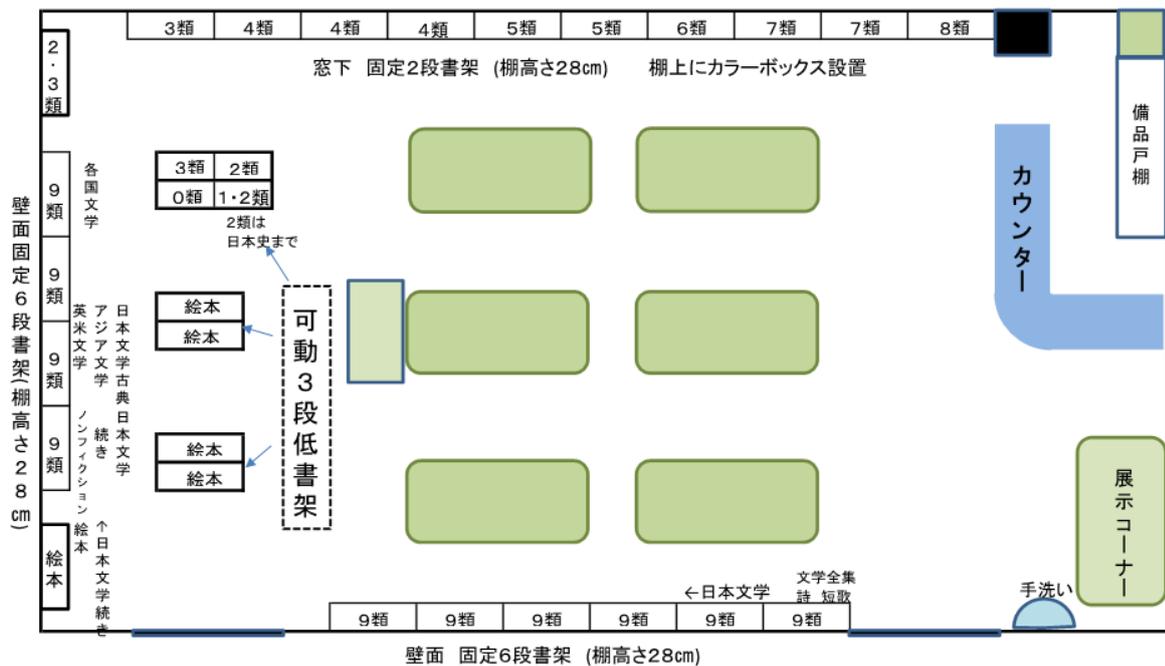
図書館の課題

- ・ 固定書架は棚の間隔が28cmで、図書を横倒しにして入れている。
- ・ 室内の高書架は後ろの書架を見えにくくしている。
- ・ 学習機の配置が学習の場面に適していない。

図書が分類順になって探しやすくなった。
不足している分野の本が分かり、購入できた。

図書を横向きでなくまっすぐに入れられたので、
タイトルが分かって使い易くなった。
絵本を著者順にして国語の授業で使っている。

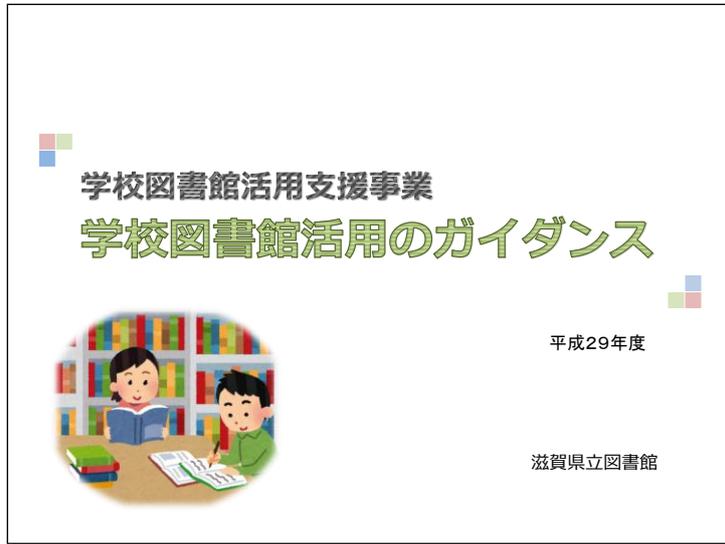
図書館内図(リニューアル後)



改善されたこと

- ・ 固定書架に30cm以上の本が入らないため、カラーボックスを横向きにし、窓下2段書架の上に設置した。
- ・ 室内の高書架を出し、低書架に入れ替えて見通しをよくした。
- ・ 学習機を6脚にして学習スペースを確保した。

教職員を対象としたオリエンテーション例



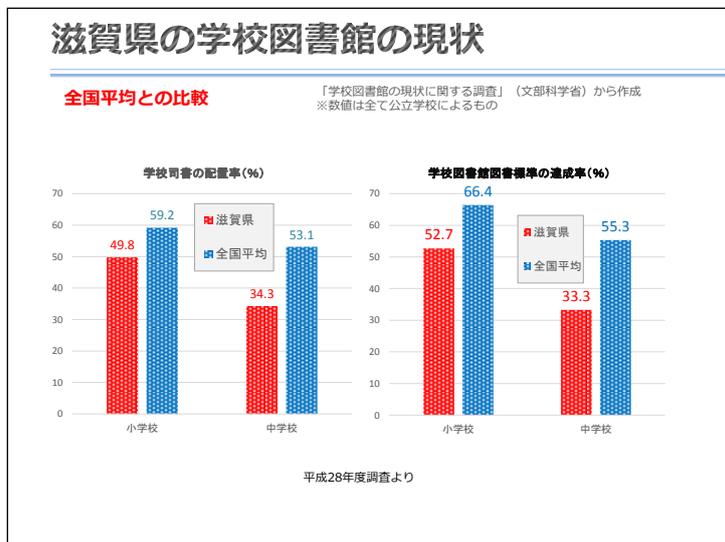
なぜ今「学校図書館」なのか

- 学校教育において欠くことのできない基礎的な設備
- 学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる (学校図書館法)
- 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童と生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること (学習指導要領総則)

学ぶ力を育てるために…

児童生徒が主体的に学べる学校図書館環境の整備

が求められている！



学校図書館リニューアルの趣旨

課題

- ・学習に必要な図書がそろっていない。どんな資料が必要か把握されていない
- ・教育課程における図書館活用計画が整備されていない
- ・授業を行える環境づくりが不十分
- ・地域（家庭、ボランティア、公共図書館など）との連携の強化

学校図書館リニューアル



- ・児童生徒に身近な「**読書センター**」と、学習活動を支援する「**学習センター**」と、情報資源を活用する「**情報センター**」の3つの機能を満足させる
- ・蔵書を分類順に整理し、適切な見出しをつけ、授業を行える空間を確保するなど、学校図書館を活用しやすい環境に整備する
- ・学校図書館の環境整備や、読書活動および学習活動の支援を通じて地域の連携を深め、学校図書館活用の普及を図る

学校図書館の機能

読書センター

読書活動や児童生徒への読書指導をする

学習センター

児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりする

情報センター

児童生徒や教職員のニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりする

日本十進分類法による本の分け方

1. 類に分ける

資料全体を10の「類」に分けます。

2. 類を網に分ける

類を10に細分します。これを「網」といいます。これで100に分類したことになります。細分することで、主題別にまとまりができ、資料が扱いやすくなります。

3. 網を目に分ける

網をさらに10に細分します。これを「目」といいます。これで1000に分類したことになります。動物や日本文学などの蔵書が多い分野では、網だけでは資料のまとまりに欠けるため目まで分類すると効果的です。小学校は網（2桁）まで、中学校は目（3桁）で分類することが多いです。

0 総記	40 理科一般	480 動物学
1 哲学・宗教	41 数学・算数	481 動物学通論
2 歴史・地理	42 物理	482 動物地理
3 社会科学	43 化学	483 無脊椎動物
4 自然科学	44 天文	484 軟体動物
5 工業	45 地学・気象	485 節足動物
6 産業	46 生物・人類学	486 昆虫
7 芸術	47 植物	487 脊椎動物
8 語学	48 動物	488 鳥類
9 文学	49 医学・衛生	489 哺乳類

類

網

目

所在記号（請求記号）とラベル

基本方針

同じ内容の資料は、同じ分類記号にまとめて並びます。
同一分類の中でさらに細かく分けて並べたいときに、助記号（著者記号）を付けます。

- ・分類記号は基本的に3桁（欄）を付けます。
- ・個人伝記（289）、絵本、文学（9類）について、助記号を付けます。

9類や絵本の助記号は、著者の姓またはファミリーネームの頭文字を付けます。伝記は、被伝者の頭文字を付けます。

（例）「菅原道真の伝記」→【289 ス】

「羅生門」（芥川龍之介著）→【913 ア】

「そして誰もいなくなった」（アガサ・クリスティ著）→【933 ク】



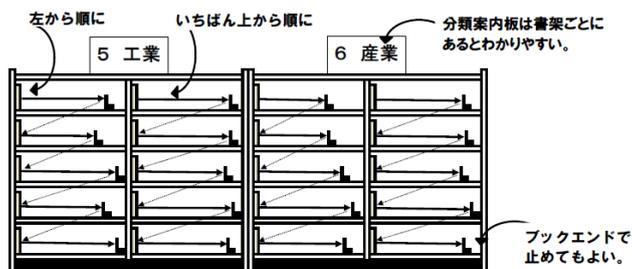
- ・シリーズもの、図鑑（030）について、各冊が独立した分野を扱っている場合は、各分類ごとに記号を付けます。
- ・漫画でも、ストーリー性の強いものは主題ごとに分類することがあります。

（例）「マンガで読む百人一首」→【911 マ】

「はだしのゲン」→【913 ナ】

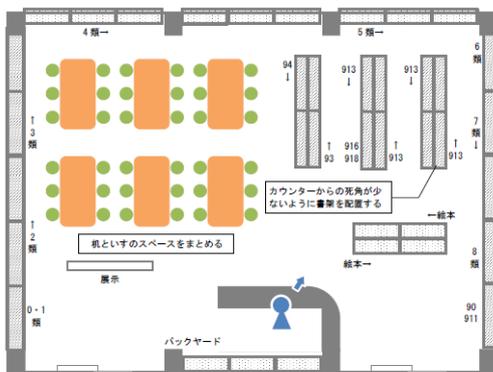
各学校で統一性をもたせることが大事

配架の仕方

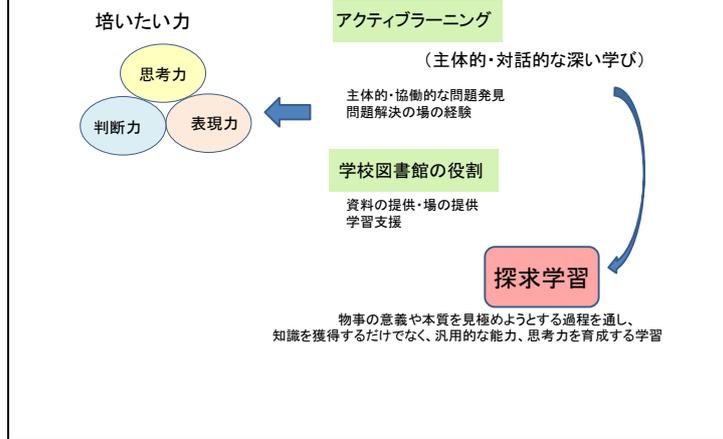


書架の配置（図書館内図）

- ・原則として、入口の左側から時計回りに0～9類が並びます。
- ・読書スペース（9類、絵本）と学習・情報スペース（0～8類）を設けて授業を実施できる空間を確保します。



学習に生かす学校図書館 アクティブラーニングで培いたい力



調べ学習と探求学習

調べ学習	探求学習
<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べて整理して報告することによる学習 調べることに重点を置き、答えを見つけることによる学習 答えは速いなく見つけれられることが多い学習 見つけた答えによって知識が増える学習 <p>調べることによる学習</p> <p>利点・欠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べることにより、知識が増えるだけでなく、それが定着する。 調べること自体(調べるスキル)を学ぶことができる。 答えを調べ、互す学習に陥りやすい。 	<p>特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの問い(問題意識)に関する答えを求めることによる学習 探求プロセスを大切にし、問いを探求し続ける学習 明確な答えが見つけれられないことも許容される学習 知識が増えるだけでなく、新しい疑問により探求のサイクルが回る学習 <p>考えることによる学習</p> <p>利点・欠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 問いに対して考えることにより、思考力などの汎用能力が身につく。 基本的な調べ学習ができないと、探求学習はできない 適切な指導がないと、迷宮に陥る学習になる。

学校図書館の支援(探求の過程に寄与できること)

学習のプロセス	学習目標	学校図書館の支援
決める	テーマに関する知識を増やす。 テーマを絞る。	テーマに沿った関連本の収集 ブックトーク バスファインダーやリストの作成 百科事典の使い方の指導 資料提供・レファレンスサービス
問う	テーマに関する問いをつくる。	考えるためのツールの提供(ワークシートなど) 資料提供・レファレンスサービス
集める	問いの答えになりそうな情報を 探す。	学校図書館の利用指導やネット検索のなど指導 資料提供・レファレンスサービス
考える	情報を読み解く。 問いの答えを明らかにする。	読書方法の指導 引用・要約についての基本の指導 資料提供・レファレンスサービス
創る	問いの答えを他者に伝える。	レポート作成法の指導 プレゼンテーションの方法の指導 資料提供・レファレンスサービス
振り返る	探求の道筋や成果を評価する。 残された課題を確認し、新しい 問いを見つける。	評価表の提供 まとめのブックトーク 発展的なブックリストの発行 資料提供・レファレンスサービス 学習成果物(作品)の展示・掲示・保管

出典『思考力を深める探求学習』 桑田てるみ 著
アクティブラーニングの視点で活用する学校図書館 出版 全国学校図書館協議会
2016,10,31

情報の活用能力

1. 学校図書館メディアの種類

- ・印刷メディア・・・図書、雑誌、新聞、リーフレットなど
- ・視覚メディア・・・写真、絵画、図表、ポスター、CD、DVDなど
- ・実物資料・・・模型、標本、児童生徒が制作したレポートなど
- ・電子メディア・・・官公庁の白書・統計、有料データベース、電子書籍、デジタル教科書など

⚠ インターネット上のメディアの問題点

- ・多くの情報が簡単に手に入るが、必ずしも体系化されていない。
- ・情報源の不明瞭な情報が、様々な場所で形を変えて掲載されている。

入手した情報の評価や判断を児童生徒自らできるように指導が必要



リンク集：学校行事や調べ学習の課題に沿っているか
自治体や省庁など公的な機関・団体が作成しているか
定期的に更新されていて、内容が信頼できるか
フィルタリング：
有害な情報を除去する仕組みがあるか

情報の活用能力

2. 本の探し方の指導

- ① 図書館の配置図を見て、どのあたりに求める資料がありそうか見当をつける。
- ② 書架の表示を見て、書架を見つける。
- ③ 本のラベルや書名などを見ながら、気になる本を手にする。
- ④ 目次や前書きを読み、必要な情報のページを探す。

3. 図鑑で調べる

- ① 目次（巻頭）から本の構成や内容をつかみ、調べたい事柄を探す。
- ② 索引（巻末）で調べたい言葉から調べたい事柄を探す。

4. 百科辞典で調べる

- ①-1 「背」を見て、調べたい言葉が載っている巻を手にする。
- ①-2 「つめ」を見て、調べたい項目の初めの文字を見つける。
- ①-3 「柱」を見て、調べたい言葉が載っている場所に見当をつけ、見出し語を探す。
- ② 索引（巻末）や総索引を使って、調べたい言葉を探す。
- ③ 「を見よ参照」「をも見よ参照」を活用して、関連項目を調べる。

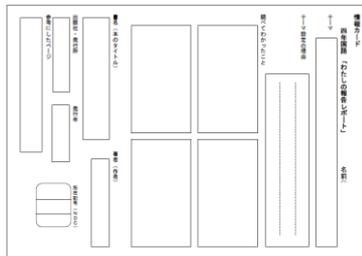
情報の活用能力

5. 集めた情報を記録するスキル

- ・「引用」と「要約」
引用：必要な部分をそのまま抜き出し、「」で囲んで自分の考えと区別をする。
著者名、書名、出版者、発行年、引用元のページなどを（）で囲んで記す。
要約：伝えたい情報を簡単にまとめ、自分の言葉で表現する。

6. 集めた情報を整理・分析する

- ・「情報カード」を活用して、集めた情報を整理して、共有する。



ワークショップ



学習で使う資料を 探してみましよう!!



読書イベントの実践

1. 「読む」「語る」

- ・朝の一斉読書 : 毎朝数分間、学校全体で読書の時間を設ける
- ・1分間スピーチ : 朝の会で輪番制で一人ずつスピーチを行う
- ・ブックレビュー : 授業開始2~3分程度で、教師が児童生徒に本の紹介をする
- ・読書感想文発表 : 国語の授業で、毎時間一人ずつ読書感想文を発表する
- ・ビブリオバトル : 発表参加者がそれぞれ本を紹介した後、聞き手が読みたくなった本に投票し、チャンプ本を決める

2. 「考える」「書く」

- ・読書ノート : 日常的に読書活動の記録をする
- ・読書感想文 : まとまった長さ(800~1200字程度)の読書感想文を書く
- ・読書レポート : 本で調べた内容を報告する文章を書く
- ・本の紹介 : 本の帯やPOP、ポスターセッションなどを実践する

読書イベントの実践

3. 「集まる」「書く」

- ・読み聞かせ : 幼児や小学生を対象に、本の読み聞かせを行う
- ・読書イベント : 地域のイベントに参加して、読み聞かせや遊びを行う
- ・読書会 : 1冊の本を友だちと語り合ったり、おすすめし合ったりする

4. 「広がる」「つながる」

- ・校内展示 : 作った帯やPOP、ポスターなどを展示する
- ・委員会活動 : 委員会活動の内容を紹介する
- ・冊子作り : 図書館のガイドブックを作る
- ・広報活動 : 「図書館だより」などを掲示、配布して学校図書館をアピールする

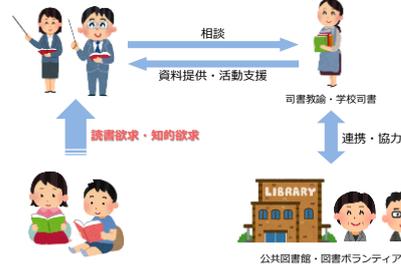
参考資料
高見宗子著『読書イベントアイデア集 中・高校生編』全国学校図書館協議会、2014



「図書館活用委員会」の設置

(事例紹介)

- ・ 構成員 : 学校長、教務主任、研究主任、司書教諭、各学年1名、学校司書、支援員
- ・ 開催日程 : 各学年の授業活用計画に基づいて、月1回程度の招集
- ・ 活動内容 :



「親しみやすい図書館」「生きた図書館」づくりを目指そう！

学校司書の役割と支援

学校司書とは

学校図書館を運営していくために必要な専門的・技術的職務に従事するとともに、学校図書館を活用した授業やその他の教育活動を司書教諭や教員とともに、進める役割を担う。

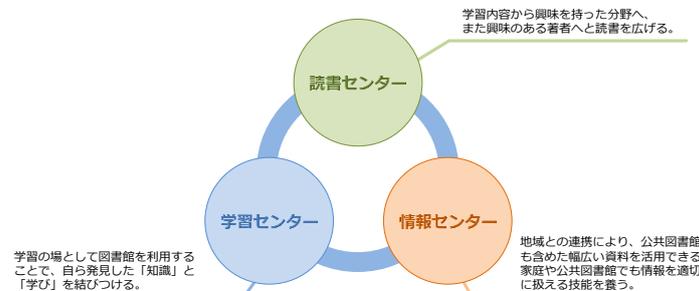
具体的な業務

- 1 児童生徒や教員に対する間接的支援
 - ・ 図書館資料の管理・・・蔵書の把握、点検、選書、装備、除籍
 - ・ 図書館の環境整備・・・施設、設備、配架
 - ・ 家庭、地域、公共図書館等教育施設との連携
- 2 児童生徒や教員に対する直接的支援
 - ・ 利用案内、資料の貸借
 - ・ 資料相談、情報提供
 - ・ 読書推進活動・・・読み聞かせ、ブックトーク、新刊紹介、テーマ展示 等
 - ・ 図書館行事
- 3 教育目標を達成するための「教育指導への支援」
 - ・ 学校図書館のオリエンテーション(図書館利用ガイダンス)
 - ・ 資料展示や委員会、クラブ活動への助言、指導に関する支援
 - ・ 学習活動の支援・・・教材準備の支援、資料提供、レファレンスサービス
ティームティーチング 等

豊かな心と学びを育てる学校図書館へ

環境整備（リニューアル）は最初の一歩

学びに活用できる学校図書館へ



児童を対象としたオリエンテーション例

**みんながたのしい
学校としょかん**

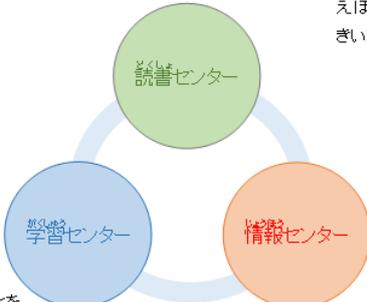
としょかん
図書館のしくみ

としょかん
図書館のつかいかた

ほん
本のさがしかた



としょかん
図書館は…



えほんやお話をよんだり
きいたりするところ



えほんやしんぶんやざっし
などをつかって、
いろいろなことをしらべ
るところ



えほん
学習で知りたいことを
しらべたりはなしあっ
たりするところ



としょかん
図書館のマナー

ほんをたいせつにしましょう

- ・ページをおったり、かきこみをしてはいけません。
- ・ほんをひらいたままふせないようにしましょう。
- ・ほんの上でもじやえをかいたりしません。

ほんだなに正しく本をもどしましょう

- ・ぶるいきごうをたしかめてもどしましょう。

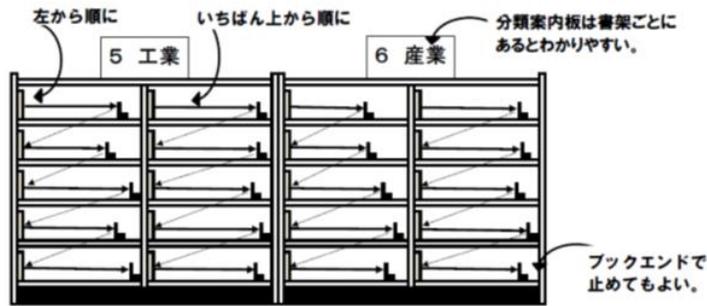
かしたしてつづきをして、ほんをかりましょう

- ・きげんをまもって本をへんきゃく(かえすこと)しましょう。

としょかんでは、はしったり大きなこえでさわいだりしません。



本のならびかた



分類記号のしくみ

ひらがなで
しめています

分類	な か み
0 読める本	百科事典 年鑑 郷土の資料
1 心・道徳	人生 心の本 道徳 マナー 宗教 神話
2 歴史・伝記・地理	世界の歴史 日本の歴史 伝記 地図 世界のくらし 日本のくらし
3 社会・くらし	政治 法律 経済 仕事 福祉 災害 障害者理解 生活習慣 習俗
4 異動・理科	異動 化学 宇宙 地球 気象 植物 昆虫 動物 人体 病気 薬
5 技術・家庭	土木 環境問題 建築 機械 電気 地下資源 家庭生活 衣類 料理
6 産業・交通	農業 漁業 畜産業 林業 水産業 商業 交通 娯楽
7 芸術・体育	絵画 工作 音楽 劇 スポーツ 遊び などなど 娯楽
8 ことば	ことば遊び ことわざ 国語辞典 漢和辞典 外語のことば
9 文学	日本文学 古典 詩 小説 外国文学
E 絵本	日本の絵本 外国の絵本

ぶ ん る い	な か み
0 しるべるほん	ひゃっかじてん ねんかん しがけんのほん
1 こころ・どうとく	こころのほん まなべ しゅうきょう しんわ
2 れんし・ちり・でんき	せかいのれんし にほんのれんし でんき ちり せかいのくらし にほんのくらし
3 しゃかい・くらし	せいじ おかねのはなし しごと せいがい しょうがいしや しゅうかん せいかいばなし
4 さんずう・りか	さんずう かがく らぢゅう ちぎゅう しょうぶつ どうぶつ にんげん ひょうき
5 びじゅつ・かてい	かんぎょう たてもの ぎがい だんき ふく くりょうり
6 さんぎょう・こうつう	たんだいはたけ かせん にくやさかな おみせ のりもの ほろもろ
7 がいじゅつ・たいいく	え こころざく おんがく すぼ一つ げき ぶそび なぞなぞ めいろ
8 ことば	ことばあそび ことわざ こくごじてん がいこくのことば
9 ぶんがく	にほんのおはなし どうわ がいこくのおはなし
E えほん	にほんのえほん がいこくのえほん

0類 総記

03

「ぜろさん」とよみます

- 【01】 図書館
- 【03】 百科事典
- 【05】 学習年鑑
- 【07】 新聞
- 【09】 郷土資料・滋賀県資料

「百科事典」「ポプラディア」などの本です。

09

滋賀県や市や町のことをわかるもので、『わたしたちの滋賀県』や『琵琶湖の魚』などの本です。

1類 てつがく しゅうきょう 哲学・宗教

14

「いちよん」とよみます

【10】思想しそう（もののかんがえかた）

【14】心こころの本ほん

【15】道徳どうとく・マナー

人生じんせい（ひとのいきかた）

【16】宗教しゅうきょう・神話しんわ

「うらない」や「なやみ相談の本」などです。

16

「ギリシャ神話」や「日本の神話」などの本です。

2類 れきし ちり 歴史・地理

28
オ

「にいはち」「お」とよみます。

【20】歴史れきし

【21】日本史にほんし

【28】伝記でんき

【29】地理ちり

名前が「オ」ではじまる人、たとえば「織田信長」の伝記のラベルです。

29

「世界の国々」や「日本の国土とくらし」などの本です。

3類 しゃかいかがく 社会科学

38

「さんはち」とよみます。

【30】社会しゃかい

【31】政治せいじ・人権じんけん

【32】法律ほうりつ・憲法けんぽう・裁判さいばん

【33】経済けいざい・お金かね

【35】統計とうけい・国勢調査こくせいちょうさ

【36】社会生活しゃかいせいかつ・仕事しごと・福祉ふくし・災害さいがい

【37】教育きょういく・学習がくしゅう

【38】生活習慣せいかつしゅうかん・民話みんわ・伝説でんせつ

「管のくらし」や「日本の祭り」「むかしぼなし」などの本です。

「よんはちろく」とよみます。

486

「モンシロチョウ」や「カブトムシ」「昆虫図鑑」などの本です。

4類 自然科学

理科・実験・自由研究
算数
化学
地球・気象・恐竜
植物

物理
天文・宇宙
生物・進化

↓動物については3けたであらわします。

動物
節足動物
魚類・爬虫類・両生類
鳥類
人体・病気・薬

軟体動物・貝類
昆虫類
哺乳類

「ごおきゆう」とよみます。

59

「お菓子」や「料理」「手芸」などの本です。

5類 工学・工業

工業
土木・環境
建築
機械
電気
船
地下資源
化学工業
製造工業
家庭・料理

53

「ロケット」や「はたらくじどう車」などの本です。

「ろくご」とよみます。

65

「雑木林」や「どんぐり」「シイタケ」などの本です。

6類 産業

産業
農業・米作・穀類
果物・野菜・園芸
畜産・家畜
林業・森林
水産業・養殖
商業・流通・貿易
交通・道路・鉄道・観光
通信・電話・放送

「ななきゆう」とよみます。

7類 るい 芸術・スポーツ

【70】芸術・美術
 【71】彫刻・仏像
 【72】絵画・まんが・書道
 【73】版画
 【74】写真・印刷
 【75】工芸・工作
 【76】音楽
 【77】演劇・映画
 【78】体育・スポーツ
 【79】レクリエーション・遊び

79

「なぞなぞ」や「あやとり」『ミック』などの本です。

「はちいち」とよみます。

8類 るい 語学

【80】語学・言葉遊び
 【81】日本語・漢字・国語辞典
 【82～89】外国語
 【83】英語

81

「ことわざ」や「雑文」「国語辞典」などの本です。

80

「単語ことば」や「しりとりあそび」などの本です。

「きゆういちさん」「は」とよみます。

9類 るい ぶんがく 文学

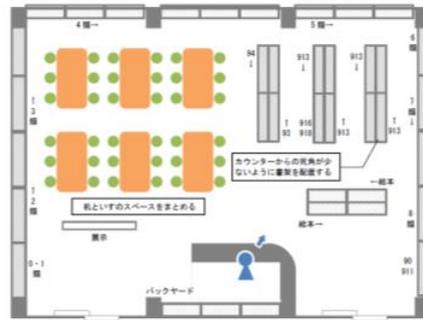
【90】文学
 【910】日本文学(・古典・百人一首)
 【911】詩・短歌・俳句 【913】物語・小説
 【916】記録文学・ノンフィクション
 【918】文学全集
 【92】アジア文学 【93】英米文学
 【94】ドイツ文学 【95】フランス文学
 【96】スペイン文学 【97】イタリア文学
 【98】ロシア文学 【99】諸国文学
 【E】絵本

913
八

図書館記号が「八」なので、「八」ではじまる名前の次が書いた物語です。原ゆたか「かいけつソロリ」シリーズ など

どこにどんな本があるの

かんないず
館内図



本のかりかた・かえしかた

図書館の開館時間にあわせましょう

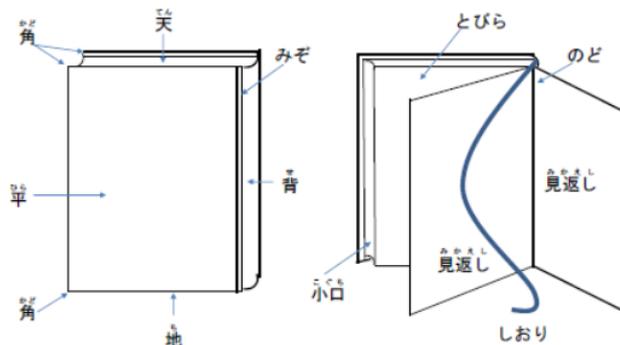
学校司書の先生や図書委員さんがおられるときにかりることができます。

貸し出しの期間（かりることができる にっすう）や、さっすうを守ってかえしましょう。

〇年〇組 なまえ	〇〇〇〇〇	
本の題名	かりた日	かえす日
かいけつソロリ		
おきやくさまはリルとララ		

貸し出しカードや読書カードに本のタイトル（だいめい）と日にちを書きます。

本のしくみ



ひゃっかじてん 百科事典のつかいかた

し 知っておきたいポイント

- 1、**百科事典**はたくさんの**巻**に分かれているものが多いです。
たとえば『ポプラディア』の**ぼあい**は12巻になっています。
- 2、**言葉**は**五十音順**（あいうえおじゅん）にのっています。
- 3、「**つめ**」と「**はしら**」
「つめ」は「**あ行**」「**か行**」でまとめられている。国語辞典と同じです。
左の「**はしら**」はページの**さいしょ**のことばで、右の「**はしら**」はページの**さいご**のことばです。
- 4、「**見出し語**」と「**解説**」
「**みだしご**」はしらべることがらで、太い文字で書かれているので見つけやすいです。
「**かいせつ**」にしらべらないようがあります。わかりやすくするために写真やイラスト、図表などがつけられていることがあります。
- 5、「**青字リンク**・**赤字リンク**」
「**かいせつ**」のなかの、青や赤の文字のことばについても見てみましょう。
- 6、「**⇒**」
「⇒」でしめされたことばでしらべます。

としょかんクイズ（ていがくねん） なまえ

1、ほんをたいせつにしよう。

ほんをよむときのやくそくです。こえにだしてよみましょう。
よんだら○をつけましょう。

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| ・よごさない。 () | ・ほんをはんたいむきにいれない。 () |
| ・やぶらない。 () | ・たなからはみださない。 () |
| ・ぶらさげない。 () | ・たおさない。 () |
| ・ほんをひろげたまま
ふせておかない。 () | ・しずかによむ。 () |
| ・らくがきをしない。 () | ・ほんをもとのいちにもどす。 () |
| ・つばをつけない。 () | |

2、ほんをさがしましょう。

としょかんにはいろいろなほんがあります。つぎのことについてしりたいときにどこをさがしたらいいでしょう。

もんだい	ほんのぶんるい
① あげはちょうのたまご	るい
② めいろ	るい
③ [寺村輝夫 (てらむらてるお)]さんのほん	るい
④ しんかんせんのはやさ	るい
⑤ むかしばなし	るい

3、ほんをえらびましょう。

あなたがえらんだほんのだいめいと、さくしゃ（かいたひと）のなまえをかきましょう。

ほんのだいめい	さくしゃ（かいたひと）

図書館クイズ(高学年)

名前 ()

1. つぎのことがらを調べる時、それぞれどんな図書資料がふさわしいですか。
下からえらんで、記号を書きましょう。

No.	問題	答え	No.	問題	答え
1	草花の名前を調べたいとき		5	「探訪」ということばの意味を知りたいとき	
2	読めない漢字があったとき		6	宮沢賢治についてくわしく調べたいとき	
3	中部地方の山脈を調べるとき		7	2017年の日本の人口を調べるとき	
4	朝食のメニューを考えるとき		8	「しょうぎ」についてくわしく知りたいとき	

(ア) 地図帳 (イ) 人物事典 (ウ) 植物図鑑 (エ) 漢和辞典 (オ) 百科事典
(カ) 年鑑 (キ) 国語辞典 (ク) 料理の本 (ケ) 動物図鑑

2. つぎの種類の本の分類記号を書きましょう。

問題	分類記号	問題	分類記号	問題	分類記号
アンモナイト		自由研究		環境問題	
郷土資料		年中行事		雲	

3. 短歌と俳句の本をさがしましょう。その中から好きな短歌一首と俳句を一句ずつ選び、作者名も書きましょう。

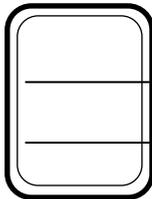
ラベル記号	書名(シリーズ名)	出版社(発行所)
短歌		
俳句		

	好きな一首・一句	作者
短歌		
俳句		

情報カード

名前

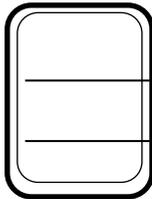
作成日 年 月 日 ()

課題	[キーワード]	
資料	[資料名 タイトル]	
	[著者名/作成者名]	
	[出版者・発行年・アドレス]	
資料の評価		
* 信頼できるか (A B C) * 課題解決に役立ったか (A B C)		

情報カード

名前

作成日 年 月 日 ()

課題	[キーワード]	
資料	[資料名 タイトル]	
	[著者名/作成者名]	
	[出版者・発行年・アドレス]	
資料の評価		
* 信頼できるか (A B C) * 課題解決に役立ったか (A B C)		

四年国語 「わたしの報告レポート」 名前 ()

テーマ

テーマ設定の理由

.....

調べてわかったこと

書名 (本のタイトル)

著者 (作者)

出版社・発行所

発行年

所在記号 (NDC)

参考にしたページ

学校図書館を活用した年間指導計画(小学校 国語以外全教科)

1学期

指導計画

	4月		5月		6月		7月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
1年	★がっこうだいすき(生活) がっこうをたんけんしよう	○学校図書館の場所 オリエンテーション(国語科) 『いちねんせいのがっこうたんけん』 『がっこうたんけんしょうがっこうたいずかん』 『せいかつかのえほん1』 『ぼくたちがっこうたんけんたい』	★がっこうだいすき(生活) がっこうにいるひと なかよくならう	○『あいさつしましょう』 『場面でわかる正しいことばづかいと敬語』 『21授業のネタ道德1』 ○学校図書館司書 読み聞かせを聞いて楽しむ 図書館のイベントを楽しむ クイズラリー 読書の日	★きれいにさいてね(生活)	○『おばあちゃんとはなのでぶくろ』 読み聞かせ 『花のひみつ』 『しよくぶつのはなさいばい』 『教科書に出てくる生き物観察図鑑2』 『学校でできる虫の飼育と栽培』	★なつだ あそぼう(生活)	○なつのおそびずかん 『なつのおそび』 『夏の遊び 工作 プール 野外遊び 科学遊び ベストセレクション』
2年	★春だ 今日から 2年生(生活) 春を さがそう	○『春をさがそう』 『はるなつあきふゆ』 『植物のふしぎ』 『しぜんたんけんずかん』 『みいつけた! みぢかないきもの』 『学校のまわりでさがせる生き物図鑑』 『学校のまわりでさがせる植物図鑑』 『さがそう生きものかくれんぼ』	★おおきなあれわたしの野さい 野さいのことをまとめよう(生活)	○トマトの成長についてのブックトークと 読み聞かせ 『おどろきいっぱいトマト』 『しぜん・トマト』 『育て・発見! トマト』 『ミニトマト実のなる 植物の栽培』 『まるごとトマト』 『くだものやさい』	★どきどきわくわくまちたんけん まちたんけんの計画を立てよう(生活)	○地域資料『わたしたちの〇〇市』 『ディズニーたのしいきょうしつ』 『2年生の生活科たんけんたいずき』 『町たんけんはたらきとみつけた』 『地図をつくろう まちたんけんに出発しよう』	★生きもの なかよし 大作せん 生きものをつたえよう(生活)	○生きもの図鑑 『池や小川の動物たち』 『水辺の自然 遊んで学ぼう』 『学校の栽培 飼育活動 鉢植え メダカの世話からピオトープまで』 『教科書に出てくる生き物観察図鑑5』
3年	★春のしぜんにとび出そう(生活) ★わたしたちのまち みんなのまち 学校のまわり (社会)	○『ふれあい自然図鑑』 『身近な自然 ピオトープ』 『学校のまわりでさがせる植物図鑑』 『身近な植物と友だちになる本』 ○『社会のふしぎなぜ? どうして? 3年生』 『新しい小学生の社会見学』 『さがしてみようまちのしごと』 『商店街へGO!』	★こん虫(チョウ)をそだてよう (理科)	○チョウの種類や育て方の本 『モンシロチョウの観察』 『チョウの飼育観察』 『これはなんのようちゅうかな?』 『昆虫図鑑調べてみよう名前のみみつ』 『ぜんぶわかる! モンシロチョウ』	★円と球(算数)	○円や球の形が載っている本の提供 『目で見える算数の図鑑』	★こん虫を調べよう(理科)	○『会える 昆虫図鑑』 『飼ひ方完全ガイド学校で飼う身近な生き物』 『教科書に出てくる生き物観察図鑑』 ○白地図にまとめる 『地図をつくろう』 『最新記号の図鑑』 『地図から「よのなか」を見てみよう』 『調べて遊ぼうこの地図だれのもの』
4年	★くらしを守る(社会) 火事からくらしを守る 地震からくらしを守る ★あたたかくなると(春)(理科)	○防災に関する図書資料 『行ってみよう社会科見学』 『社会科見学・体験学習』 『仕事がよくわかる 社会科見学』 ○『自然観察』 『植物の観察』 『学校のまわりの草木図鑑 春』	★くらしを守る(社会) 事故や事件からくらしを守る ★動物のからだのつくりと運動 (理科) ★一億を超える数(算数)	○『みんなで防災アクション』 『現場で働く人たち』 『お仕事ナビ 人を守る仕事』 ○図鑑、人体に関する図書資料 『ずかんたね 見ながら学習調べてなつとく』 ○年鑑、統計資料、天体に関する図書資料	★住みよいくらしをつくる(社会) 水はどこから ★電気のはたらき(理科) ★暑くなると(理科)	○『川の総合学習』 『仕事がよくわかる社会科見学浄水場』 『写真で分かる小学生の社会科見学浄水場』 『地球の未来と水』『水資源を考える』 『水はどこから来るの? 水と自然と生活』 ○4年生の理科実験 ○『自然観察』 『学校のまわりの草木図鑑 夏』	★夏の星(理科)	○『教えて! 21世紀星空探検隊』 『かならず見つかる星座の本』 『星座を探そう』 『天体観測の達人』 『見える! さがせる! 星・星座観察ブック』 『よむプラネタリウム 夏の星座案内』
5年	★わたしたちの国土(社会) 国土の地形の特色 ★天気の変化(理科)	○『絵で分かる社会科事典』 『日本の国土とくらし1~8』 『日本列島、水をとつたら?』 ビジュアル地形案内1~3』 『探検・発見わたしたちの日本』 『立体地形で見る日本の国土とくらし』	★私たちの国土(社会) 国土の気候の特色	○『調べ学習に役立つ社会科データブック』 『日本地理ポプラディア情報館』 『日本のすがた8』	★魚のたんじょう(理科)	○『動物のふしぎな世界』 『一生の図鑑』 『いのちのかんざつ』 『うまれたよ! メダカ』 『ぜんぶわかる! メダカ』 『メダカ 小川や田んぼにすむ魚』	★米作りのさかんな地域(社会) ★わたしの研究(理科)	○農業や米作りに関する資料 『お米ができるまで』 『米のブロに聞く! 米づくりのひみつ』 『日本の農林水産業農業1』 ○『やってみよう夏休みの自由研究5・6年』 『わくわく理科タイム 不思議いっぱいサイエンス』
6年	★日本の歴史(社会)4月~11月 歴史を図書で調べよう ★対称な図形(算数)	○『2類の図書紹介と資料の 読み方・扱い方(出典) 『日本の歴史ポプラディア情報館』 ○『算数おもしろ大辞典』 『算数なるほど大図鑑』 『算数の探検 形とあそぼう』 対称な図形 (国旗、市章、標識、記号 旗印、紋章、校章など)の本	★日本の歴史(社会)4月~11月 ★動物のからだのはたらき(理科)	○『歴史なるほど新聞』 『テーマで調べるクローズアップ 日本の歴史』 ○『人のからだ』 『動物のからだ』 『くらべよう! 人と動物のからだ』	★日本の歴史(社会)4月~11月 ★植物のからだのはたらき(理科)	○『新 日本の歴史』 ○『小学生の理科教室』 『6年生の理科実験』 『植物のからだ』	★日本の歴史(社会)4月~11月 ★ポスターで表現しよう(図画工作) ★生き物のくらしと環境(理科)	○図鑑や写真集などの図書資料 ○『ポスターをつくろう』 ○『フィールドワークで総合学習 自然環境体験シリーズ』 『学校のまわりの自然観察』 『川と探検』

学校図書館を活用した年間指導計画(小学校 国語以外全教科)

2学期

指導計画

	9月		10月		11月		12月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
1年	★いきものと なかよし(生活) いきものずかん	○[486]昆虫 についての資料 『かわいいむしのえほん』 『昆虫図鑑調べてみよう名前のみみつ』 『さがそう生きものかくれんぼ』 『はじめての飼育』	★たのしい あき いっぱい(生活) あきのはやどんぐり	○[47]植物[65]樹木の資料 『学校のまわりでさがせる植物図鑑』 『はるなつあきふゆ』 『秋をさがそう』 『どんぐり図鑑』 秋関連の読み聞かせ 『14ひきのあきまつり』 『どんぐりむら』	★つくろう あそぼう(生活) おもちゃずかん ★パソコンの使い方(図画工作)	○『自然のおくりものつくる・たべる・あそぶ』 『どんぐり・木の実・おち葉・秋のほっこり工作』 『ふれあいしぜん図鑑 秋』 ○起動と終了 マウスの使い方 スタンプの絵(11月カレンダー) 『ペイントであそぼうパソコンのきほんをみにつける』	★じぶんで できるよ(生活) ★ふゆやすみをたのしくすごそう(生活) 冬の行事	○『からだ元気になる本』 『からだのえほん』 『からだだいすきえほん』 ○クリスマスのブックトークと読み聞かせ 『子ども歳時記12か月』 『ぎょうじのえほん ぎょうじのゆらい』 『きょうはこんな日365』
2年	★うごく うごく わたしの おもちゃ(生活)	○『手づくりおもちゃ200 1~7』 『手づくり科学あそび 1~3』 『不思議おもちゃ工作』 『手づくりおもちゃアイデア集』 『小学生のおもしろ工作』 『激カワおもちゃ 1~3』	★みんなで つかう まちの しせつ 図書かんに 行こう(生活) 図鑑の使い方 ★秋の虫探し(生活)	○読み聞かせ 図鑑の使い方 目次と索引指導 『まちの施設たんけん』 『くらしをまもる・くらしをささえる20』 ○『見わかる!調べる! しぜんかんさつずかん秋』 『教科書に出てくる生き物観察図鑑2』 『学校のまわりでさがせる生き物図鑑』	★さつまいもの しゅうかくをしよう(生活) ★もっと なかよし まちたんけん(生活)	○『さつまのおいも』 『そだててみよう! はじめての栽培』 『そだててあそぼうサツマイモの絵本』 『科学のアルバムサツマイモ』 『たのしい野菜づくり育てて食べよう3』 ○『商店街へGO!』	★つたわる 広がる わたしの 生活(生活) もとくわしくらべよう ★冬の くらし(生活)	○『はじめての発表・表現 アイデア集1,2』 『マナーと敬語』 ○『子どものカレンダー』12ヶ月 『おはなしぎょうじのえほん』 『こどもの行事しぜんと生活』 『かこさとしあそびずかん』 『子ども図鑑自然と遊びを楽しむ12か月』
3年	★はたらく人とわたしたちのくらし(社会) 店ではたらく人 ★太陽とかげの動きを調べよう(理科)	○『さがしてみようまちのしごと 5』 『まちのしごとば大研究 1』 『職場体験学習に行ってきました 6』 『仕事場がよくわかる 1』 『商店街へGO! 1~5』 ○『太陽の大研究』 『星と宇宙がわかる本 1』	★太陽の光を調べよう(理科)	○『太陽の大研究』 『3年生の理科がとくになる本』 『理科がよくわかるクイズの本7』 『なぜ? どうして? 科学なぞとき物語3年』	★はたらく人とわたしたちのくらし(社会) 農家の仕事(工場の仕事) ★風やゴムで動かそう(理科)	○『さがしてみようまちのしごと 4』 『職場体験学習に行ってきました 4, 14』 『仕事場がよくわかる 2, 3』 ○『手づくり科学あそび』 『科学工作図鑑』 『科学あそび図鑑』	★はたらく人とわたしたちのくらし 農家の仕事(社会) (工場の仕事) ★明かりをつけよう(理科)	○目的に合わせて図鑑や年鑑・百科事典・参考資料を利用し、情報を選び、相手に分かりやすいようにまとめ伝える ○『手作りおもしろ実験 電気』 『電気の自由研究』 『電気と磁石』
4年	★住みよいくらしをつくるごみのしよりと利用(社会) ★月や星の動き(理科)	○『さがしてみようまちのしごと 3』 『まちのしごとば大研究 4』 『仕事場がよくわかる 7』 『ポプラディア情報館ごみとリサイクル』 『ごみの大研究』 ○『星と宇宙がわかる本 1~4』 『子ども天文検定 1~3』 『宇宙をさぐる1~5』『月の大研究』	★すずしくなると(理科)	○『自然観察』 『植物の観察』 『学校のまわりの草木図鑑 秋』	★きょう土のはってんにつくす(社会)	○『滋賀の子どものたからばこ』 『12歳から学ぶ滋賀県の歴史』 『わたしたちの〇〇市(町)』 地域資料	★わたしたちの県(社会) 日本地図を広げて ★自然のなかの水のすがた(理科) ★ほってすって(図画工作)	○『ポプラディア情報館日本地理』 『ポプラディア情報館近畿地方』 『日本の地理データマップ5』 『日本の地理3』 ○『水の総合学習』 『水ってなんだろう』全5巻 ○木版画に関する図鑑や写真集などの図書資料の提供
5年	★水産業のさかんな地域(社会) ★台風と天気の変化(理科) ★リレー(体育)	○『ポプラディア情報館日本の水産業』 『守る育てる日本の水産業 1~5』 『漁業国日本を知らう』全7巻 ○『お天気博士になろう 1~5』 『これは異常気象なのか 1~3』 ○『やってみよう陸上競技』 『はじめてみよう陸上競技』 『スポーツなんでも事典陸上競技』	★これからの食糧生産とわたしたち(社会) ★流れる水のはたらき(理科)	○『世界と日本の食料問題』 『日本の農林水産業』 『図解日本の産業 1, 2, 3』 『データと地図でわかる日本の産業』 『イラストと地図から見つける日本の産業3』 ○『水の総合学習』 『なるほどナットク自然現象5』	★わたしたちの生活と工業生産 自動車をつくる工(社会)	○『データと地図でわかる日本の産業 4, 5』 『イラストと地図から見つける日本の産業 3』 『日本の自動車工業』全5巻	★情報化した社会とわたしたちの生活(社会) 情報産業とわたしたちのくらし 『気をつけよう情報モラル』 『気をつけようスマートフォン』 『産業とくらしを変える 情報産業社会を生きる』 『ITソリューション会社図鑑』	
6年	★日本の歴史(社会)4月~11月 ★太陽と月の形(理科)	○『テーマで調べるクローズアップ 日本の歴史 1~7』 『ポプラディア情報館 日本の歴史 1~5』 『調べる学習日本の歴史1~4』 ○『宇宙をさぐる』 『太陽の大研究』『月の大研究』 『もったのしく夜空の話』 『天体観測100年絵事典』	★日本の歴史(社会)4月~11月 ★大地のつくり(理科) 地層のでき方をまとめよう	○『ポプラディア情報館歴史人物』 ○『日本列島 大地まるごと大研究 1~5』 『地層ってなんだろう 1~3』 『地層を調べる たのしいフィールドワーク』	★日本の歴史(社会)4月~11月 (前出の資料を活用)	★わたしたちの生活と政治(社会) 願いを実現する政治(子育て支援・震災復興)	○『しくみがわかる政治とくらし大事典 1~5』 『政治とくらし大事典 1~5』 『3.11が教えてくれた防災の本 1~4』	

学校図書館を活用した年間指導計画(小学校 国語以外全教科)

3学期

指導計画

	1月		2月		3月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
1年	★むかしから つたわる あそびをしよう(生活) ★ふゆを たのしもう(生活) ふゆのあそびずかん	○年末とお正月の習慣が分かる本 『子ども歳時記12か月』 『伝統行事がわかる図鑑』 『家族で楽しむ日本の行事』 ○『子どものカレンダー』12ヶ月 『おはなしぎょうじのえほん』 『こどもの行事しぜんと生活』 『かさとしあそびずかん』	★節分のいわれ(生活) ★もう すぐ 2ねんせい(生活) あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう	○節分についての本の提供 『おはなしぎょうじのえほん 冬』 『日本の祭り大図鑑 1~4』 『しばわんこの和の行事えほん』 ○『たのしいおもちゃ屋さん』 『手づくりおもちゃであそぼう』 『おりがみランド』『きせつのおりがみ』 『学校であそぼうゲームの達人』	★もうすぐ春ですよ(生活)	○『ふゆめがっしょうだん』 『はなをくんくん』 『はるをさがしに』 『さがしてあそぼう春ものがたり』 『びよちゃんのはるなつあきふゆ』 『どんなにきみがすきだか』 あててごらんはるのおはなし』
2年	★冬がいつばい(生活)	○『見わかる！調べる！ しぜんかんさつずかん冬』 『教科書に出てくる生き物観察図鑑』 『学校のまわりでさがせる生き物図鑑』	★あしたへ ジャンプ(生活) ありがとうはっぴょう会をひらこう 赤ちゃんたんじょう	○赤ちゃん関連の本の読み聞かせとベ ビ一服、産声の紹介 『ママにあかちゃんがうまれるよ』 『赤ちゃんが教室にきたよ』 『うちにあかちゃんがうまれるの』 『わたしはどうしてうまれたの？』	★あしたへ ジャンプ(生活) すてきな 3年生に なるう	○3年生の社会科・理科の教科書 『社会のふしぎなぜ？どうして？ 3年生』 『新しい小学生の社会見学』 『モンシロチョウの観察』 『チョウの飼育観察』 など3年生が使用する本
3年	★かわってきた人々のくらし(社会) 古い道具と昔のくらし	○昔の道具調べの支援 『昔の道具事典』 『昔の道具うつりかわり事典』 『昔のくらしと道具 1~6』 『昔の道具大図鑑』 『ポプラディア情報館昔の道具』 『道具からわかる 昔のくらしと 子どもたち』	★かわってきた人々のくらし(社会) のこしたいもの、つたえたいもの ★つくってあそぼう(理科)	○『昔の子どものくらし事典』 『すてきな日本の伝統』 『せいかつ図鑑』 ○『手づくり科学あそび』 『科学工作図鑑』 『まるごと科学工作』 『科学あそび図鑑』	★理科の調べ方を身につけよう (理科)	○『科学の実験』 『理科実験・観察の器具図鑑』
4年	★季節と生き物(冬)(理科) ★冬の星(理科) ★寒くなると(理科)	○図鑑、動物・植物に関する図書資料の 提供 ○『星と宇宙がわかる本 1~4』 『こども天文検定 1~3』 『宇宙をさぐる1~5』(7月 前出) ○『自然観察』 『学校のまわりの草木図鑑 冬』	★わたしたちの県(社会) 日本地図を広げて 特色ある地いきと人々のくらし ★学びをつなごう(理科)	○『日本の国土とくらし 1~8』 『日本の自然と人々のくらし1~6』 『日本地理データ年鑑』 『絵からわかる 社会科事典 都道府県』	★わたしたちの県(社会) 世界とつながるわたしたちの県 ★生き物の1年をふり返って(理科) ★理科の調べ方を身につけよう (理科)	○(2月 前出) ○『科学の実験』 『理科実験・観察の器具図鑑』 『カンベキ小学理科 基礎からしっかりわかる』
5年	★情報化した社会とわたしたちの 生活(社会) 社会をかえる情報 情報を生かすわたしたち ★人のたんじょう(理科)	○(12月 前出) ○『あかちゃんはこうしてうまれる』 『もっと知りたい赤ちゃんのこと』 『赤ちゃん誕生』 『赤ちゃんが生まれる』 『赤ちゃんはどこからくるの？』 『いのちってスゴイ 赤ちゃんの誕生』	★わたしたちの生活と環境(社会) わたしたちの生活と森林 環境を守るわたしたち ★電流がうみ出す力(理科)	○『すぐできる環境調査』 『ニュースに登場する世界の環境問 題』 『地球SOS 1~10』 『地球温暖化ってなに？』 『地球の未来とゴミ学習』1~3 ○『NHKふしぎがいつばい5年生』 『教科に役立つ実験・観察』 『電機がいちばんわかる本』	★わたしたちの生活と環境(社会) 自然災害を防ぐ ★理科の調べ方を身につけよう (理科)	○『地球環境白書』 『天気の変化と気象災害』 『異常気象と気象災害』 『地球環境図鑑』 ○『科学の実験』 『理科実験・観察の器具図鑑』 『カンベキ小学理科 基礎からしっかりわかる』
6年	★わたしたちの生活と政治(社会) わたしたちのくらしと 日本国憲法 ★電気と私たちのくらし(理科)	○『えほん日本国憲法』 『憲法なるほど解説』 『今こそ知りたいみんなてまなぶ 日本国憲法』 『憲法を知ろう 日本と世界の憲法』 ○『よくわかる 電気のしくみ』 『電気を起こす・ためる・利用する』	★世界の中の日本 日本とつながりの深い国々(社会) ★地球に生きる(理科)	○アメリカ 合衆国、韓国、中国など、 貿易や経済協力、歴史や文化、 スポーツ交流などのつながりが 深い国について書かれた図書資料 『くらべて見る地図帳』1~6 『世界地理びっくり図鑑』 『世界の国々』 ○(5年 2月・3月 前出)	★世界の中の日本(社会) 世界の未来と日本の役割 ★理科の調べ方を身につけよう (理科)	○(2月 前出) ○『科学の実験』 『理科実験・観察の器具図鑑』 『カンベキ小学理科 基礎からしっかりわかる』

学校図書館を活用した年間指導計画(小学校 国語科 東京書籍)

1学期

指導計画

	4月		5月		6月		7月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
1年	★オリエンテーション ★読み聞かせを聞いて楽しむ ほんがたくさん	○貸出・返却方法と図書の扱い方を指導する。 (ラベルの見方、貸借のきまり、マナー) ○図書館クイズラリーの支援 ○絵本【E】のある場所 ○読み聞かせ	★春のおはなし絵本	○こいのぼり、遠足関連 『わにぼうのこいのぼり』 『はるねこ』 『はなをくんくん』 『はるのやまはザワザワ』 『はるさんがきた』	★ことばあそび ★絵本のならべ方 ★どうやってみをまもるのかな	○言葉遊びの本【81】 紙芝居をする 多田ヒロシ あべひろしの本 ○書架の配置について ○動物絵本の紹介 『どうぶつのしっぽ』 『どうやってねるのかな』 『どうぶつのちえ』シリーズ	★おおきなかぶ ★ほんのひろば	○大型絵本提供 ○お勤めの絵本の紹介 ブックトーク(教科書関連の本も) 『あつちゃんあがつく』創作絵本 『こぶとりじい』昔話絵本 『1つぶのおこめ』科学絵本 『くまのコールテンくん』外国絵本
2年	★こえに出して読もう 風のゆうびんやさん ★としょかんへいこう オリエンテーション	○『せんろはつづく』(竹下文子) 『ねえだっこして』 『ピン・ボン・パス』 『おまかせコックさん』 ○利用の仕方と書架配置(E・913分類)を確認する。 ○図書館クイズラリーの支援 ○お話カードの記入の支援	★たんぼぼのひみつを見つけよう たんぼぼ ★かたかなで書くことば	○導入のブックトーク 『いきいきぜんシリーズ』 『たんぼぼ』 『たんぼぼのわたげ』 ○図書館を使ってカタカナで書くことば 見つけをする。(支援)	★場面ごとに読もう お手紙 『お手紙』とくらべて アーノルド・ローベルの本 比べ読み ★二つのせつめいをくらべよう ふるしきは、どんなぬの	○『がまくんとかえるくん』シリーズ 『やどなしねずみのマーサ』 ○本や図鑑における文章の違い を考える学習の支援	★本はともだち	○掲載本の紹介 ブックトーク 読み聞かせ ○『かぜのふえ』(やなせたかし) 『クシュラヒメ』 『ごろごろたん』 『アンデルセン 童話集』 『ゲリム童話集』
3年	★音読しよう すいせんラッパ ★図書館へ行く オリエンテーション 主な分類とラベル ★国語辞典の使い方を知ろう	○『おいでもんしろ蝶』(工藤直子) 『ともだちいっぱい』 『たんけんちびぞう』 『こぶたはなこさんのおべんとう』 ○利用の仕方と書架配置 (E・913・4・7分類)を確認する。 ○図書館クイズラリーの支援 ○読書目標の設定	★自然のかくし絵 ★図鑑の使い方	○昆虫の擬似についてのブックトーク 『自然のかくし絵』 『うごく! 昆虫最強ずかん』 『擬態のふしぎ図鑑変身の名人たち』 『昆虫大きくなれない擬態者たち』 『昆虫擬態の観察日記』 ○図鑑の使い方指導	★物語のしかけをさがそう 『ゆうすけ村の小さな旅館』 ★インタビューをしてメモを取ろう ★調べて書こう、わたしのレポート	○『はまなす写真館の物語』(茂市久美子) 『アンティーク・シオンの小さなきせき』 『クロリスの庭』 ○インタビューのやり方の指導 ○レポートの書き方の指導 ○テーマ設定の指導	★俳句に親しもう ★本はともだち 本を使って調べよう ★百科事典などの使い方を [本の分類表]	○俳句の紹介 ○『七大陸最高峰に立つて』 (田部井淳子) ○百科辞典の使い方の指導
4年	★音読しよう こわれた千の楽器 ★図書館へ行く オリエンテーション	○『あまだれピアノのぼうし』(野呂組) 『ふくろうとことり』 ○図書館の配置と本の分類、 ラベルの意味と本の探し方 ○図書館クイズラリーの支援	★説明のまとまりを見つけよう ヤドカリとイソギンチャク ★漢字辞典の使い方を知ろう ★人物の変化をとらえよう 走れ	○水中生物についての紹介 『やどかりのいえさがし』 『ダーウィンが来た! おもしろ水中生物編』 ○漢字辞典の使い方指導と 引き方の定着支援 ○『色紙』(村中李衣) 『おかあさんのしっぽぼ』 『はんぶんべべちゃん』	★メモの取り方を工夫して聞こう ★ローマ字 ★みんなで新聞を作ろう	○引用と要約の指導 ○箇条書きの指導 ○『はじめてのローマ字の本』 ○『学習新聞の作り方』 『調べてまとめて新聞づくり』 『学校で役立つ新聞作り・ 活用大事典』	★ことわざブックを作ろう ★本は友達 [読みたい本の見つけ方]	○ことわざの本の収集と学習支援 ○様々な種類の本の紹介 物語・図鑑・科学読み物・伝記・ 作品集・シナリオ・日記など ○『科学っておもしろい!』(米村でんじろう) 『イッキによめる! おもしろ科学』 ○本を探す児童の支援
5年	★音読しよう だいじょうぶだいじょうぶ ★図書館へ行く オリエンテーション ★年鑑・資料の見方 ★筆者の考えをまとめて伝え合おう 動物の体と気候	○『ふたりでまいご』(いとうひろし) 『びっくりテレビ はきょうもニュース』 『マンホールからこんには』 ○利用の仕方と書架配置 (日本十進分類法) ○自分の読書傾向と目標 ○図書の見方・使い方の指導 [大項目・中項目・小項目]	★物語の山場をとらえよう 世界でいちばんやかましい音	○『おしろのぼん人とガレスピー』 (ベンジャミン・エルキン)	★書き手の意図を考えながら新聞を読もう 新聞記事を読み比べよう	○新聞の構成と記事の見方についての 指導 複数の新聞[整理・分析] 『なるほど新聞活用術』 『学校で役立つ新聞作り・ 活用大事典』	★立場を決めて討論しよう ★本は友達 ★情報モラル	○参考文献の準備 ○『一子が知った秘密』(あさのあつこ) 『風の館の物語』 ○『気をつけよう情報モラル』 『気をつけようスマートフォン』 『自分と未来のつくり方 情報社会を生きる』
6年	★図書館へ行く オリエンテーション ★随筆を書こう ★イースター島にはなぜ森林が ないのか	○図書館の役目とレファレンス ○自分の貸し出し冊数と読んだ本の分類 ○日本十進分類法と自分の読書傾向及 び読書目標 ○随筆の説明 ○イースター島とモアイの紹介	★人物と人物の関係を考えよう 風切る翼 ★歴史を図書で調べよう(社会)	○『もしもあのとき』(木村裕一) 『キミへの手紙』 『あらしのよるに』 『きがつけばカラス』 『きずだらけのリンゴ』 ○【2】分類の図書紹介と資料の読み方・ 扱い方(出典)	★新聞の投書を読んで意見を書こう 新聞の投稿を読み比べよう ★情報モラル	○根拠を持って主張することの指導 [整理・分析] ○IDやパスワード、著作権、ダウンロード等についての指導 ○『気をつけよう情報モラル』 『気をつけようスマートフォン』 『池上彰さんと学ぶ みんなのメディアテラシー』	★本は友達	○『瑠璃色の星』(山崎直子) 『宇宙から伝える心のメッセージ』

学校図書館を活用した年間指導計画(小学校 国語科 東京書籍)

2学期

指導計画

	9月		10月		11月		12月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
1年	★夏休みの本と読み聞かせ ★かぞえうた ★さくいんって何？	○本の返却、貸出マナーの再確認 ○数え唄か詩の本の紹介 『元気が出るし1年生』 『新・詩のランドセル1年生』 『ことばあそび1年生』 ○索引指導・感想	★サラダでげんき ★ほんはともだち	○『角野栄子のちいさなどうわたち』 『かんじゅうトゲトゲ』 『アイウエオ動物園シリーズ』	★のりもののことをしらべよう いろいろなふね ★読み聞かせ	○『はたらく船大図鑑』 『進化する船のしくみ』 『はたらく自動車』 『乗り物ひみつルポ』 『乗り物クイズマスター』 ○乗り物カード作りの支援	★ことばあそびうたをつくろう ★いろいろなおはなしをよもう おとうとねずみチロ (森山京)	○クリスマスのブックトークと読み聞かせ ○ネズミが主人公の本のブックトーク ○『きいろいばけつ』森山京 『おおきなさくらのきのしたで』 『ホットケーキ』リチャード・ウィルパー 『番ねずみのヤカちゃん』 『ティッチ』バット・ハッチンス 『いたずらかいじゅうピリー』
2年	★詩を読もう いろんなおとのあめ(岸田衿子) 空にぐうんと手をのばせ (新沢としひこ) ★言い伝えられているお話を知ろう	○『いそがしくていいんだよ』岸田衿子 『だれもいそがない村』 『あくしゅでギュッ』新沢としひこ 『あしたが好き』 ○神話や伝承の話 『いぶくのやさぶろう』滋賀の民話 『みいでらのかね』『よごのてんによ』 『三上山のむかてたいじ』	★声やうごきであらわそう 名前を見てちょうだい	○『白いぼうし』あまきみこ 『えっちゃんの森』 『車のいろは空のいろ』	★どうぶつのひみつをみんなでさぐろう ビーバーの大工事(中川志郎) ★なかまになることばをあつめよう	○どうぶつクイズの本 準備と調べ学習支援 ○図鑑を使う たべもの図鑑 どうぶつ図鑑	★むかし話をしようかいしよう かさこじぞう(岩崎京子)	○昔話の本の提供 ブックトーク読み聞かせ 【388】民話 滋賀の昔話 『近江のちえしゃ』『おはなぎつね』 『おひのかけはし』『母子草』 『ためきのこぞうのちえくらべ』 『ふなになったげんごろう』 『まんまる月夜の竹生島』
3年	★詩を読もう 紙ひこうき(神沢利子) 夕日がせなかをおしてる (坂田寛夫)	○『大きなけやき』神沢利子 『おめでとがいっぱい』 『てんとうむし』坂田寛夫 『ほんところた・へんてこた』 『ぼくは川』	★感想を伝え合おう サーカスのライオン	○『くじらの海』河村たかし 『クマさんうしろいむき』 『サーカスのライオン』 『山へ行く牛』	★慣用句を調べよう ★はたらく犬について調べよう もうどう犬の訓練	○慣用句の本の提供 『小学生からの慣用句教室1~2』 『まんがでおぼえることわざ・慣用句』 『はじめてのことわざ辞典』 ○はたらく犬の本の紹介 『はたらく犬1~4』 『はたらく犬たち1~4』 『社会でかつやくする犬たち』	★世界の物語をしようかいしよう はりねずみと金貨 (ウラジーミル・オルロフ)	○いろいろな国や地域の民話や 昔話の資料提供 『アーサー王の剣』(イギリス) 『三びきのくま』(ロシア) 『あかりの花』(中国) 『王さまと九人のきょうだい』(中国) 『山になった巨人』(韓国) 等
4年	★詩を読もう ふしぎ(金子みすゞ) よかったなあ(まど・みちお)	○『明るいほうへ』金子みすゞ 『おさかな』 『金子みすゞの詩集』 『いいけしき』まど・みちお 『うふふ詩集』 『おさるがふねをかきました』	★感想を伝え合おう ごんぎつね	○『子どものすきな神さま』新美南吉 『てぶくろを買いに』 『おじいさんのランプ』	★くらしの中のある「和」と「洋」を調べよう くらしの中の和と洋	○風俗・習慣・民族に関する本の提供 【383】生活習慣 【386】年中行事	★読書会を開こう 世界一美しいぼくの村 (小林豊)	○『ぼくの村にサーカスがきた』小林豊 『せかいいちうつくしい村へかえる』 『なぜ戦争はおわらないのか』 『ぼくがアフガニスタンでみたこと』 アフガニスタンの紹介
5年	★詩を味わおう 紙風船(黒田三郎) 水のこころ(高田敏子) ★古文を声に出して読んでみよう	○『黒田三郎詩集 支度』黒田三郎 『枯れ葉と星』高田敏子 ○古文の本の紹介 『絵で見る楽しい古典』 『わたしの古典』 『絵でわかるはじめての古典』	★物語の良さを解説しよう 注文の多い料理店	○『よだかの星』宮沢賢治 『やまなし』 『どんぐりと山ねこ』 『ゼロ 弾きのゴーシュ』	★和の文化について調べよう 和の文化をうけつぐ —和菓子をさぐる—	○『和食のすべてがわかる本』 『にっぽんのおやつ』 『30分でできる伝統おやつ春夏秋冬』 『都道府県の特産品 お菓子編』	★伝記を読んで、感想文を書こう 手塚治虫	○伝記の本の提供 【280】伝記 【288】個人伝記
6年	★詩を味わおう いま始まる新しいいま (川崎洋) ★資料を生かして呼びかけよう ★漢文を読んでみよう	○『海があるということは』川崎洋 『しかられた神さま』 ○調べ学習の支援と資料提供 ○漢文の本の紹介 『漢詩のえほん』 『小学校からの漢詩教室』 『漢詩のレッスン』 『声に出そうはじめての漢詩』	★感動の中心をとらえよう 海の命	○『いのち』シリーズ(7冊)立松和平 (海・山・川・田んぼ・街・木・牧場 いのち) 『くらかけ山の熊』 『森に生きる』 『酪農家族』	★町の未来をえがこう 町の幸福論	○『仕事発見シリーズ』 『テーマで調べる日本の地理』 郷土誌 地域教材資料	★本を読んですいせんしよう ヒロシマのうた	○『あるハンノキの話』今西祐行 『二人のイーダ』松谷みよ子 『死の国からのバトン』 戦争と平和について書かれた本

学校図書館を活用した年間指導計画(小学校 国語科 東京書籍)

3学期

指導計画

	1月		2月		3月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
1年	★しをよもう みみずのたいそう(神沢利子) ★むかしばなしをたのしもう ★いろいろなやりかたをくらべて かんがえよう 歯がぬけたらどうするの	○詩の本の紹介 ○昔話の読み聞かせ はなさかじい さるがに話 他 ○歯に関する本の紹介 『たんけんはつけんじぶんの歯』 『むし歯のもんだい』 『歯の健康図鑑』	★こえに出してよもう スイミー	○『さかなはさかな』レオ・レオニ 『せかいいち おおきなおうち』 『コーネリアス』『フレデリック』 『アレクサンダーとぜんまいねずみ』 『だんまりこおろぎ』エリック・カール 『パパおほしさまとって』 『しりたがりやのひつじ』 『おほしさまかいて』	★かたちのにているかんじ	○『かん字のなりたち』 『ふしぎがいっぱい漢字のなりたち』 『漢字クイズ絵本』
2年	★おばあちゃんに聞いたよ ★はんたいのいみのことば	○『十二支のはじまり』 『春の七草』 『小の月』 『いろはうた』	★あなのやくわりを考えよう あなのやくわり(丹伊田弓子) ★【おもちゃ教室】をひらこう	○資料提供 (穴の役割が書いている本) ○おもちゃの作り方の本のブックトーク 付箋の使い方 7類[75]の本	★紙しばいをしよう にゃーご	○『おまえうまそうだな』宮西達也 『ちっちゃなタックレッド』 『であえてほんとうによかった』 『ふしぎなキャンディーやさん』 『まてまてー』
3年	★気持ちを言葉に ★わらい話を楽しもう ★世界の家のつくりについて考えよう 人をつつむ形—世界の家めぐり	○詩の書き方の本の準備 ○資料提供・支援 ○『世界のこどもたち』 『世界の住まい大図鑑』 『世界あちこちゆかいな家めぐり』 『やねはぼくらのひるねするばしよ』	★町について調べてしようかいしよう ★理由が分かるように書こう ★いろいろなつたえ方を知ろう	○地域の行事について調べる わたしたちの〇〇市 市政 ○絵文字の書いた本の紹介 ○資料提供	★音読発表会をしよう モチモチの木	○『八郎』斎藤隆介 『花さき山』『ふき』 『火』『ひさの星』 『半日村』『ユとムとヒ』 『ソメコとオニ』
4年	★言葉をつなげて ★『百人一首』を声に出して 読んでみよう ★わたしたちの生活とロボットに ついて考えよう 『夢のロボット』を作る	○連詩の本の紹介 ○『暗誦百人一首読んで覚える』 『いとをかし百人一首』 『絵でわかる百人一首』 『子ども歌人になる短歌はこうつくる』 『はじめての百人一首ブック』 ○『ロボット大研究』 『はたらくロボット』 『世界のロボット』	★報告しますみんなの生活	○アンケート ポスター 報告書のつくりかた	★音読劇をしよう 木龍うるし(木下順二)	○児童文学カセットブック30 『木下順二』 『夕鶴』 『彦市ばなし』
5年	★五七五で表そう ★伝えよう、委員会活動	○『はじめての俳句の本』 『小学生のやさしい俳句』 『俳句をるくろう』 ○リーフレットの作り方指導	★わたしたちとメディアとの 関わりについて考えよう テレビとの付き合い方	○情報モラルを知る。[情報の収集] 『池上彰さんと学ぶ みんなのメディアテラシー』 『池上彰のニュースの学校』 『気をつけよう情報モラル』 『自分と未来のつくり方 情報産業社会を生きる』	★朗読で発表しよう 大造じいさんとがん	○『片耳の大シカ』椋鳩十 『月の輪クマ』 『金色の川』 『モモちゃんとかかね』 『オロロン鳥とおじいさん』 『たたかうカモシカ』
6年	★句会を開こう ★いにしへの言葉に学ぶ	○『はじめての俳句の本』 『小学生のやさしい俳句』 『俳句をるくろう』 ○資料提供	★将来の夢や生き方について考える プロフェッショナルたち	○個人伝記【289】	★未来に向かって 君たちに伝えたいこと(日野原重明) 春に(谷川俊太郎)	○『いのちのおはなし』日野原重明 『生きているだけで100点満点 99歳のぼくから君たちへ』 『いのちの授業』 『十歳のきみへ九十五歳のわたしから』 『そして』『どきん』谷川俊太郎 『すき』『いまぼくに』 『みんなやわらかい』

学校図書館を活用した年間指導計画(小学校 国語科 光村図書)

1学期

指導計画

	4月		5月		6月		7月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
1年	★オリエンテーション ★読み聞かせを聞いて楽しむ どんなおはなしかな	○貸出・返却方法と図書の扱い方を指導する。 (ラベルの見方=1桁分類 E 貸借のきまり マナー など) ○図書館クイズラリーの支援 ○絵本[E]のある場所	★詩を楽しんだり、想像を広げたりして読もう あさのおひさま	○詩のある場所【911】 ○詩の紹介 『元気が出るし1年生』 『新・詩のランドセル1年生』 『ことばあそび1年生』	★関連読書／生き物についての本 くちばし ★昔話を想像を広げながら楽しんで読もう おむすびころりん	○鳥の本の紹介 【488】 ○本の紹介『おむすびころりん』 大型絵本提供	★ほんはともだち	○おすすめの絵本の紹介・ブックトーク ○絵本の並べ方(作者別) ○本の借方・返方の指導 ○本の紹介の仕方の支援 『あつちやんあがつく』創作絵本 『こふとりじい』昔話絵本 『1つぶのおこめ』科学絵本 『くまのコールテンくん』外国絵本
2年	★オリエンテーション	○利用の仕方と書架配置 (E・913分類)を確認する。 ○本の分け方・並べ方の指導 1桁分類記号を伝える。 作者の五十音順に並べる。 ○図書館クイズラリーの支援	★じゅんじょに気をつけて読もう たんぼぼのちえ ★ていねいにかんさつしてきろくしよう かんさつ名人になろう ★神話・昔話を読もう いなばの白うさぎ	○『たんぼぼ』 『じゅんじょのうえとじゅんじょのした』 ○『校庭のざっ草』 『アサガオの絵本』 『ダンゴムシ みつけたよ』 ○『いぶきのやさぶろう』 滋賀の民話 『みいでらのかね』 『ふなになったげんごろう』	★お話を読んで、かんそうを書こう スイミー	○レオ＝レオニの本の紹介 『さかなはさかな』 『せいかいいいちおおきなうち』 『コーネリアス』 『フレデリック』 『アレクサンダとぜんまいねずみ』 他	★本はともだち お話クイズをしよう	○本の分け方・並べ方の指導 ○読書へのアニメーション ・ダウトを探せ ・この人いたかな、いなかったかな? ・本の題名は?
3年	★オリエンテーション ★国語辞典の使い方	○利用の仕方と書架配置 (E・913・4・7分類)を確認する。 ○図書館クイズラリーの支援 ○読書目標の設定 ○使い方指導	★俳句を楽しもう	○俳人の紹介と分類(911) 『おくのほそ道』 『おらが春』 『はじめてであう俳句の本』 『小学生のやさしい俳句』 『俳句をつくろう』	★ざいりょうを集めて、ほうこくする文章を書こう 気になる記号 ★読み聞かせ／昔話 たのきゅう	○記号が載っている本の提供 『記号とマーク・クイズ図鑑』 『記号のポケット図鑑1～2』 『くらしの中のマーク・記号図鑑』 ○本の紹介 『くわすようぼう』 『だいくとおにろく』 『ふしぎなたいこ』	★本はともだち 本を使って調べよう 図鑑や百科事典などの使い方を知る [本の分類表] ★里山は、未来の風景	○百科辞典や図鑑の使い方の指導 ・図書館内図(配架図) ・日本十進分類表 ・目次とざいりんの使い方 ○今森光彦さんが書いた本 滋賀資料【090】 昆虫【486】 生物【480】 写真集【740】 里山【650】
4年	★オリエンテーション ★関連読書／物語 白いぼうし ★漢字辞典の使い方	○図書館の配置と本の分類、ラベルの意味と本の探し方 ○図書館クイズラリーの支援 ○『車のいろは空のいろ』あまんきみこ著 『きつねのおきやくさま』 『七つたのぼけつ』 『ふうたのかぜまつり』 ○漢字辞典の使い方指導と	★短歌・俳句に親しもう ★調べたことを整理して書こう 新聞を作ろう [アンケート調査のしかた]	○歌人・俳人の紹介と分類(911) 『はじめての俳句の本』 『目で見る日本の詩歌』 『小学生のやさしい俳句』 『俳句をつくろう』 ○新聞の作り方指導 (割り付け・小見出し・リード) 『新聞の作り方』 『調べてまとめて新聞づくり』	★読み聞かせ／物語 ふるやのもり	○本の紹介 『新しい日本の語り』 『子どもに贈る昔ばなし』	★場面の様子に着目して読み、しょうかいしよう ★本は友達 読むことについて考えよう [読みたい本の見つけ方]	○戦争や平和についての本を読み 作品を紹介する ○様々な種類の本の紹介 物語・図鑑・科学読み物・伝記・作品集・シナリオ・日記など ○本を探す児童の支援 ・請求記号(本のラベル)の見方
5年	★オリエンテーション ★新聞の構成編集や記事の特徴を理解して読もう 新聞を読もう	○利用の仕方と書架配置 (日本十進分類法) ○自分の読書傾向と目標 ○図書館クイズラリーの支援 ○新聞の構成や記事の見方の指導 『新聞活用大辞典』 『新聞づくり活用大辞典』	★声に出して楽しもう 古典の世界(一)	○『絵で見る楽しい古典』 『わたしの古典』 『光村図書はじめて出会う古典作品集』 『絵でわかるはじめての古典』 『絵で読む日本の古典』	★本は友達(読んだ本などから1冊を決め、ポスター、ポップ、帯のどれかを作る) 広がる、つながる、わたしたちの読書 [著作権について知ろう] 出典(題名・著者・発行所・発行年月・該当ページ 等) 引用と要約	○本をすすめるためのいろいろな方法を指導 特設コーナー ブックトーク ○著作権について指導 情報カード 『学校で知っておきたい著作権』 『イラストでわかる著作権』	★季節の言葉2 夏の夜	○『枕草子』 ○国語辞典 ○歳時記 ○夏の季節辞典
6年	★オリエンテーション	○図書館の役目とレファレンス ○自分の貸し出し冊数と読んだ本の分類 ○日本十進分類法と自分の読書傾向及び読書目標 ○著者紹介 ○図書館クイズラリーの指導	★この本読もう	○『クローディアの秘密』カニグスバーク 『川の名前』川端裕人 『スウィート・メモリーズ』ワーノック 『チームふたり』吉野万理子	★本は友達 私と本 [施設を利用して、本の世界を広げよう] ★昔話の読み聞かせを聞く 河鹿の屏風	○ブックガイドの使い方の指導 *『ホンタノ』の活用 (しが子ども読書活動推進協議会) ○昔話の紹介 【388】	★町のよさを伝えるパンフレットを作ろう ようこそ、私たちの町へ ★詩を味わおう せんねん まんねん	○パンフレットの作り方の指導 観光パンフレット 様々なパンフレット(リーフレット) 活用例 【090】郷土資料 ○詩の紹介 【911】詩

学校図書館を活用した年間指導計画(小学校 国語科 光村図書)

2学期

指導計画

	9月		10月		11月		12月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
1年	★おはなしをたのしもう ゆうやけ ★よんでたしかめよう うみのかくれんぼ	○森山京の作品の紹介 『きいろいばけつ』 『おおきなさくらのきのしたで』 『おととねずみチロのはなし』 『ぶたのモモコとフルーツパーラー』 ○変身する生きものの本 『うごく!海の変ないきもの最強ずかん』 『いのちの図かんふしぎがいっぱい』 『NHKダーウィンが来た』	★こえにだしてよもう くじらぐも	○仲川李枝子の本の紹介 『ぐりとぐら』 『いやいやえん』 『いぬとにわとり』 『とべバッタ』等	★くらべてよもう じどう車くらべ	○乗り物の本の資料 『はたらくじどう車 1~6』 『はたらくじどう車スーパーずかん 1~5』 『大きなはたらくじどう車 1~4』	★ほんはともたち むかしばなしがいっぱい ★本はともたち 本をえらんでよもう	○昔話の本の資料提供 ブックトーク 読み聞かせ 【388】民話 ○児童が本を選定するときの支援 『きょうはよいてんき』(アルメニア) 『三びきのくま』(ロシア) 『だいくとおにろく』(再話) 『さるとびつき』(再話) 等
2年	★ことばあそびをしよう ★どうぶつ園のじゅうい この本、読もう	○ことばあそび 『子どもたちと谷川俊太郎の作品 を読む』 『ふしぎびつくり語源博物館4』 『チャレンジ!ことば遊び』 『日本語おもしろ絵事典1』	★関連読書/物語 お手紙 ★かたかなで書くことば	○アーノルド＝ローベルの本の紹介 『ふたりはいつも』『ふたりはいっしょ』 『ふたりはともだち』『ふたりはきょうも』 『ふくろうくん』 『やどなしねずみのマーサ』 ○かたかなで表す言葉を集める活動 絵本(E) 地理(20) スポーツ(78) 料理(59)	★せつめいのしかたに気をつけて 読もう しかけカードの作り方 おもちゃの作り方	○作り方・使い方・遊び方が書かれた資料の提供 『手づくりのカード』 『ドラえもん 図工科おもしろ攻略』 『おうちにある材料で、 楽しく作る工作の本』 『リサイクル工作と手芸』	★にたいみのことば、 ほんたいのいみのことば	反対語の本の提供 『ことわざ 絵解き事典』 『ドラえもん 国語おもしろ攻略』 『金田一先生の使ったのぼそう日本語 力』 『語彙力アップおもしろい言葉がいっぱ い!』 『知っておきたい反対語・同意語』
3年	★詩を楽しもう わたしと小鳥とすずと 山のてっぺん	○『明るいほうへ』金子みすゞ 『おさかな』 『金子みすゞ心の詩集』 『明るい日の歌』 『いそがなくてもいいんだよ』岸田裕子 『だれもいそがない村』 『へんなかくれんぼ 子どもの季節とあそびのうた』	★ローマ字 ★場面のうつりかわりをとらえて、 感想をまとめよう ちいちゃんのかけおくり	○『はじめてのローマ字1~3』 『楽しいローマ字1~5』 ○あまきみこの本の紹介 ○戦争について書かれた本の紹介 『写真でみる太平洋戦争とくらし』 『目でみる戦争とくらし百科』 『戦争とくらしの事典』 『昔のくらし』	★せつめいのくふうについて話し合おう すがたをかえる大豆 ★食材を決め、その本を読み、 文章の構成を考えて説明文を書こう 食べ物のひみつを教えます	○資料提供 (米・麦・とうもろこし・牛乳・魚・いも) 『お米なんでも図鑑』 『すがたをかえるたべものしゃしん』 『できるまで大図鑑』 『身近な食べ物のひみつ』 等	★民話や昔話を 読み、おもしろいと思うと ころを紹介しよう 三年とうげ ★言葉について考えよう 言葉を分類する	○いろいろな国や地域の民話や 昔話の資料提供 『アーサー王の剣』(イギリス) 『あかりの花』(中国) 『王さまと九にんのきょうだい』(中国) 『山になった巨人』(朝鮮) 等 ○『子どものための文法の本』 『類義語大辞典』
4年	★詩を楽しもう 忘れもの ぼくは川	○『枯れ葉と星』 『こんにちはおひさま』 『高田敏子詩集』 『阪田寛夫詩集』 『てんとむし』 『ほんとうた・へんてこうた』	★調べたことを整理し、発表しよう だれもが関わり合えるように ★読んで考えたことを話し合おう ごんぎつね	○より多くの人と関わり合うための 便利な道具・文字等に関する本 の提供 『みんなのユニバーサルデザイン』 『知っておきたい障害のある人のSOS』 『バリアフリーってなんだらう』 『みんなを幸せにする新しい福祉技術』 ○新美南吉の本の紹介	★慣用句 ★段落どうしの関係をとらえ、説明のしか たについて考えよう アップとルーズで伝える ★『クラブ活動リーフレット』を作ろう	○慣用句の本の提供 ○ものの見方を広げてくれる本 『中をそうぞうしてみよ』【E】 『アキラからみると』【486】 『視覚ミステリーえほん』【14】【79】 『このよでいちばんはやいのは』【E】 ○リーフレットの作り方 ○各クラブの本の提供	★短歌・俳句に親しもう ★心に残ったことを感想文に書こう プラタナスの木 ★言葉について考えよう 文と文をつなぐ言葉 『つまずきことば国語辞典』	○短歌・俳句の本の提供 ○『ふたりは世界一』 『ゆうかんんな猫ミランダ』 『ふたりの魔女』 『わずれものの森』 ○接続詞の本の提供 『子どものための文法術』 『ちびまる子ちゃんの文法教室』 『つまずきことば国語辞典』
5年	★言葉をよりすぐって俳句を作ろう 日常を十七音で	○『写真で見る俳句歳時記』 『俳句 短歌 歳時記大辞典』 『短歌 俳句 季語辞典』 『子ども俳句歳時記』 『作ってみようらくらく俳句』 『読んでみようわくわく俳句』	★考えを明確にして話し合い、 提案する文章を書こう インターネット使用上の注意点を 知る 明日をつくるわたしたち	○インターネット使用における問題点や 注意点が書かれている資料 『池上彰さん...メディアリテラシー』 『わかりやすいメディアリテラシー』 『情報の選び方・使い方』 『世界を信じるためのメソッド』 『ネットで見たけどこれってホント?』	★物語の魅力を紹介しよう 大造じいさんとガン ★説明の仕方の工夫を見つけ、 話し合おう 天気を予想しよう グラフや表を用いて書こう	○椋鳩十の作品の紹介 ○動物を描いた物語の紹介 ○社会生活に関わる統計資料が 載った本の提供 『朝日ジュニア年鑑』 『調べる学習子ども年鑑』 (グラフ、写真、絵など) 【5】類工学・工業 【6】類産業	★同じ読み方の漢字 ★伝記を読んで、 自分の生き方について考えよう 百年後のふるさとを守る ★古典の世界	○同音異義語の本の提供 ○いろいろな人物の伝記の本の提供 【288】 ○『漢詩 時をこえるうた』 『漢詩のえほん』 『声の出そはじめての漢詩1~3』 『小学生からの漢詩教室』 『漢詩のレッスン』
6年	★言葉を選んで短歌を作ろう たのしみは	○『ちびまる子ちゃんの短歌教室』 『斎藤孝の親子で読む詩 俳句 短歌 童謡5・6年』 『教科書に出てくる詩や文の 読みかた作りかた1~4』 『そこにいますか日常の短歌』 『イラスト子ども短歌』	★自分の考えの根拠になる 情報を資料から調べ意見文を書き、グ ループで交流しよう 未来がよりよくあるために ★生活の中の言葉 敬語	○児童のテーマに沿った本の資料提供 ・情報カード・まとめカードの活用 ○『五つの敬語第1巻~第5巻』 『イラストで学ぶ『話しことば』1』 『敬語クイズ国語力アップめざせ』 『子どものための敬語の本1~3』 『はじめての敬語1~3』	★宮沢賢治の作品を読もう やまなし	○宮沢賢治の作品の紹介 『銀河鉄道の夜』 『どんぐりとやまねこ』 『注文の多い料理店』 『風の又三郎』 『ゼロひきのゴーシュ』 『雪わたり』 『よだかの星』	★絵から読み取ったことや感じたことを表 現しよう この絵、私はこう見る ★伝統文化を楽しもう 狂言	○絵画作品が載った本の提供 『はじめての美術鑑賞』 『名画であそびじゅつ』 『なぞとき美術館たんけんしよう』 『美術館へ行こう』 ○狂言の本の提供 『狂言の大研究"笑い"の古典芸能』 『大研究能と狂言の図鑑』 『能・狂言』

学校図書館を活用した年間指導計画(小学校 国語科 光村図書)

3学期

指導計画

	1月		2月		3月	
	単元	支援方法	単元	支援方法	単元	支援方法
1年	★ことばっておもしろいなものなまえ ★おはなしをたのしもうたぬきの糸車	○ことばの本の提供 『こどものなまえ絵じてん』 『ものなまえずかん』 くらしのなかのことばがどっさり』 ○『ふしぎばなし』 岸なみ著 『おにのよめさん』 『てんぐのこま』 『かえるとぼたもち』 『日本の民話 静岡県』	★ちがいをかんがえてよもう どうぶつのお赤ちゃん	○動物の赤ちゃんの本の提供 『どうぶつのお赤ちゃん』シリーズ 増井光子監修 『しりたいな! どうぶつのお赤ちゃん』 『大切ないのち、うまれたよ!』 『ふしぎいっぱい動物のお赤ちゃん』 【489】哺乳類	★すきなところをさがしてよもう だてだてのおばあちゃん	○『100万回生きたねこ』佐野洋子著 『おとうさんおはなしして』 『おじさんのかさ』 『おばけサーカス』 『おれはねこだぜ』 『さかな1びきなまのまま』 『サンタクロースはおばあさん』 『空とぶライオン』 『ねこいるといいなあ』
2年	★ことばについて考えよう ようすをあらわすことば ★読み聞かせ/昔話 三まいのおふだ ★知っていることとつなげて読もう おにごっこ	○ようすをあらわすことばの本の提供 『ドラえもん 国語おもしろ攻略』 『ことばがいっぱい言葉図鑑7』 たとえのことば』 『ことばのランドセル2年』 ○遊びを紹介した本の提供 『あそびの学校1鬼ごっこから...』 『かこさとしあそびの大宇宙1』 『みんなであそぼう校内あそび』	★お話を想像しながら読もう スーホの白い馬	○いろいろな国のむかし話や その土地につたわるお話の本の提供 【388】【E】 『大人と子どものための世界の むかし話1~20』 『ワールドみんなわつア1~5』	★ことばを楽しもう	○回文の本の提供 『遊びながら国語力UP! おもしろ回文』 『上から読んでも下から読んでもまさか サカサマ回文ゲーム』 『みんなでぐるぐる回文あそび』 『めざせ! 回文の達人』 『超サ・カ・サ・マ! メチャウケ回文大全 集』
3年	★考えの進め方をとらえて、 科学読み物をしようかいしよう ありの行列 ★分かったことを発表しよう しりょうから分かる、小学生のこと	○科学読み物の本の提供 【42】物理 【43】化学 【45】地球 【48】生き物 ○小学生のことを調べてまとめた 資料の提供 『朝日ジュニア年鑑』 『調べる学習子ども年鑑』 (グラフ、写真、絵など)	★簡単な単語をローマ字でコンピュータ に入力しよう コンピュータのローマ字入力 ★本で調べて、ほうこくする文章を書こう ことわざについて調べよう ●目次やさくいんを活用して本を 使っ て調べ、わかりやすく書く ●筆者名・書名・出版社名・発行年・記 載ページを記録する	○『パソコン大王の...』 『ローマ字式文字入力の方法』 『小学生のためのマイクロソフト ワード入門編』 ○ことわざの本 『ことわざ辞典』 『ことわざの大研究』 ・目次や索引の使い方 ・情報カードの活用(出典について)	★物語のポスターを作る モチモチの木	○斎藤隆介の作品紹介 『ソメコとオニ』『花さき山』 『猫山』『八郎』『半日村』 『ひさの星』『火の鳥』 『ひばりの矢』『ふき』 『まけうさぎ』『三コ』 『でえだらぼう』『ユとムとヒ』
4年	★のはらうた ★興味を持ったところを中心に科学読み 物を読み、紹介文を書こう。 ウナギのなぞを追って	○詩の本の提供 工藤直子 詩集 『のはらうた』 『子どもが作ったのはらうた』 ○生きもののなぞに迫った本の提供 【484】貝類 【485】甲殻類 【486】昆虫 【487】魚類 【488】鳥類 【489】哺乳類(動物)	★聞き取りメモの工夫 ★本で調べて、ほうこくする文章を 書こう わたしの研究レポート	○メモのとり方を紹介した本の提供 『子どものためのノートのコツ』 ○児童のテーマに合わせて 必要な本の提供	★読んで感じたことが伝わるように、音 読しよう 初雪のふる日	○安房直子の作品の紹介 『うさぎのくれたパレエシューズ』 『てんぐのくれためんこ』 『ねずみのつくったあさごはん』 『くまの楽器屋さん』 『ふしぎな青いボタン』 『まほうのあめだま』 『みどりのはしご』 『やさしいタンポポ』
5年	★詩の楽しみ方を見つけよう ★説得力のある構成を考え、 すいせんするスピーチをしよう すいせんします	○詩の本の提供 ○推薦したい事物や人物に関する資料 【090】郷土資料 【288】個人伝記 【40】自然科学 【76】音楽 【78】スポーツ	★複合語 ★特色をとらえながら読み、 物語をめぐって話し合おう わらぐつの中の神様	○複合語の本 『なぜなに日本語』 『言葉の力を身につける おもしろ体験ワーク』 ○杉みき子の作品の紹介 『朝やけまつり』 『おばあちゃん、ゆうびんです』 『かくまきの歌』『加代の四季』 『カラスのいるゆうびん局』	★方言と共通語[コラム]	○方言の本の提供 『47都道府県方言キャラ 絵本』 『金田一先生の日本語教室4』 方言のいろいろ』 『新レインボー方言辞典』 『21世紀に残したい ふるさと日本のことば1~ 6』 『おもしろ国語ゼミナール4』
6年	★筆者の考えをとらえ、 自分の考えと比べて書こう 自然に学ぶ暮らし ★随筆を書こう 忘れられない言葉	○自然や未来のくらしについて 書かれた本の提供 『科学のお話『超』能力をもつ生き物た ち 1~4』 『キミが大人になる頃に。』 ○『きみたちにおくる名言集1~10』 『10代の名言集 1~10』 『ONE PIECE最強でサイコーの名言 集』	★物語を読み、人物の生き方について 自分の考えを文章にまとめよう 海の命	○立松和子の作品の紹介 『川のいのち』『木のいのち』 『田んぼのいのち』『牧場のいのち』 『街のいのち』『山のいのち』 『くらかけ山の熊』 『森に生きる』『酪農家族』 ○生き方や考え方に触れた本の提供	★話し方を工夫し、資料を示して スピーチしよう 今、私は、ぼくは	○『小学生から始める伝える力が 身につく本プレゼンテーション』 『調べてまとめたはっぴょう名人』 『情報の選び方・使い方』 『光村の国語 調べて、まとめて、 コミュニケーション 4』

平成27年度「学校図書館活用支援事業」検証授業一覧(小学校の部)

1年	<p>●国語 「くじらぐも」 2015. 11. 4</p> <p>好きな本を見つけて、紹介カードを作り、本を紹介する。</p>		
2年	<p>●国語 「すごいぞ〇〇」のクイズを作って出し合おう ビーバーの大工事 2015. 11. 25</p> <p>調べたい動物の本を探し、その本の中で「すごいぞ」と思うところを見つけ、クイズの形でまとめる。</p>	<p>●生活 図書館へ行こう 2016. 1. 18</p> <p>学校図書館のルールやマナーを視覚資料を使って説明した後に、個人的に本を見つけたり、グループごとのワークシートで分類記号を参考に本を探す。</p>	<p>●特活(全学年:2年4年5年6年) 図書ラベルの秘密をさがそう 2015. 12. 10</p> <p>自分たちの図書コーナーがどのようにみつけ、図書ラベルの秘密をさぐる。その後、分類記号の意味を確認し、個々の探す本を分類記号をもとにさがす。</p>
3年	<p>●国語 「はたらく犬もの知りカード」をつくって事典にしてみんなにしようか 2015. 10. 30</p> <p>働く犬の中から一つ選んで調べ、「はたらく犬もの知りカード」を作り、事典にする。</p>	<p>●国語 本で調べて、ほうこくする文章を書こう 2016. 1. 26 2016. 2. 12</p> <p>ことわざについて調べて、レポートにする。児童が本を持ち寄ったり、図書館の本で調べたり、国語辞典を使用したりする。</p>	<p>●国語 れいをあげてせつめいしよう 2015. 12. 3</p> <p>調べたい材料を選び、どんな食品にすがたを変えているかを調べ、わかりやすい文章の組立て(初め・中・終わり)を考えて、文章にする。</p>
4年	<p>●国語 わたしの研究レポート 2016. 2. 4</p> <p>日ごろの生活の中から調べたいことを見つけ、図書を使って調べ、報告するレポートにまとめる。</p>		
5年	<p>●国語 詩の楽しみ方を見つけよう 2016. 1. 19</p> <p>詩の本から各々お気に入りの詩を見つける。グループで相談して一つの詩を取り上げ、言葉の穴あきクイズを作って発表する。</p>	<p>●社会 百科事典で調べて、必要な情報をまとめよう 私たちの生活と環境 2016. 2. 23</p> <p>環境破壊・森林資源・世界自然遺産・水俣病・公害・地球温暖化の6つのテーマで調べて、グループで序論・本論・結論の形でまとめ、発表する。</p>	<p>●学活 リニューアルされた図書館の使い方を知ろう 2016. 1. 15</p> <p>図書館の使い方を学習した後、図工の版画に使う本を探し、場所を見当付け、探し、本の資料をスケッチする。</p>
6年	<p>●理科 大地のつくりと変化 2015. 12. 1</p> <p>各グループ火山活動と地震のいずれかのテーマについて、図書を使ってデジタル紙芝居を作り、5年生に紹介する。</p>	<p>●総合 「平和」について考える 2015. 10. 8</p> <p>戦争について調べ、調べたことをタブレット端末にまとめ、交流する。</p>	

平成28年度「学校図書館活用支援事業」検証授業一覧(小学校の部)

1年	<p>●国語 むかしばなしが いっぱい 2016. 12. 7</p> <p>昔話の中から好きな本を読む。読んだ本の好きな場面について付箋をはり、紹介しあう。</p>	<p>●生活 もうすぐ2年生 ～ようこそあたらしい1年生～ 2017. 1. 26</p> <p>新1年生を迎える会に向けて、図書を活用し、新1年生が喜ぶ遊びやプレゼントを考える。</p> <p>折り紙の手裏剣・カードケースなど</p>	<p>●学級活動 "ワンダーランド"図書室で 楽しくすごそう 2017・1・24</p> <p>「この本をさがせ！」ゲーム＝2人1組で題名と分類記号から本をさがす。みつけた本について学級みんなに紹介する。</p> <p>「どこにあったでしょう」ゲーム＝逆に、本から書棚をさがす。</p>
2年	<p>●国語 かたかなで書くことば 2016. 11. 11</p> <p>①絵本「ブレーメンの音楽隊」を読んで、作中のカタカナ言葉を確認。②それを、4つのカテゴリー(外国の地名や人名・外来語・擬声語・擬態語)に分類。③図書館の本からカタカナ言葉を見つけて発表し、カテゴリー分けする。</p>	<p>●国語 むかし話をしょうかいしよう 2016. 12. 8</p> <p>いろいろなむかし話を読んで、おもしろいと思ったところに付箋をはっていく。その後カードにまとめ、友だちに紹介する。</p>	
3年	<p>●国語 「すがたをかえる食材」について せつ明する文章を書こう 2016. 12. 12</p> <p>魚・米・麦・トウモロコシ・牛乳・いもの中から一つ選び、「すがたをかえた」食品の例を集め、説明文を書く。同じ食材を選んだ者でグループを構成し、助言などの交流を持つ。</p>	<p>●国語 たくさんのふしぎを調べて交流しよう 2017. 1. 19</p> <p>教材「ありの行列」で学んだことを生かし、各自興味のあるテーマの科学読み物を読んで、皆に紹介する</p> <p>選んだテーマ ・食虫植物 ・パンダ ・たまご ・セミ ・塩、砂糖 ・磁石 …など</p>	<p>●国語 本で調べて、 ほうこくする文章を書こう 2017. 2. 14</p> <p>ことわざについて図書や辞典を使って調べ、報告文を書く。</p> <p>児童の主なテーマ ・生きものが出てくることわざ ・くり返し表現があることわざ …など</p>
4年	<p>●国語 「だれもが関わり合える工夫を 調べてわかりやすく発表しよう 2016. 10. 5</p> <p>「だれもがよりよく関わり合う」ための工夫について、それぞれ課題を決めて調べ、ワークシートにまとめる。ポスターセッションの形で発表する。 主なテーマ ・手話 ・白杖 ・介助犬 ・点字ブロック</p>	<p>●国語 「だれもが関わり合えるように」 調べたことを発表しよう 2016. 11. 29</p> <p>グループごとに二三の課題を決め、図書で調べる。記録カードを用いてまとめて発表資料を作り、聞き手を意識して発表。 ・点字のやくわり ・点字が使われているモノや場所 ・いろいろなあいさつ</p>	<p>●国語 詩を楽しもう 「詩のボクシング」に挑戦！ 2017. 2. 9</p> <p>各々読んでみたい詩を選ぶ。グループで相談して発表詩を選び、表現の仕方を工夫して、グループ対抗「詩のボクシング」を行う。</p> <p>島田陽子・ねじめ正一・岸田衿子…など</p>
5年	<p>●国語 グラフや表を用いて書こう 2016. 10. 31</p> <p>私たちの社会はくらしやすい方向に向かっているのか、いないのか？ 自分の意見を決め、それを裏付ける図やグラフ・表をさがし、それを用いて自分の考えが伝わるような文章を書く。 良くなる…機械・科学の発展など ならない…いじめ・環境破壊など</p>		
6年	<p>●社会 世界に歩み出した日本 2016. 11. 7</p> <p>これまでに学習した人物を、グループごとにさらに調べ、条約改正、日清・日露戦争、国際的地位の向上、民主主義の4つの言葉に関係づけて関係図を構成する。 陸奥宗光・小村寿太郎・東郷平八郎・野口英世・与謝野晶子・平塚らいてう</p>		

やってみよう！ 学校図書館リニューアル 小学校編

2017年12月発行

編集：滋賀県立図書館学校図書館活用委員会

発行：滋賀県教育委員会事務局生涯学習課

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1

電話 077-528-4651

滋賀県立図書館

〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1740-1

電話 077-548-9691